

平成23年度

Shizuoka City Museum of Art ANNUAL REPORT 2011

静岡市美術館年報 No.2

目 次

---

1. 基本理念・沿革	
1-1 基本理念	3
1-2 沿革	4
1-3 平成23(2011)年度事業一覧	5
2. 展覧会事業	
2-1 ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新	8
2-2 没後150年 歌川国芳展	16
2-3 開館1周年記念展〈I〉・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガンティーニ －光と山－	27
2-4 開館1周年記念展〈II〉 レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想	34
2-5 竹久夢二と静岡ゆかりの美術	42
3. 交流事業(教育普及事業)	
3-1 交流事業	58
3-2 連携事業	68
4. 調査研究等	
4-1 調査研究	74
4-2 研修受入等	75
4-3 視察受入等	75
5. 委託事業	
5-1 「竹久夢二展」	77
6. 作品等貸出・図書等受入	
6-1 画像貸出記録	77
6-2 図書等受入	77
7. 広報活動	
7-1 広報印刷物	78
7-2 ウェブサイト	78
7-3 施設広報記録	79
8. 管理運営	
8-1 利用者数	80
8-2 組織図・職員名簿	83
8-3 条例・施行規則	84
8-4 施設・建築概要	86



# 1. 基本理念・沿革

## 1-1 基本理念

静岡市美術館は、JR静岡駅北口の25階建ビル「葵タワー」3階に、平成22年5月に開館、同年10月にグランドオープンしました。「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念とし、展覧会、教育普及、調査研究活動を行っています。

展示室では、美術を主軸にデザインや工芸など幅広いジャンルの展覧会を開催します。

また、エントランスホールや多目的室、ワークショップ室などの「交流ゾーン」では、様々なアートシーンの紹介や講演会、ワークショップ、コンサート、美術映画の上映など普及事業を実施します。駅から徒歩3分という立地を活かし、誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館を目指しています。

### 美術館ロゴマーク



ロゴマークは、静岡、そして日本を象徴する富士山をモチーフにしています。重ねられた2つの円には、美術館を中心とした人の輪の広がり、地域と世界を結ぶイメージが表されています。また、視点と奥行きの変化による“視ることの楽しさ”にも気付かせてくれます。

デザイン：柿木原政広(アートディレクター)

### ◆当館のV.I. (ヴィジュアル・アイデンティティ)が「ワン・ショウ(ONE Show)」の銀賞を受賞

2011(平成23)年5月9日、「カンヌ国際広告賞」「クリオ賞」と並ぶ世界3大広告賞の1つである「ワン・ショウ(ONE Show※以下ワン・ショウと表記)」において、当館のV.I.(ヴィジュアル・アイデンティティ※以下V.I.と表記)が銀賞を受賞しました。ニューヨークで行われた授賞式にはデザインを担当した柿木原政広氏が出席、銀の鉛筆型トロフィーが授与されました。ワン・ショウは1975年にアメリカ・ニューヨークで設立された非営利団体「ワン・クラブ(The One Club)」が主催し、審査員は世界各地の各業界から選ばれています。静岡市美術館は“地域に開かれ、人と人、地域と世界の活発な交流のなかから、新しいしずおか文化の創造と発信する”ことを目指しており、V.I.はこのコンセプトのもと作られています。当館の傘立てやロッカーなどの館内案内サインは、柿木原氏のデザインをもとにモザイクタイルを使って市民が作った手作りです。市民に開かれ、末永く愛される美術館になるようにとの願いを込め、開館直前に実施したワークショップで、親子等約80人により制作されました。審査ではこのような美術館のコンセプトに、シンプルながらも印象に残り、遊び心のあるカタチを与え、美術館の総合的なV.I.を生み出した点が高く評価されました。“街のなかの広場”のような美術館を目指して——今回の受賞をきっかけに、ますます多くの方に愛される美術館となるようスタッフ一同努めたいと思います。



受賞記念記者会見での田辺信宏静岡市長(左)と柿木原政広氏



ワン・ショウ トロフィー

### 主要広報記録：

#### 新聞

- ・「静岡市美術館 ロゴやサイン米広告賞 担当の柿木原さん喜び」『静岡新聞』、7月13日。
- ・「静岡市美術館ロゴ 銀賞に 世界3大広告賞「ワン・ショウ」 喜ぶ関係者」『毎日新聞』静岡版、7月13日。
- ・「静岡市美術館マーク 世界の広告賞で「銀」」『朝日新聞』静岡版、7月13日。
- ・「市美術館ロゴ 広告賞で銀賞 静岡市、富士山活かす」『日本経済新聞』静岡版、7月13日。
- ・「静岡市美術館ロゴマーク 米でデザイン「銀賞」」『中日新聞』静岡版、7月14日。

## 1-2 沿革

### 平成18(2006)年

- 3月 「静岡市文化振興ビジョン」策定
- 8月1日 有識者による「(仮称)静岡市立美術館基本計画懇話会」設置

### 平成19(2007)年

- 3月 「(仮称)静岡市立美術館 基本計画」策定
- 4月1日 「静岡市新美術館準備検討委員会」設置  
(委員長：白井嘉尚静岡大学教授)
- 6月5日 「第1回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 8月3日 「第2回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 7月4日 「葵タワー」着工
- 10月11日 「第3回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 12月17日 「第4回静岡市新美術館準備検討委員会」開催

### 平成20(2008)年

- 2月20日 「第5回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 3月 「(仮称)静岡市立美術館運営実施計画」策定

### 平成21(2009)年

- 1月29日 「第6回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 3月23日 「第7回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 7月8日 美術館内装建築工事着工[内装設計：(株)丹青  
研究所、内装建築工事：(株)木内建設]
- 7月16日 静岡市美術館条例制定
- 11月12日 静岡市美術館条例施行規則制定

### 平成22(2010)年

- 3月24日 静岡市が(財)静岡市文化振興財団を指定管理者に指定
- 3月31日 「葵タワー」竣工
- 4月1日 「葵タワー」オープン
- 4月21日 静岡市美術館竣工
- 5月1日 静岡市美術館開館・完成記念式典開催  
9月30日まで展覧会関連事業および交流事業を実施
- 5月2日 ワークショップシリーズ Vol.1  
鈴木康広「まばたきの葉」展示(-6月13日)
- 6月26日 ワークショップシリーズ Vol.2  
日詰明男「黄金比のカタチ」展示(-9月23日)
- 10月1日 静岡市美術館グランドオープン記念式典開催
- 10月2日 開館記念展<Ⅰ>  
「ポーラ美術館コレクション展  
印象派とエコール・ド・パリ」開催(-11月28日)
- 12月11日 開館記念展<Ⅱ>・NHK静岡放送局開局80周年記念  
「家康と慶喜—徳川家と静岡」展開催  
(-平成23年1月30日)

### 平成23(2011)年

- 2月11日 開館記念展<Ⅲ>  
「棟方志功 祈りと旅」展開催(-3月27日)
- 4月9日 「ハンス・コパー展—20世紀陶芸の革新」開催  
(-6月26日)
- 5月9日 当館のV.I.が「ワン・ショウ(ONE Show)」の銀賞を受賞
- 7月9日 「没後150年 歌川国芳展」開催(-8月21日)
- 7月12日 Shizubi Project 1 人と煙と消えるかたち 袴田京太朗 開催(-10月23日)
- 9月3日 開館1周年記念展<Ⅰ>・NHK静岡放送局開局80周年記念  
「アルプスの画家 セガンティーニ -光と山-」展開催(-10月23日)
- 11月3日 開館1周年記念展<Ⅱ>  
「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展開催  
(-12月25日)

### 平成24(2012)年

- 1月4日 東海道五十三次ひとめ図除幕式
- 1月7日 「竹久夢二と静岡ゆかりの美術」展開催  
(-3月25日)

1-3 平成23(2011)年度事業一覧

	展覧会	交流事業
平成23(2011)年		
4月	ハンス・コパー展-20世紀陶芸の革新 4月9日-6月26日〈全69日間〉	29日 Shizubiシネマアワー Vol.3「バスキアのすべて」
5月		
6月		11日 ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」④ 「五感で考え、頭で感じる—アフリカンアートの現在(いま)」 19日 プレゼントワークショップvol.1 「父の日だ！お父さんのお面を作ろう！」 26日 しずびチビッコプログラム①
7月	没後150年 歌川国芳展 7月9日-8月21日〈全38日間〉 (前期：7月9日-7月31日) (後期：8月2日-8月21日)	12日 Shizubi Project 1 人と煙と消えるかたち 袴田京太郎(-10月23日) 17日 しずびチビッコプログラム② 26日 夏休み！しずびキッズアトリエ「国芳とあそぼう」(-8月14日)
8月		12日 夜店市(静岡市中央商店街) ブース出展(-14日)
9月	開館1周年記念展Ⅰ・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガンティーニ -光と山- 9月3日-10月23日〈全44日間〉	19日 プレゼントワークショップvol.2 「敬老の日だ！家紋でつながるプレゼントづくり」
10月		1日 しずびチビッコプログラム③ 15日 日独国際交流シンポジウム 「都市とアートと美術館 “プレーメン的・シズオカの”」
11月	開館1周年記念展Ⅱ レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想 11月3日-12月25日〈全46日間〉	
12月		3日 しずびチビッコプログラム④ 16日 Shizubiシネマアワー Vol.4「クリスマス特集」(-18日)
平成24(2012)年		
1月	竹久夢二と静岡ゆかりの美術 1月7日-3月25日〈全64日間〉 (前期：中川雄太郎と静岡の創作版画の世界) 1月7日(土)-2月12日(日) (後期：平野富山“彩色木彫”の美) 2月18日(土)-3月25日(日)	4日 開館1周年記念 東海道五十三次ひとめ図除幕式 Kids Art Project Shizuoka (6月30日まで継続予定)
2月		4日 しずびオープンアトリエ「はんこでつくろ！夢二デザイン」 11日 しずびチビッコプログラム⑤ 25日 創立90周年記念 静清信用金庫プレゼンツ 講演会「益子と濱田窯、震災と復興」 26日 ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」⑤ 「現代音楽をあそぶ」 28日 三館共同事業 「生誕100年・没後20年 ジョン・ケージ版画展-偶然の詩学-」 (-3月11日)
3月		20日 暦とあそぶワークショップvol.1 「春分の日だ！春もようのパンをつくろう」

## ◆開館1周年記念

### 東海道五十三次ひとめ図

**概要：**静岡市美術館開館1周年を記念し、静岡市の伝統工芸技術秀士らが、2年にわたり共同制作した漆芸作品「東海道五十三次ひとめ図」を、当館エントランスホールに設置した。2012(平成24)年1月4日に静岡市長他、関係者列席のもと、除幕式を行った。この「東海道五十三次ひとめ図」は、今から約410年前に徳川家康が定めた東海道五十三次を一画面に描いた、東海道を一目で見渡すことができるものである。

静岡市美術館のロゴマークや案内サインをデザインした、アートディレクターの柿木原政広氏が図案を描き、指物師の方が木地を切り抜き、静岡漆器工業協同組合の皆さんが下地を作り、駿河漆器独特の“変塗”を披露し、静岡県蒔絵工業協同組合の皆さんが蒔絵を施す、というように皆で知恵を絞り、力をあわせ、制作した。静岡の伝統工芸“漆芸”を今に伝える2×3mの大きな作品である。なお、ひとめ図の制作工程や、それぞれの技法を紹介した解説パンフレットを作成した。

#### 制作者(50音順)：

下地：静岡漆器工業協同組合

(新井吉雄、安藤嘉津夫、石川秀次郎、塩澤佳英、柴田雄平、  
鳥羽俊行、藤中知幸、細田豊、村越英熙、八木信明、八木隆夫)

蒔絵：静岡県蒔絵工業協同組合

(安野武士、佐野暢子、鈴木則次、辻本愛子、長谷川雅英、  
一言良一郎、諸井治郎)

木地：(有)鈴木クラフト工業 鈴木秀勝

図案：柿木原政広(アートディレクター)

#### 除幕式：

日時：1月4日(水)10:30-11:00

会場：エントランスホール

主な出席者：田辺信宏(静岡市長)

剣持邦昭(静岡市議会議長)

亀沢敏之(静岡市議会経済消防委員会委員長)

西条光洋(財団法人静岡市文化振興財団理事長)

新井吉雄(静岡漆器工業協同組合)

諸井治郎(静岡県蒔絵工業協同組合)

鈴木秀勝((有)鈴木クラフト工業)

柿木原政広(アートディレクター)

**次第：**主催者あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、制作者紹介・あいさつ、除幕

#### 主要広報記録：

##### 1)テレビ

・テレビ静岡「ニュース」、1月4日放送。

##### 2)新聞

・石原猛「東海道五十三次ひとめ図」除幕 静岡市美術館開館1周年記念 エントランスホールに 漆塗りと蒔絵の大作」『中日新聞』、1月5日。

・「伝統技法で五十三次 静岡市美術館開館1周年 漆芸作品を除幕」『静岡新聞』、1月5日。

##### 3)雑誌

・「静岡の伝統工芸がコラボ “東海道五十三次ひとめ図”が完成」『中小企業静岡』、2月号。

#### 印刷物：

東海道五十三次ひとめ図紹介パンフレット

〈仕様〉

紙：テイクGA-FS 90kg

サイズ・数量：297×618mm (仕上297×w207mm)10,000部

加工：巻3つ折り



東海道五十三次ひとめ図 全図



除幕式



解説パンフレット 表面



解説パンフレット 中面①



解説パンフレット 中面②

## 2. 展覧会事業 目次

---

2-1	ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新	8
2-2	没後150年 歌川国芳展	16
2-3	開館1周年記念展〈I〉・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガンティーニ 「光と山」	27
2-4	開館1周年記念展〈II〉 レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想	34
2-5	竹久夢二と静岡ゆかりの美術	42



## 2. 展覧会事業

### 2-1 ハンス・コパー展 - 20世紀陶芸の革新

会期：4月9日(土) - 6月26日(日) (69日間)

**概要：**イギリスを代表する陶芸家ハンス・コパー（1920-1981）の生涯と芸術を紹介する、日本で初めての回顧展。コパーは1920年、ドイツのザクセン州ケムニッツで生まれた。父親がユダヤ人であったため、戦争の不条理に翻弄されながらも、19歳のとき単身イギリスに亡命する。終戦後、同じく亡命者であった陶芸家ルーシー・リー（1902-1995）に出会い、芸術を志していた彼の人生に転機が訪れる。リーの工房で轆轤の才能を見いだされたコパーは、次々と独創的な作品を生み出し、その洗練された彫刻のような作品は、陶芸の新たな可能性を切り拓いた。「どうやって、の前になぜ(Why before How)」つくるのか。陶芸の本質を追い求めたコパーの芸術を、建築空間を意識した作品や、古代キクラデス彫刻に刺激を受けたシリーズなど、初期から最晩年にいたる代表作約110点によって紹介した。また、生涯を通じて深い友情で結ばれたリーの作品約20点もあわせて展示した。

**巡回先：**兵庫陶芸美術館、滋賀県立陶芸の森 陶芸館、パナソニック 電工汐留ミュージアム、岐阜県現代陶芸美術館、岩手県立美術館

**主催：**静岡市美術館 指定管理者(財)静岡市文化振興財団、静岡第一テレビ

**後援：**静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、プリティッシュ・カウンシル

**協力：**日本航空

**企画協力：**株式会社ヒュース・テン

**観覧料：**一般 800円(600円)  
大高生・静岡市在住70才以上 600円(400円)  
※( )内は前売および20名以上の団体料金  
※中学生以下無料  
※障害者手帳をご持参の方および介助者1名は無料

**観覧者数：**16,395人(有料11,884人、無料4,511人、有料率73.07%)

**出品点数：**136点(特別出品・資料7点含む)

印刷物：

1)チラシ

〈仕様〉紙：B7トラネクスト 115kg  
サイズ・数量：A4 60,000部

2)ポスター

〈仕様〉紙：マットコート 135kg (B1)  
ヴァンヌーパー Vスノーホワイト 135kg (B2・B3)  
サイズ・数量：B1 100枚、B2 2,500枚、B3 700枚



チラシ表



チラシ裏



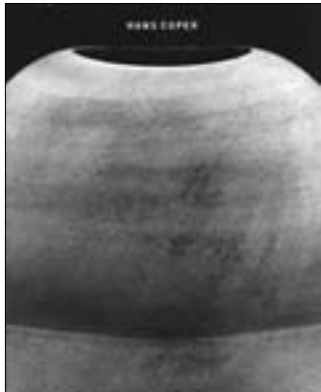
B1およびB2ポスター



B3ポスター

## カタログ：

〈仕様〉300×420mm（カバー折りたたみ時300×210cm）、183頁



カタログ

カラー図版128点

参考図版(モノクロ28点)

乾由明「ハンス・コパーの芸術-20世紀陶芸における静かなる革新」

西田桐子「ハンス・コパーの位置」

三浦弘子「ハンス・コパー “うつわ”を越えた20世紀陶芸の革新」

村山閑「ハンス・コパーの「建築時代」-スウィントン・コミュニティー・スクールの「ディスク」を中心に-」

年表/作品リスト/主要参考文献 等

編集：西マーヤ(株式会社ヒュース・テン)

翻訳：マーティ・イェリネック、ダレン・ダモンテ

発行：株式会社ヒュース・テン

発行年：2009年

普及ツール：音声ガイド

## 各種連携：

### 近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

### 印刷物：

#### チラシ

〈仕様〉紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 8,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

## 主要広報記録：

### 1)テレビ・ラジオ

・「ハンス・コパー展紹介」静岡第一テレビ『静岡〇ごとワイド news every.しずおか』、4月19日、21日放送。

・「ハンス・コパー展紹介 他：静岡市文化振興財団インフォメーション」FM-Hi!『ひるラジ!静岡情報館』、4月19日、5月31日放送。

・「ハンス・コパー展紹介」テレビ静岡『チョットいいタイム』、5月2日放送。

・「陶芸家ハンス・コパー展～中継静岡市美術館 代表作約110点を展示」静岡第一テレビ『静岡〇ごとワイド!』、5月5日放送。

### 2)新聞

・「美・博ピックアップ 器としての斬新な造形美」『朝日新聞』(夕刊)、5月25日。

### 3)雑誌他

・「ハンス・コパー展-20世紀陶芸の革新」『美術屋 百兵衛』、17号。

・「展覧会紹介」『月刊美術』、5月号。

・「美術館情報 ハンス・コパー展」『中日ショッパー』、5月13日号。

・「話題の展覧会 ハンス・コパー展」『美術の窓』、6月号。

・「Museumへ行こう!」『さんさんだより』、6月号。

・「亡命者であった陶芸家の生きた証がここに ハンス・コパー展」『Hot Pepper』、6月号。

### 4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「ドコモ携帯サイトiコンシェル」、「CINRA.NET」、「SHIFT」、「アトリエふじのくに」、「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「Yahoo! JAPAN」、「じゃらんnet」、「JR東日本」、「JR西日本」各社ウェブサイト、静岡市ウェブサイト



関連事業：

1)スライドトーク「イギリスのスタジオ・セラミックス」

概要：市内在住の陶作家・本原玲子氏を講師に、自身の留学体験を踏まえてイギリスの陶芸を紹介した。トーク終了後には展示室でギャラリートークを実施した。

日時：4月23日(土)16:00-17:00

会場：多目的室 参加者数：63人

講師：本原玲子氏(陶作家)

参加料：ギャラリートーク時のみ展覧会観覧料



2)スライドトーク「ハンス・コパー展ができるまで」

概要：本展企画協力者・西マーヤ氏が、展覧会ができるまでのエピソードや、長年の研究・調査の体験談をふまえ、本展の見どころを紹介した。

日時：4月29日(金・祝)13:30-15:00

会場：多目的室 参加者数：45人

講師：西マーヤ(本展企画協力者・株式会社ヒュース・テン)



3)こどもの日ワークショップ

「親子で、陶芸！～土を焼くと、ちがうものになる～」

概要：陶作家・本原玲子氏を講師に、小学生とその保護者を対象に、器の基本形「植木鉢」を手捻りで制作し、表面を飾り付け、下絵具で着色するワークショップを実施した。

日時：5月5日(木・祝)13:00-16:00

会場：ワークショップ室 参加者数：15人

講師：本原玲子氏(陶作家)

対象：小学生とその保護者

参加料：参加者1名につき500円

主要広報記録：

新聞

・「ろくろ使い鉢作り 静岡市美術館で親子が陶芸体験」『静岡新聞』、5月8日。



4)親子で楽しむギャラリートーク

概要：親子を対象としたギャラリートーク。会話を楽しみながら展覧会を鑑賞した。参加者には、本展オリジナルの「鑑賞マスター認定証」を配布した。

日時：5月21日(土)、6月18日(土)10:30-11:30

会場：展示室 参加者数：計13人

対象：小学生とその保護者

参加料：展覧会観覧料(保護者のみ)



(左)鑑賞マスター認定証  
(右)ワークシート

#### 5)ワークショップ「あたらしい形との出会い」

概要：中学生以上を対象に、コパーの作品をよりよく知るための陶芸ワークショップ。コパーの形のおもしろさ、不思議さを、土を触りながら探った。

日時：5月22日(日)13:00-16:00

会場：ワークショップ室 参加者数：14人

講師：本原玲子氏(陶作家)

対象：中学生以上

参加料：500円



#### 6)当館スタッフによるギャラリートーク

概要：学芸員によるギャラリートークを会期中4回行った。

日時：5月14日、28日、6月11日、25日(いずれも土)  
14:00-14:30

会場：展示室 参加者数：計103人

参加料：観覧料



#### 7)講演会「形のいろいろ -ハンス・コパーの陶芸」

概要：現代陶芸論の第一人者である茨城県陶芸美術館館長の金子賢治氏による講演会を行った。

日時：6月18日(土)13:30-15:00

会場：多目的室 参加者数：92人

講師：金子賢治氏(茨城県陶芸美術館館長)



## 出品作品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	材質	サイズ (幅×奥行×高さ/縦×横、 単位はcm)	所蔵
1	ハンス・コバー	ポット	1950年頃	陶器	23×23×27	個人蔵
2	ハンス・コバー	水差し	1952年頃	陶器	24×20×32	個人蔵
3	ハンス・コバー	ポット	1952年頃	陶器	21×21×36	個人蔵
4	ハンス・コバー	ポット	1953年頃	陶器	12×12×17	個人蔵
5	ハンス・コバー	ポット	1950年代	陶器	21×21×36.5	個人蔵
6	ハンス・コバー	ポット	1950年代前半	陶器	29.5×17×40	個人蔵
7	ハンス・コバー	頭部	1950年代前半	陶器	10.5×13.5×21	個人蔵
8	ハンス・コバー	頭部	1950年代前半	陶器	14×18.5×22.5	個人蔵
9	ハンス・コバー	プレート	1950年代前半	陶器	35.5×35.5×6.5	個人蔵
10	ハンス・コバー	ポット	1960年代後半	陶器	24.5×24.5×31	個人蔵
11	ハンス・コバー	ボウル	1955年頃	陶器	38×38×12	個人蔵
12	ハンス・コバー	ボウル	1955年頃	陶器	10×10×5	個人蔵
13	ハンス・コバー	トライポット	1956年	陶器	10×10×18.5	個人蔵
14	ハンス・コバー	ポット	1956年	陶器	9×9×12.2	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
15	ハンス・コバー	ポット	1956年	陶器	11.5×11.5×12.5	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
16	ハンス・コバー	花生	1956年	陶器	19×19×50.5	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
17	ハンス・コバー	ポット	1956年頃	陶器	28×28×23	個人蔵
18	ハンス・コバー	ポット	1957年	陶器	9.3×9.3×13.5	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
19	ハンス・コバー	花生	1957年頃	陶器	5.7×5.7×20	パークレイ・コレクション
20	ハンス・コバー	花生	1958年	陶器	5.2×5.2×15.8	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
21	ハンス・コバー	ボウル	1958年	陶器	27.6×27.6×9	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
22	ハンス・コバー	花生	1958年	陶器	13.2×21.5×20	東京国立近代美術館
23	ハンス・コバー	ボウル	1950年代後半	陶器	13×13×10	個人蔵
24	ハンス・コバー	ポット	1958年	陶器	18×7.4×23.2	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
25	ハンス・コバー	ポット	1960年	陶器	14×14×19	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
26	ハンス・コバー	ポット	1960年	陶器	8.9×8.9×12.3	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
27	ハンス・コバー	ポット	1960年頃	陶器	14.3×14.3×16.4	兵庫陶芸美術館
28	ハンス・コバー	コベントリー大聖堂の 燭台のためのマーケット	1961年	陶器	7×7×29	個人蔵
29	ハンス・コバー	コベントリー大聖堂の 燭台のためのマーケット	1961年	陶器	7.5×7.5×34.5	個人蔵
30	ハンス・コバー	ポット	1962年頃	陶器	14×6×23.8	パークレイ・コレクション
31	ハンス・コバー	ウォール・ディスク	1962年	陶器	インスタレーションサイズ 300×400	スウィントン・コミュニティ・スクール
32	ハンス・コバー	ポット	1964年	陶器	31×31×69	個人蔵
33	ハンス・コバー	花生	1964年	陶器	9×9×18	東京国立近代美術館
34	ハンス・コバー	ポット	1965年	陶器	11.5×11.5×12	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
35	ハンス・コバー	ポット	1965年	陶器	10.2×10.2×12.5	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
36	ハンス・コバー	ポット	1965年頃	陶器	11×8.5×15.5	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	材質	サイズ (幅×奥行×高さ/縦×横、 単位はcm)	所蔵
37	ハンス・コバー	花生(砂時計形)	1965年頃	陶器	17×17×42	個人蔵
38	ハンス・コバー	ティッスル・フォーム	1965年頃	陶器	39×15×46	個人蔵
39	ハンス・コバー	ポット	1965年頃	陶器	21×21×25	個人蔵
40	ハンス・コバー	ポット	1965年頃	陶器	10.5×10.5×14.6	パークレイ・コレクション
41	ハンス・コバー	ポット	1965年頃	陶器	9.5×9.5×15	個人蔵
42	ハンス・コバー	ポット	1965年頃	陶器	10×10×14.5	個人蔵
43	ハンス・コバー	ポット	1966年頃	陶器	10×10×16.5	個人蔵
44	ハンス・コバー	ポット	1966年頃	陶器	27.5×27.5×29.5	個人蔵
45	ハンス・コバー	ポット	1966年頃	陶器	14×11×19	個人蔵
46	ハンス・コバー	花生	1967年	陶器	13×13×35	個人蔵
47	ハンス・コバー	ポット	1967年	陶器	7.2×7.2×15.4	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
48	ハンス・コバー	ポット	1967年	陶器	9.5×9.5×18.5	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
49	ハンス・コバー	キラデス・フォーム	1967年頃	陶器	7×6.5×34	個人蔵
50	ハンス・コバー	キラデス・フォーム	1967年頃	陶器	5×5×19	個人蔵
51	ハンス・コバー	ポット	1968年頃	陶器	39×31×47	個人蔵
52	ハンス・コバー	花生(砂時計形)	1968年頃	陶器	10.5×10.5×29.5	パークレイ・コレクション
53	ハンス・コバー	ポット	1969年	陶器	20×20×25	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
54	ハンス・コバー	キラデス・フォーム	1969年	陶器	5.5×5.5×26.5	ヨーク・ミュージアムズ・トラスト(ヨーク市美術館)
55	ハンス・コバー	ポット	1960年代後半	陶器	25×19.5×32	兵庫陶芸美術館
56	ハンス・コバー	ポット	1960年代後半	陶器	13.7×13.7×15.3	兵庫陶芸美術館
57	ハンス・コバー	ポット	1970年頃	陶器	16.4×7.2×20	兵庫陶芸美術館
58	ハンス・コバー	ポット	1970年頃	陶器	10.5×9.5×19	個人蔵
59	ハンス・コバー	スベード・フォーム	1970年頃	陶器	11.4×6.5×19.1	パークレイ・コレクション
60	ハンス・コバー	花生(砂時計形)	1970年頃	陶器	11×11×31.4	パークレイ・コレクション
61	ハンス・コバー	ポット	1970年頃	陶器	13×13×16.5	岐阜県現代陶芸美術館
62	ハンス・コバー	スベード・フォーム	1970年頃	陶器	19×6×22.8	個人蔵
63	ハンス・コバー	ポット	1970年頃	陶器	32×30×42.1	兵庫陶芸美術館
64	ハンス・コバー	ポット	1970年頃	陶器	16.4×15.5×19.2	兵庫陶芸美術館
65	ハンス・コバー	キラデス・フォーム	1970年代	陶器	8×5×31.5	個人蔵
66	ハンス・コバー	スベード・フォーム	1970年代	陶器	10×4.5×16.2	個人蔵
67	ハンス・コバー	スベード・フォーム	1970年代	陶器	13.5×7.5×15.2	兵庫陶芸美術館
68	ハンス・コバー	ポット	1970年代	陶器	30.5×30.5×44.5	兵庫陶芸美術館
69	ハンス・コバー	ポット	1971年	陶器	11.5×11.5×15.2	パークレイ・コレクション
70	ハンス・コバー	スベード・フォーム	1971年	陶器	16.5×7×22.2	パークレイ・コレクション
71	ハンス・コバー	スベード・フォーム	1971年頃	陶器	12×6.5×19.2	兵庫陶芸美術館
72	ハンス・コバー	花生(砂時計形)	1972年	陶器	10.2×10.2×28.3	パークレイ・コレクション

No.	作家名	作品名	制作年	材質	サイズ (幅×奥行×高さ/縦×横、 単位はcm)	所蔵
73	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1972年	陶器	13.7×6×20.3	パークレイ・コレクション
74	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1972年頃	陶器	10.5×8.5×17	個人蔵
75	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1972年頃	陶器	9.5×7×21	個人蔵
76	ハンス・コバー	ティッスル・フォーム	1972年頃	陶器	21×7×26.5	岐阜県現代陶芸美術館
77	ハンス・コバー	ポット	1973年頃	陶器	10.5×9×16	個人蔵
78	ハンス・コバー	ポット	1974年	陶器	8.9×8.9×17.1	パークレイ・コレクション
79	ハンス・コバー	ティッスル・フォーム	1970年代前半	陶器	22.2×7.2×29	兵庫陶芸美術館
80	ハンス・コバー	ポット	1974年頃	陶器	12×12×15.5	個人蔵
81	ハンス・コバー	ポット	1974年頃	陶器	10×7.5×14	個人蔵
82	ハンス・コバー	ティッスル・フォーム	1975年	陶器	27×8.5×31.8	パークレイ・コレクション
83	ハンス・コバー	ポット	1975年	陶器	14.3×8.5×18.4	パークレイ・コレクション
84	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1975年	陶器	7.6×5×31.8	パークレイ・コレクション
85	ハンス・コバー	ポット	1975年頃	陶器	19×15×19.5	個人蔵
86	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1975年頃	陶器	5.5×5.5×32	個人蔵
87	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1975年頃	陶器	5×5×32.3	個人蔵
88	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1975年頃	陶器	7×5×28.5	個人蔵
89	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1976年頃	陶器	8.5×3.5×29	個人蔵
90	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1976年頃	陶器	4.5×4.5×20.5	個人蔵
91	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1976年頃	陶器	11.5×10×24	個人蔵
92	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1977年	陶器	9.5×7.5×21	パークレイ・コレクション
93	ハンス・コバー	キラダレス・フォーム	1977年頃	陶器	5.5×5×25.7	個人蔵
94	ハンス・コバー	スベード・フォーム	1978年	陶器	11.4×6.5×17.8	パークレイ・コレクション
95	ハンス・コバー	ポット	1978年	陶器	7.6×7.6×15.9	パークレイ・コレクション
96	ハンス・コバー	ポット	1979年	陶器	9.5×8×21	個人蔵
97	ハンス・コバー / ルーシー・リー	プレート(6点組)	1950年代	陶器	各19×19×3	パークレイ・コレクション
98	ハンス・コバー / ルーシー・リー	モーニング・セット(3点組)	1950年代	陶器	カップ10×8.2×7.4、ソーサー14.1× 14.1×2.7、ボウル14.8×14.8×7、 ジャー9.5×11.9×9.9	個人蔵
99	ハンス・コバー / ルーシー・リー	コーヒーセット(7点組)	1955年頃	陶器	コーヒーポット21.4×6.6×21.6、 シュガーボール12.8×12.8×6.8、 ミルクポット18.8×6.3×15.4、カッ プ(4点)各9.5×8.4×7.5、ソー サー(4点)各14.4×14.4×2	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
100	ハンス・コバー	セルフ・ポートレイト	1949年	油彩・カンヴァス	34×24.5	個人蔵
101	ハンス・コバー	ドローイング (ローレンスのポートレイト)	1953年	インク・紙	35×27	個人蔵
102	ハンス・コバー	ドローイング (アニヤのポートレイト)	1953年	インク・紙	35×27	個人蔵
103	ハンス・コバー	頭部	1953年頃	ブロンズ	26×37×30	個人蔵
104	ハンス・コバー	ドローイング(ヌード)	1950年代	インク・紙	43×29	個人蔵
105	ハンス・コバー	クレイ・プリント	1950年代	インク・紙	26×20	個人蔵
106	ハンス・コバー	クレイ・プリント	1950年代	インク・紙	26×20	個人蔵
107	ハンス・コバー	石膏板	1959年頃	石膏	26×21	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	材質	サイズ (幅×奥行×高さ/縦×横、 単位はcm)	所蔵
108	ハンス・コバー	シール・トゥリー	1950年代	素焼	8×8×29	個人蔵
109	ハンス・コバー	ポット	1960年	ブロンズ	10.5×10.5×14	個人蔵
110	ルーシー・リー	調味料入れ(3点組)	1950年代	磁器	4.6×4.6×8/4.5×4.5×7/3.5×3.5×4.8	個人蔵
111	ハンス・コバー / ルーシー・リー	ボウル	1950年代	磁器	15×15×7	個人蔵
112	ルーシー・リー	シリンダー	1950年代	磁器	9.4×8×15.2	兵庫陶芸美術館
113	ルーシー・リー	花生	1960年	磁器	15×15×29.5	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
114	ルーシー・リー	ボウル	1960年頃	磁器	24×24×11	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
115	ルーシー・リー	ボウル	1960年頃	磁器	22.5×22.5×10.5	個人蔵
116	ルーシー・リー	ボウル	1962年	磁器	18.5×18.5×13	個人蔵
117	ルーシー・リー	ボウル	1960年代	磁器	14.2×14.2×8.8	兵庫陶芸美術館
118	ルーシー・リー	花生	1972年頃	磁器	13×13×31.2	個人蔵
119	ルーシー・リー	花生	1974年	磁器	7.5×7.5×23.5	パークレイ・コレクション
120	ルーシー・リー	花生	1974年頃	陶器	10.5×10.5×16.5	個人蔵
121	ルーシー・リー	ボウル	1975年頃	磁器	22×22×11	岐阜県現代陶芸美術館
122	ルーシー・リー	花生	1976年	磁器	13.6×13.6×26.5	パークレイ・コレクション
123	ルーシー・リー	ボウル	1976年	磁器	7×7×4.6	パークレイ・コレクション
124	ルーシー・リー	ボウル	1976年頃	磁器	19.5×19.5×7.9	個人蔵
125	ルーシー・リー	シリンダー	1977年	磁器	4.9×4×8.5	パークレイ・コレクション
126	ルーシー・リー	ボウル	1977年	磁器	18×18×7.3	パークレイ・コレクション
127	ルーシー・リー	花生	1979年頃	陶器	10.5×10.5×19	岐阜県現代陶芸美術館
128	ルーシー・リー	花生	1980年	陶器	24×24×56	パークレイ・コレクション
129	ルーシー・リー	花生	1980年代	陶器	12×12×28	個人蔵
特別出品・資料						
130	ルーシー・リー	陶製ボタンとブローチ	1940年代			個人蔵
131	ハンス・コバーデザインによる外装タイルの広告(製造:S.G. Bダドリー社、メイデンヘッド・ブリック&タイル社)		1960-1963年頃			個人蔵
132	染色家ピーター・コリングウッドに宛てた自筆の手紙 1979年2月11日付		1979年			個人蔵
133	マウントバッテン卿によるディグズウエル・ハウス発足式のパンフレット		1959年			個人蔵
134	ヴィクトリア&アルバート美術館 ピーター・コリングウッドとハンス・コバーの共同展カタログ		1969年			個人蔵
135	バービカン・アート・ギャラリー (ロンドン)ルーシー・リーとハンス・コバー展作品リスト		1997年			個人蔵
136	記念切手シリーズ「英国の陶芸家」		1987年			個人蔵



## 2-2 没後150年 歌川国芳展

会期：7月9日(土)～8月21日(日) (38日間)  
(前期：7月9日(土)～31日(日))  
(後期：8月2日(火)～21日(日))

**概要：**歌川国芳(1797-1861)は、葛飾北斎(1760-1849)や歌川広重(1797-1858)と同時代に生き、武者絵に新境地を開いた人気の江戸っ子浮世絵師である。少年時代、浮世絵の王道・役者絵で名を成した初代歌川豊国に画才を見いだされ、その門人となった。折しも『水滸伝』や『八大伝』などの小説が流行する中、国芳31歳の時「通俗水滸伝豪傑百八人之壺人」で脚光を浴び、空想の世界のヒーローを続々と生み出した。また広重の保永堂版東海道五十三次を筆頭に、浮世絵界では風景画の傑作が相次いで版行された天保期、国芳は西洋画法を巧みに取り込み、光や影を鋭敏に捉えた斬新な風景画を描いている。

水野忠邦の「天保の改革」で役者絵や美人画が禁止されると、国芳はこれを逆にとり、幕府に対して痛烈な風刺画を描き、奇想天外なアイデアの戯画などで禁令をくぐり抜ける。忠邦が失脚すると、今度は大判三枚続を活用したダイナミックな武者絵で一世を風靡した。また、国芳の猫好きは有名で、何気ないしぐさを的確に捉えた猫好きならではの愛らしい作品を残している。

こうした多彩な国芳の絵は、時代をこえて、浮世絵ファンのみならず、デザイン関係者や若者世代の注目を浴び、国際的にも高く評価されている。本展は国芳の没後150年を記念し、代表作はもちろん、新発見の傑作を多数含む421点を集めた大規模な展覧会となった。

巡回先：大阪市立美術館、森アーツセンターギャラリー

主催：静岡市美術館 指定管理者(財)静岡市文化振興財団、静岡朝日テレビ、日本経済新聞社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協賛：SMBC日興証券、NEC、トヨタ自動車、日本興亜損害保険

静岡展特別協賛：セキスイハイム東海

観覧料：一般 1,200円(1,000円)  
大高生・静岡市在住70才以上 800円(600円)  
※( )内は前売および20名以上の団体料金  
※中学生以下無料  
※障害者手帳をご持参の方および介助者は無料

観覧者数：30,404人(有料22,691人、無料7,713人、有料率74.63%)

出品点数：421点(前期220点 後期218点 ※通期展示17点を含む)

印刷物：

1)チラシ

〈仕様〉紙：テイクGA-FS 62.5kg  
サイズ・加工・数量：  
A3二つ折(仕上げA4) 60,000部

2)ポスター

〈仕様〉紙：マットコート 135kg (B1)  
テイクGA-FS 135kg (B2・B3)  
サイズ・数量：B1 100部、B2 2,500部、B3 700部



チラシ裏

チラシ表



チラシ中面



B1およびB2ポスター



B3ポスター

カタログ：

〈仕様〉A4判変形(290×225mm)、342頁



カタログ

カラー図版452点

参考図版(モノクロ)51点)

岩切友里子「歌川国芳－幕末の奇才浮世絵師」

作品解説/参考資料(版元別無題役者絵シリーズ目録)/歌川国芳年譜/主要参考文献 等

監修：岩切友里子

執筆：岩切友里子、秋田達也(大阪市立美術館)、吉田恵理(静岡市美術館)

編集：岩切友里子、日本経済新聞社文化事業部

翻訳：ルース・S・マクレリー

発行：日本経済新聞社

発行年：2011年

普及ツール：

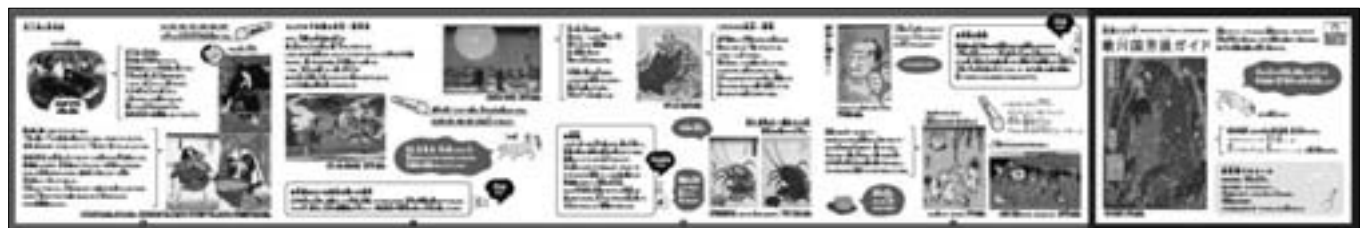
1)鑑賞ガイド

〈仕様〉紙：上質 90kg

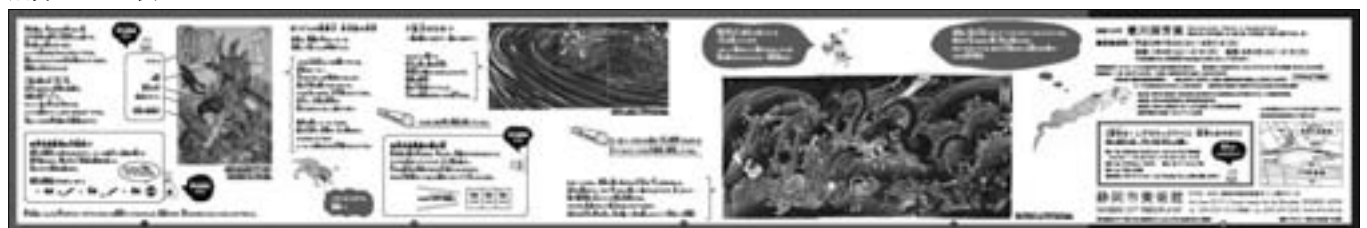
サイズ・加工・数量：150×921mm (仕上150×182mm)

ジャバラ折り 85,000部

静岡市内の小・中学校全児童・生徒に約63,000部を配布した。



鑑賞ガイド 表



鑑賞ガイド 裏

2)音声ガイド

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での観覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

印刷物：

チラシ

〈仕様〉紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 8,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

2)他施設との連携

静岡市東海道広重美術館と連携し、本展と広重美術館の「変わり種東海道－広重・国芳・三代豊国」展開催中(6月14日(火)－9月25日(日)、展示替え期間を除く)相互割引を実施した。

対象者数：96名

## 主要広報記録：

### 1)テレビ・ラジオ

- ・「歌川国芳展紹介 他：静岡市文化振興財団インフォメーション」FM-Hi！『ひるラジ！静岡情報館』、7月5日、8月2日放送。
- ・「歌川国芳展から生中継」静岡朝日テレビ『とびっきり！静岡』、7月8日放送。
- ・「歌川国芳展紹介」FM-Hi！『FM-Hi！週末おでかけ情報』、7月8日放送。
- ・「歌川国芳展内覧会」静岡朝日テレビ『県内ニュース』、7月8日放送。
- ・「夢の国芳 傑作10選」NHK教育テレビ『日曜美術館』、7月10日放送(7月17日再放送)。
- ・「歌川国芳展入場者1万人達成」静岡朝日テレビ『県内ニュース』、7月28日放送。
- ・「歌川国芳展作品紹介」静岡朝日テレビ『とびっきり！静岡』、8月1日-5日放送。
- ・「歌川国芳展入場者2万人達成」静岡朝日テレビ『県内ニュース』、8月12日放送。

### 2)新聞

- ・「奇才浮世絵師・国芳展 9日から静岡市美術館」『富士ニュース』、7月7日。
- ・「歌川国芳の作品420点が一堂に 静岡市美術館で開幕」『日本経済新聞』静岡版、7月9日。
- ・西岡一正「豪快痛快国芳の世界 西洋画模写 デザイン感覚磨く 静岡・東京没後150年展」『朝日新聞』(夕刊)、7月13日。
- ・前田恭二「歌川国芳没後150年 回顧展 反転、ねじれの痛快さ閉塞感振り払う想像力」『読売新聞』、7月14日。
- ・吉田恵理「没後150年歌川国芳展 時空を越えた国芳の魅力」『新美術新聞』、7月21日。
- ・「歌川国芳展 1万人突破」『日本経済新聞』静岡版、7月29日。
- ・増田愛子「歌川国芳 静岡で記念展 没後150年 魅力迫る421点」『朝日新聞』名古屋版(夕刊)、8月6日。
- ・「あさひテレビ情報 没後150年 歌川国芳展 奇才浮世絵師の後期展示開始！」『朝日新聞』静岡版、8月17日。

### 3)雑誌他

- ・「奇想天外なアイデア、デザイン性で注目の人気浮世絵師 没後150年 歌川国芳展」『Hot Pepper』、9月号。
- ・「史上最大級の展覧会 没後150年 歌川国芳展 幕末の奇才浮世絵師」『ソトコト』、9月号。
- ・「豊竹咲甫大夫による歌川国芳展紹介」『ケトル』、8月15日号。

### 4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

- 「一個人」、「artgene」、「Japan Design Net」、「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「Yahoo! JAPAN」、「じゅらんnet」、「JR東日本」、「JR西日本」各社ウェブサイト、静岡市ウェブサイト



8月12日 観覧者2万人達成

関連事業：

1) 「みんなで巨大鯨を描こう！」

概要：展覧会会期前からプレイベントとして実施した参加型ワークショップ。国芳の作品「宮本武蔵の鯨退治」に来館者が、カラフルなマスキングテープを貼り付けて、幅3mの巨大鯨に色をつけて完成させるというもの。多数の来館者の手により合計2枚完成させた。

実施日：6月16日(木)～8月21日(日)

会場：多目的室



完成図



2) 「武者絵トレカをつくろう！」

概要：来館者がいつでも参加できるワークショップ。国芳の武者絵を現代のトレーディングカードに仕立て、集める楽しみと絵をみる楽しみをうながした。国芳の武者絵に関するクイズに正解すると前期・後期で計6枚の武者絵トレカが貰え、これに色鉛筆で彩色するという工程。全問正解者にはスペシャルトレカを贈呈した。

実施日：7月9日(土)～8月21日(日)

会場：展示室・多目的室



武者絵トレカ



3) ギャラリートーク

概要：当館学芸員によるギャラリートークを夏場の展覧会であることを鑑み、朝・晩計6回実施した。

日時：7月9日(土)、23日(土)、8月6日(土)

①10:30～11:00 ②17:00～17:30

会場：展示室 参加者数：計218人

参加料：展覧会観覧料



#### 4)セキスイハイム東海プレゼンツ

##### 「浮世絵摺りの実演と子ども摺り体験！」

概要：アダチ伝統木版画技術保存財団の摺り師に講師を依頼。午前の部は一般向けの「神奈川冲浪裏」の摺り実演により、浮世絵の制作工程を紹介し、午後の部は主に小学生を対象にした摺り体験を行った。

日時：7月10日(日)①11:00-12:00 ②14:00-16:00

会場：多目的室(①②とも) 参加者数：計88人

講師：アダチ伝統木版画技術保存財団 摺り師

対象：①どなたでも ②小学生以上

参加料：②のみ 200円



摺りの実演



子ども摺り体験

#### 5)ワークショップ 国芳とあそぼう！

##### ①「浮世絵で飛び出すカードを作ろう」

概要：国芳は、大判三枚続の特徴を活かし、画面から飛び出すような迫力満点の作品を描いた。こうした作品をもとに、作品の迫力をより効果的にみせるポップアップカードを制作した。

日時：7月16日(土)

①子ども編 10:00-12:00 ②大人編 13:00-16:00

会場：ワークショップ室 参加者数：計41人

対象：①中学生以下 ②高校生以上

参加料：500円



①子ども編



①子ども編 完成作



②大人編

## ②「江戸の影絵あそびと団扇づくり」

**概要：**江戸時代に出版された影絵指南書を参考に影絵あそびを体験した後、国芳の影絵を利用した団扇絵をもとに各自団扇づくりを行った。

**日時：**7月18日(月・祝)①10:00-12:00 ②13:30-15:30

**会場：**ワークショップ室 参加者数：計31人

**対象：**中学生以下

**参加料：**500円

**主要広報記録：**

**新聞**

・「浮世絵でカード作り 静岡市美術館 小学生が国芳再現」『静岡新聞』、7月29日。



団扇完成作

## 6) 講演会「後姿の感情—歌川国芳の自画像とその系譜」

**概要：**かつて、歌川国芳展の企画に参画し、するどい切口の考察を加えた岡戸敏幸氏による講演会。「後姿」をキーワードに、なぜか後姿でしか描かなかった国芳の自画像の意味をさぐりつつ、国芳の本質にせまった。

**日時：**7月24日(日)14:00-15:30

**講師：**岡戸敏幸氏(早稲田大学非常勤講師)

**会場：**多目的室 参加者数：92人



## 出品作品リスト

### 武者絵—みなぎる力と躍動感

No.	作品名	展示替
1	西村屋版武者絵シリーズ「曾我箱丸」	後期
2	西村屋版武者絵シリーズ「隠岐次郎広有」	前期
3	西村屋版武者絵シリーズ「源頼光」	後期
4	平知盛亡霊の図	前期
5	三井寺合戦 新田四天王勇力	後期
6	「絵本合邦辻」	前期
7	「忠臣蔵十一段目两国橋勢揃図」	前期
8	「清盛入道布引滝遊覧悪源太義平雲討難波次郎」	後期
9	堀川夜討	後期
10	「宇治川合戦之図」	前期
11	川口版武者絵シリーズ 望月三郎兼舎	後期
12	川口版武者絵シリーズ「美家本武蔵」	後期
13	川口版武者絵シリーズ「天竺徳兵衛」	前期
14	川口版武者絵シリーズ「瀧口内舎人渡辺綱」	前期
15	鳶屋版武者絵シリーズ「樋口治郎」	後期
16	鳶屋版武者絵シリーズ「魔津伊多見治郎」	前期
17	「通俗水滸伝豪傑百八人の一個 九紋龍史進・跳洞虎陳達」	後期
18	「通俗水滸伝豪傑百八人の一個 扈三娘一丈青」	前期
19	「通俗水滸伝豪傑百八人の一個 清河縣之産武松」	後期
20	「通俗水滸伝豪傑百八人の一人 浪裡白跳張順」	後期
21	「通俗水滸伝豪傑百八人の一人 短冥次郎阮小五」	前期
22	「通俗水滸伝豪傑百八人の一人 旱地忽律朱貴」	前期
23	「通俗水滸伝豪傑百八人の一人 入雲龍公孫勝」	前期
24	「通俗水滸伝豪傑百八人の一人 浪子燕青」	前期
25	「通俗水滸伝豪傑百八人の一人 白花蛇楊春・神機軍師朱武・九紋龍史進・跳洞虎陳達」	後期
26	「本朝水滸伝豪傑百八人の一人 猪早太広直」	後期
27	「本朝水滸伝豪傑百八人の一人 早川鮎之助」	後期
28	「本朝水滸伝豪傑百八人の一人 天眼礮兵衛」	前期
29	「本朝水滸伝剛勇百八人の一人 宮本無三四」	前期
30	「本朝水滸伝剛勇百八人の一人 土喜大四郎元貞」	後期
31	「本朝水滸伝剛勇百八人の一人 鷲池平九郎」	前期
32	「本朝水滸伝剛勇百八人の一人 渡辺源二綱」	後期
33	「本朝水滸伝剛勇百八人の一人 岩沼吉六郎信里」	後期
34	「本朝水滸伝剛勇百八人の一人 犬田小文吾悌順」	前期
35	「本朝水滸伝剛勇百八人の一人 犬山道節忠興」	前期
36	西村屋版武者絵シリーズ「碓井又五郎飛弾山中二打大猿ヲ」	後期
37	山口屋版武者絵シリーズ「出雲伊鷹」	後期
38	加賀屋版武者絵シリーズ「那伽犀那尊者」	前期
39	加賀屋版武者絵シリーズ「蛟蟻仙人」	前期
40	「坂田怪童丸」	後期
41	「金太郎鬼ヶ嶋遊」	前期
42	鳶屋版武者絵シリーズ「毛谷村六助」	前期
43	山本版武者絵シリーズ「鬼若丸」	前期
44	「武勇百伝 木曾義仲」	後期
45	「武勇百伝 鎮西八郎為朝」	後期
46	富士の巻狩	後期
47	「船弁慶」	前期
48	「真田与市能久・俣野五郎景久」	後期
49	「薩摩守平忠度」	後期
50	「八犬伝之内芳流閣」	前期
51	源三位頼政鶴退治	前期
52	「源頼家公鎌倉小壺海遊覧 朝夷義秀雄雌鰐を捕ふ図」	前期

No.	作品名	展示替
53	「源頼光公館土蜘蛛作妖怪図」	後期
54	山平版武者絵シリーズ「新中納言知盛」	後期
55	山平版武者絵シリーズ「和田平太胤長」	後期
56	「盛衰記人品箋 法勝寺執行俊寛」	前期
57	「盛衰記人品箋 安芸守平清盛」	前期
58	「通俗水滸伝豪傑百八人の内 短命二郎阮小五」	前期
59	通俗水滸伝豪傑百八人の内 「活閻羅阮小七」	前期
60	「稚立功名鑑 鬼若丸」	後期
61	「伊達模様血気競 金神長五郎」	後期
62	「国芳もやう正札附現金男 野晒悟助」	前期
63	「国芳もやう正札附現金男 唐犬権兵衛」	前期
64	「源頼朝大仏供養之図」(国芳・広重合筆)	後期
65	仁田四郎、富士の人穴に入る	後期
66	「弁慶が勇力戯に三井寺の梵鐘を叡山へ引揚る図」	後期
67	鬼若丸の鯉退治	前期
68	相馬の古内裏	後期
69	宮本武蔵の鯉退治	後期
70	「美盾八競 晴嵐」 宮本無三四	後期
71	「美盾八競 神崎秋月」 樋口次郎兼光	前期
72	「源頼朝御富士牧狩之図」	後期
73	「忠臣義士高名競 三十四 木浦岡右工門奥行・堀淵寒左工門」	後期
74	「鏝鋸手練銀の名刃 佐野治郎左工門」	後期
75	「鏝鋸手練銀の名刃 大雲彦六鉄山」	後期
76	「誠忠義士肖像 潮田政之丞高教」	前期
77	「誠忠義士肖像 大星由良之助良雄」	前期
78	「誠忠義士肖像 杉野十平治次房」	前期
79	「江州坂本入江の浪士白狐にたぶらかさるゝ図」	前期
80	「義経功臣 四天王出世鑑之内 亀井六郎」	前期
81	「稲葉山中におみて荒猪を生捕たる強勇を大将の目にとまり臣下とす」	前期
82	城四郎長茂空中に怪異を見る図	後期
83	大物浦平家の亡霊	前期
84	「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」	前期
85	大江山酒呑童子	前期
86	「武田信玄諷訪頼重の陣中を打くつす図」	後期
87	「通俗三国志之内 玄德馬躍檀溪跳図」	前期
88	「源牛若丸僧正坊二随武術を覺図」	後期
89	「和田合戦義秀惣門押破」	後期
90	文覺上人那智の瀧荒行	前期
91	「吉野山合戦」	後期
92	「赤沢山大相撲」	前期
93	「川中嶋合戦」	後期
94	四条縄手の戦い	前期
95	「真勇競 きよ姫」	後期
96	「真勇競 平知盛」	前期
97	「列猛伝 生仏丸」	後期
98	「列猛伝 箱王丸」	前期
99	「程義経恋源一代鑑 三畧伝」 大物浦	後期
100	張文交 ぶぐ・上利剣・芳流閣 (広重・三代豊国・国芳合筆)	前期
101	「本朝武者鏡 橋姫」	前期
102	「和漢準源氏 花の宴 釈那王」	前期
103	「和漢準源氏 蓬生 桃太郎」	後期
104	「和漢準源氏 玉かつら 武内宿祢得干珠満珠」	前期

No.	作品名	展示替
105	「六様性国芳自慢 大安 怪童丸」	後期
106	「六様性国芳自慢 先真 文覚上人」	後期

説話—物語とイメージ

No.	作品名	展示替
107	「周易八卦絵 翼風」	後期
108	「周易八卦絵 震雷」	後期
109	「忠孝名誉奇人伝 兼女」	前期
110	「忠孝名誉奇人伝 左基五郎」	前期
111	地獄図	後期
112	「韓信誘潜之図」	前期
113	「龍宮玉取姫之図」	後期
114	「龍宮城 田原藤太秀郷に三種の土産を贈」	前期
115	「二十四孝童子鑑 呉猛」	前期
116	「二十四孝童子鑑 大舜」	前期
117	「二十四孝童子鑑 王褒」	後期
118	「二十四孝童子鑑 王褒 校合摺」	後期
119	「唐土廿四孝 姜詩」	後期
120	「唐土廿四孝 朱寿昌」	後期
121	痲瘋絵 鍾馗	後期
122	鍾馗	後期
123	「鍾馗散 邪鬼に即功」	前期
124	「木曾街道六十九次之内 六十八 守山 達磨大師」	前期
125	「木曾街道六十九次之内 三十 下諏訪 八重垣姫」	前期

役者絵—人気役者のさまざまな姿

No.	作品名	展示替
126	三代目中村歌右衛門の鬼一・三代目尾上梅幸の牛若	後期
127	岩井紫若の三平女房十六夜のりん・七代目市川團十郎の比企の判官頼員・坂東三津右衛門の節間宅兵衛	前期
128	三代目尾上菊五郎の玉屋新兵衛・二代目関三十郎の鶴飼九十郎	後期
129	三代目尾上菊五郎の彦彦・五代目瀬川菊之丞の小金	後期
130	「調布玉川景」	前期
131	二代目中村芝翫・二代目関三十郎・二代目岩井兼三郎	後期
132	見立 二代目関三十郎ののざらし語助・五代目瀬川菊之丞のけいせい地こく太夫・二代目中村芝翫の一体太郎	前期
133	片岡市蔵の薩崎伝蔵・沢村訥升の小平次・十二代目市川羽左衛門の小松屋宗七	後期
134	二代目岩井兼三郎のかつしかのお十・三代目尾上菊五郎の木下川与右衛門・四代目坂東三津五郎の渡し守浮世又平	後期
135	四代目坂東三津五郎の唐冠者・三代目尾上菊五郎の白面の久五郎・二代目関三十郎の天竺直右衛門	前期
136	片岡市蔵の金藤太・三代目尾上菊五郎の九尾太郎・四代目坂東三津五郎のかつきの助	前期
137	十二代目市川羽左衛門の塩沢丹三郎・三代目尾上菊五郎の羽生村の助・三代目尾上栄三郎のげいしやおさく・沢村訥升の与右衛門	前期
138	三代目尾上栄三郎のお弓・五代目松本幸四郎の直助・三代目尾上菊五郎のお岩ぼうこん、小平ぼうこん、与茂七三役早替・五代目市川海老蔵の神谷伊右衛門	後期
139	五代目市川海老蔵の民谷伊右衛門・三代目尾上菊五郎のお岩亡霊	後期
140	「大山弁瀧之図」	後期
141	三代目嵐吉三郎の佐藤政清	後期
142	十二代目市川羽左衛門の悪源太義平・四代目中村歌右衛門の岩木三郎太夫広綱・二代目市川九蔵の八町礫の鬼平次	後期
143	十二代目市川羽左衛門の名古屋小山三・四代目中村歌右衛門の物艸村の百姓太郎作	前期
144	三代目尾上栄三郎のしづか御ぜん、下り二代目尾上多見蔵の百姓きよる作と源九郎狐	前期

No.	作品名	展示替
145	坂東しうかの唐土姫・三代目尾上菊五郎の天竺冠者・五代目沢村宗十郎の斯波右衛門	前期
146	四代目坂東彦三郎の左大臣道平の霊・八代目市川團十郎の仁木弁之助	前期
147	四代目坂東彦三郎の神田川の与吉	前期
148	八代目市川團十郎の将門子息將軍太良・坂東しうかの将門息女瀧夜刃姫・十二代目市川羽左衛門の大宅太良光国	後期
149	五代目市川海老蔵の石川五右衛門・五代目沢村長十郎の大領久吉・三代目関三十郎の奴矢田平	後期
150	八代目市川團十郎の鳴神上人	前期
151	五代目市川海老蔵のなんまの小兵衛・八代目市川團十郎のうきよ伊之助・三代目岩井兼三郎の若那屋若草	前期
152	八代目市川團十郎の濡髪長五郎・三代目嵐璃寛の放駒長吉	後期
153	坂東しうかの橋本屋白糸	後期
154	三代目関三十郎の義平次ばア・坂東しうかの団七おかし	前期
155	歌俳菜名所絵合	通期
156	五代目市川海老蔵	通期

美人画—江戸の粋と団扇絵の美

No.	作品名	展示替
157	雪月花 月	後期
158	雪月花 雪	後期
159	「当流女諸礼儀方 物の見よう」	前期
160	「当流女諸礼儀方 小袖きかへ様」	前期
161	「当流女諸礼儀方 はおりたみやう」	後期
162	「本朝景色美人図会 伊勢二見浦景」	前期
163	「本朝景色美人図会 防州岩国錦帯橋之景」	前期
164	「当盛美人合」	後期
165	「流好御染物帳 柳葉御納戸」	前期
166	「流好御染物帳 江戸紫」	前期
167	狂歌賛美人半身シリーズ 遊女	後期
168	狂歌賛美人半身シリーズ 囲い女	後期
169	狂歌賛美人半身シリーズ 軽子	後期
170	「当世三婦苦対 湯帰り」	後期
171	「当世三婦苦対 遊女」	前期
172	「東海道五拾三次之内 品川」	後期
173	「渚の珠」	後期
174	「春の虹蛸」	前期
175	美人子ども十二ヶ月シリーズ 「端月の初卯」	後期
176	美人子ども十二ヶ月シリーズ 「皀月川開 両国ばし」	前期
177	美人子ども十二ヶ月シリーズ 「文月の七夕」	前期
178	美人子ども十二ヶ月シリーズ 「清月の月」	後期
179	美人子ども十二ヶ月シリーズ 「菊月 祭礼」	後期
180	美人子ども十二ヶ月シリーズ 「無神月 辰巳 八幡」	前期
181	船橋屋前	前期
182	「子供諸芸儀方」 常磐津	後期
183	「夏けし昼夜どけい ひるセツ時」	前期
184	手すりにもたれる遊女	後期
185	「新良万造」爪切り	前期
186	雪だるまを作る美人	後期
187	道成寺	後期
188	布晒し	前期
189	女三宮	前期
190	「四季心女遊 春」	後期
191	「四季心女遊 夏」	後期



No.	作品名	展示替
192	「四季心女遊 秋」	前期
193	「四季心女遊 冬」	前期
194	「江戸じまん名物くらべ 亀井戸のふち」	後期
195	「江戸じまん名物くらべ 深川のおきみ」	前期
196	「大願成就有ヶ瀧稿」 文覚上人	後期
197	「大願成就有ヶ瀧稿」 箱王丸	後期
198	「絵兄弟やさすがた」 鶴退治	前期
199	「絵兄弟やさすがた」 股野岩投げ	前期
200	「すみ田川の夕桜」	後期
201	「四季遊観 納涼のほたる」	前期
202	「駒形の朝霧」	前期
203	鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘	後期
204	鏡面シリーズ 紅付け	後期
205	鏡面シリーズ 櫛持つ美人	前期
206	鏡面シリーズ 元結	前期
207	「月日貝あたる友引」 手水鉢	後期
208	「名酒揃 宮戸川」	後期
209	「美人揃睦三曲」 小むらさき	前期
210	「東都七福弁天 深川すさき弁天」	前期
211	「東都八景 日本橋の夕照」	後期
212	「逢性鏡 吉三郎」	前期
213	「江戸自慢程好仕入 よしのかんとう」	後期
214	「江戸自慢程好仕入 しゃうぶかは」	前期
215	「人間万事愛婦美八卦意 駄 花鳥茶屋の夕照」	前期
216	「艶姿十六女仙 豊干禪師」	後期
217	「金龍山おくやまの景」	後期
218	両国夕景	後期
219	「三ツの猿夜の賑ひ」	前期
220	「暑中の夕立」	後期
221	「浮夜八会」 湯上り	後期
222	「浮夜八会」 仲の町	後期
223	「今様六夏撰 蚊屋」	前期
224	「今様六夏撰 土用見舞」	前期
225	「六景色 浅草寺の雪」	前期
226	「山海愛度図会 七 フーたい 越中滑川大鱈」	前期
227	「山海愛度図会 六十七 けむつたい 丹波 赤かいる」	前期
228	「新吉原京町壺丁目角海老屋惣二階之図」	後期

子ども絵―遊びと学び

No.	作品名	展示替
229	子ども火消し 八番組は組か組わ組た組	前期
230	「子供遊金生水之堀抜」	後期
231	「稚遊雪花月の内 雪」	後期
232	「稚遊雪花月の内 月」	後期
233	「稚遊雪花月の内 花」	後期
234	「子供遊士農工商 士」	後期
235	「稚遊のうち 農」 代掻き	後期
236	「おさな遊びのうち 農」	前期
237	「おさな遊びのうち 工」	前期
238	「稚遊のうち 商」	前期
239	「子供遊八行のうち 仁」	前期
240	「稚遊八行のうち 孝」	前期

No.	作品名	展示替
241	「子供諸礼膳方 掛物かけやう・立花生花見やう」	前期
242	「子供諸礼膳方 膳にすハリやう・給仕のしやう」	後期
243	「子供諸礼膳方 屏風のたてやう・障子の明たてしやう」	後期
244	「稚遊五節句之内 端午」	前期
245	「稚遊五節句之内 七夕」	前期
246	「新板子供遊びの内 雪あそび」	後期
247	「新板子供遊びのうち ぼんぼんうた」	後期
248	「新板子供遊びの内 春のあそび」	前期
249	「子供あそびのうち 角のり」	前期
250	「子宝遊」	前期
251	「幼童席書会」	後期
252	子供大名行列	前期

風景画―近代的なアングル

No.	作品名	展示替
253	「大山石尊良弁瀧之図」	後期
254	「山海名産尽 肥前国伊万里焼」	後期
255	「山海名産尽 伊勢鱈」	後期
256	「山海名産尽 信濃蕎麦」	前期
257	「山海名産尽 紀州鯨」	前期
258	「東都橋場之図」	前期
259	「東都宮戸川之図」	後期
260A	「東都御厩川岸之図」	後期
260B	「東都御厩川岸之図」 (変り摺)	後期
261	「東都三ツ股之図」	前期
262	「東都首尾の松之図」	前期
263	「近江の国の勇婦於兼」	後期
264	「忠臣蔵十一段日夜討之図」	前期
265	「東都名所 てつぼふづ」	前期
266	「東都名所 浅草今戸」	後期
267	「東都名所 かすみが関」	前期
268	「東都名所 佃嶋」	後期
269	「東都名所 新吉原」	後期
270	「東都名所 両国の涼」	前期
271	「本朝名橋之内 江都日本橋略図」	前期
272	「大山石尊大瀧之図」	後期
273	「相州大山道田村渡の景」	前期
274	「東都富士見三十六景 昌平坂の遠景」	後期
275	「東都富士見三十六景 新大はし 橋下の眺望」	後期
276	「東海道五拾三次人物志 川崎」	前期
277	「東海道五拾三次人物志 平塚」	前期
278	「相模州大住郡雨降大山全図」	後期
279	「相州江之嶋之図」	前期

摺物と動物画―精緻な彫と摺

No.	作品名	展示替
280	「風俗女水滸伝 百八番之内」 一絃琴	後期
281	「風俗女水滸伝」 土器投げ	後期
282	「風俗女水滸伝 百八番之内」 時計	後期
283	「風俗女水滸伝 壹百八人之内 朱武」	前期
284	「風俗女水滸伝 壹百八人ノ内 汐汲五番続其三 訖小二」	前期
285	五代目瀬川菊之丞の女六部・五代目岩井半四郎の傾城	後期

No.	作品名	展示替
286	捕手をとりひしぐ七代目市川團十郎	後期
287	床の間の琴	前期
288	撫で牛	前期
289	豊干と虎	後期
290	桜下の御殿女中 岩井紫若	後期
291	舟に乗る三代目尾上菊五郎	前期
292	八代目市川團十郎の暫	前期
293	大筒を抱える四代目中村歌右衛門	前期
294	花車 五節句賛	後期
295	しんば連 魚かし連 市川三升へ送之	後期
296	瓢箪に画帖 (国芳・是真合筆)	前期
297	「東西大関俳優」(国芳・三代豊国合筆)	前期
298	八代目市川團十郎追悼摺物 (国芳・三代豊国合筆)	後期
299	双龍	前期
300	「禽獣図会 龍虎」	後期
301	「禽獣図会 龍虎」校合摺	後期
302	「禽獣図会 鳳凰・麒麟」	前期
303	「禽獣図会 鳳凰・麒麟」校合摺	前期
304	金魚に目高	後期
305	えびざこ	後期
306	竹に虎	前期
307	「鼠よけの猫」	前期

戯画―溢れるウィットとユーモア

No.	作品名	展示替
308	「化物忠臣蔵」	前期
309	「流行達磨遊び」 手が出る足が出る	後期
310	「流行達磨遊び」 蕎麦・首引き	後期
311	「欠留人物更紗 十四人のからだにて三十五人にミゆる」	前期
312	「道外化もの夕涼」	後期
313	「道外獣の雨やどり」	後期
314	「道外狐へん化のけいこ」	前期
315	「流行猫の曲手まり」	後期
316	くつろぐ夏の猫美人たち	後期
317	猫の源氏 賢木	前期
318	「狸狐の遊」	後期
319	「道外化粧のたわむれ 花火」	前期
320	「道外化粧のたわむれ 大森」	前期
321	「絵鏡台合が身」 牛若丸・弁慶／おにがはら・かふもり	前期
322	「絵鏡台合が身」 猫／し・み・つ・はんにやあめん	後期
323	「絵鏡台合が身」 三福神／へび・かへる・まいまいつぶり	後期
324	「猫の当字」 ふぐ	後期
325	「猫の当字」 たこ	前期
326	「流行猫のおも入」	後期
327	「猫の百面相」 忠臣蔵	前期
328	「似たか金魚」	後期
329	「魚の心」	前期
330	「諸鳥やすうりづくし」	後期
331	「雀の百狂 鳥さし」	前期
332	「狐の嫁入図」	後期
333	「狸の川がり・狸の夕立」	後期
334	「さむがり狸・初午のたぬき」	後期

No.	作品名	展示替
335	「百亀家久 かるわざ・四天王の見立」	後期
336	「福祿寿あたまのたわむれ」 雨宿り・あくび	前期
337	「福祿寿あたまのたわむれ」 大掃除・相撲取	前期
338	「金魚づくし いかだのり」	後期
339	「さん魚づくし ぼんぼん」	前期
340	「十二支見立職人づくし」	前期
341	「かえるづくし」	前期
342	「朝比奈三郎義秀小人じま遊」	後期
343	「朝比奈義秀小人遊」	後期
344	「駒くらべ盤上太平碁」	前期
345	「開運出世合躰七福神」	後期
346	「ばかでほんひやうきんぐら 十一段目上・馬鹿手本票軽ぐら 十一段目下」	後期
347	「藤次流行思ひの竹沢 石うすまハシ」	前期
348	「藤次流行思ひの竹沢 大黒のつちまハシ」	前期
349	「藤次流行思ひの竹沢 さらまわし」	後期
350	「流行道外こまつくし はなれこま・しんぼうほかね／ぶんふくちやごま」	前期
351	「蝦蟇手本ひやうきんぐら」 大序・二段目	前期
352	「蝦蟇手本ひやうきんぐら」 三段目・四段目	前期
353	「おぼろ月猫の盛」	前期
354	「里すゝめねぐらの仮宿」	後期
355	「龍宮遊さかなげいづくし」	後期
356	「朝比奈小人嶋遊」	前期
357	「浮世よしづ久志」	前期
358	「としよりのよふな若い人だ」	前期
359	「人かたまつて人になる」	通期
360	「みかけハこハるがとんだいハ人だ」	後期
361	「其ま・地口猫飼好五十三疋」	前期
362	「たとえ尽の内」	後期
363	「其面影程能写絵 おかつり／ゑびにあかがひ」	後期
364	「其面影程能写絵 獵人にたぬき／金魚にひごいっ子」	前期
365	「其面影程能写絵 弁けい／たいこもち」	通期
366	「浅草奥山道外けんざけ」	前期
367	「流行三ツびやうし」	前期
368	「つくものけん」	後期
369	「竹沢梅升藤治 三曲拳」	後期
370	「荷宝蔵壁のむだ書」 黄腰壁	後期
371	「荷宝蔵壁のむだ書」 黒腰壁	前期
372	「流行達都絵希代稀物」	前期
373	「名誉右に無敵左り甚五郎」	後期

風俗・娯楽・情報

No.	作品名	展示替
374	「極ざいしきうつしゑ 都楽」	通期
375	「林屋正蔵工夫の怪談 百物語化物屋敷の図」	前期
376	「飛騨匠柱立之図」	後期
377	「桜三筋末広の松」	前期
378	竹沢藤次曲独楽 九尾の狐三国渡	前期
379	竹沢藤次曲独楽 お岩福荷	前期
380	竹沢藤次曲独楽 衣紋流し・邯鄲の夢枕ほか	前期
381	「江戸の花一流曲独楽 金毛九尾三国渡 竹沢藤次」	後期
382	「江戸の花一流曲独楽 於岩福荷怪談廻 竹沢藤次」	後期
383	「勇国芳桐対模様」	後期

No.	作品名	展示替
384	盆を拭くお竹	前期
385	「於竹大日如来の由来」	後期
386	奪衣婆と翁稲荷の首引	後期
387	お竹・翁稲荷・奪衣婆の宴会	前期
388	為朝と痲瘋神	前期
389	「大空武左衛門」	後期
390	「生月鯨太左工門」	後期
391	「鬼若力之助」	前期
392	「相撲年寄 六代目雷権大夫 八十三才」	後期
393	「七浦大漁繁昌之図」	前期
394	「大漁鯨のにぎわひ」	後期
395	「福神恵方あそび」	後期
396	「叶福助 年の市まうでの図」	後期
397	「石橋 早竹虎吉」	前期
398	「富士旗竿 早竹虎吉」	前期
399	「当盛見立人形之内 衆の仙人」	後期
400	「当盛見立人形之内 一ツ家之図」	前期
401	「春遊び陽気すご六」	後期
402	「新板東海道五拾三次名所入見立道中双六」	前期
403	「豪傑水滸伝双六」	後期
404	「破家利口振分双六」	前期
405	落合芳幾画 国芳死絵	後期
406	歌川芳雷画 国芳死絵	前期

肉筆画・板木・版本ほか

No.	作品名	展示替
407	美人大首	後期
408	遊女図	前期
409	遊女道中図	後期
410	遊女図	前期
411	夏衣美人図	後期
412	白拍子図	後期
413	立美人図	前期
414	浴衣を抱える美人	前期
415	「誠忠義士伝 三十六 矢多五郎右衛門祐武」板木	通期
416	「誠忠義士伝 三十六 矢多五郎右衛門祐武」	通期
417A	宇治川合戦 佐々木四郎高綱 板木(表)	通期
417B	宇治川合戦 佐々木四郎高綱 板木(裏)	通期
418A	「みかけハこハるがとんだいゝ人だ」板木	通期
418B	「みかけハこハるがとんだいゝ人だ」新摺品	通期
419	「神史水滸伝」	通期
420	「七ツ組入子枕」	通期
421	書簡	通期

2-3 開館1周年記念展〈I〉  
NHK静岡放送局開局80周年記念  
アルプスの画家 セガンティーニ ー光と山ー

会期：9月3日(土)～10月23日(日)〈44日間〉

概要：ジョヴァンニ・セガンティーニ(1858-1899)は、19世紀のイタリア、スイスを代表する画家である。不遇な少年時代を過ごした彼は画家を志し、17歳でブレラ美術学校に入学する。初期の明暗法を用いた作品は当時の批評家の注目を集め「イタリアのミレー」とも評された。28歳の時、彼はより明るい光を求めスイス・アルプスへと向かう。この時期フランスでは、スーラが点描で描いた作品を発表しているが、彼もまた独自の色彩分割技法を用いて、アルプスの風景やそこで暮らす人々を描いた。その後、アルプスの風景に母性や生命などの内省的なテーマを結びつけるようになり、象徴主義の傾向を示すようになる。しかし「私の山がみたい」という言葉を残し、41歳で急死するまで、身近にある対象を見つめ、その本質を描こうとする姿勢は生涯を通じて変わらなかった。

セガンティーニの作品がまとまって紹介されることは珍しく、日本では1978年の開催以来33年ぶりとなる展覧会である。本展では、代表作《アルプスの真昼》をはじめ、国内外のコレクションから集められた作品約60点を展示した。

巡回先：佐川美術館、損保ジャパン東郷青児美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(財)静岡市文化振興財団、NHK静岡放送局、NHKプラネット中部

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、イタリア大使館、スイス大使館

協賛：グラウビュンデン州文化庁、スイス・プロヘルヴェティア文化財団

協力：スイス インターナショナルエアラインズ、スイス政府観光局

制作協力：NHKプロモーション

観覧料：一般 1,000円(800円)  
大高生・静岡市在住70才以上 600円(400円)  
※( )内は前売および20名以上の団体料金  
※中学生以下無料  
※障害者手帳をご持参の方および介助者は無料

観覧者数：17,806人(有料13,213人、無料4,593人、有料率74.20%)

出品点数：60点(参考資料3点含む)

印刷物：

1)チラシ

〈仕様〉紙：テイクGA-FS 135kg  
サイズ・数量：A4 75,000部  
(※市内回覧用に別途23,100部)

2)ポスター

〈仕様〉紙：マットコート 135kg (B1)  
テイクGA-FS 135kg (B2・B3)  
サイズ・数量：B1 100部、B2 2,500部、B3 800部



チラシ表



チラシ裏



市内回覧用チラシ



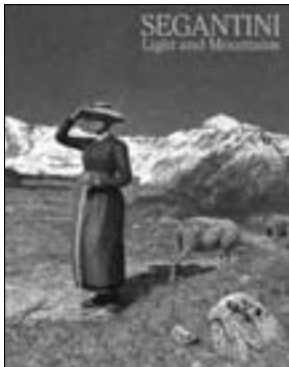
B1およびB2ポスター



B3ポスター

## カタログ：

〈仕様〉A4判変形(280×218mm)、183頁



カタログ

カラー図版81点

参考図版(モノクロ60点)

ベ아트・シュトゥッツァー「ジョヴァンニ・セガンティーニ：近代へのパイオニア」

千足伸行「アルプスの画家セガンティーニ：“魔の山”から“光の山”へ」

小川かい「日本からの眼差し—明治～昭和初期のセガンティーニ受容の諸相」

ニコル・ゼーベルガー「ジャポニスムのコンテクストにおけるジョヴァンニ・セガンティーニ」

久保州子「セガンティーニの足跡」

作品解説/関連地図/年譜/主要参考文献 等

監修：ベ아트・シュトゥッツァー（ビュンドナー美術館館長）、千足伸行（成城大学名誉教授）

執筆：ベ아트・シュトゥッツァー、ニコル・ゼーベルガー（ビュンドナー美術館学術研究員）、小川かい（静岡市美術館）、久保州子（コーディネーター）

編集：NHKプロモーション

翻訳：小川かい、佐藤エレナ、千速敏男、まい子・ベア、松井隆夫、松下ゆう子

編集協力：小川里枝、佐藤真実子

発行：NHKプロモーション

発行年：2011年

## 普及ツール：音声ガイド

### 各種連携：

#### 1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

### 印刷物：

#### チラシ

〈仕様〉紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 8,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

## 主要広報記録：

### 1) テレビ・ラジオ

- ・「セガントーニ展紹介 他：静岡市文化振興財団インフォメーション」FM-Hi！『ひるラジ！静岡情報館』、8月2日放送。
- ・「セガントーニ展紹介」FMみず『マリナルほっとライン』、7月8日放送。

### 2) 新聞

- ・「アルプスの画家 セガントーニ -光と山-展」『和展新聞』、6月25日。
- ・「アルプスの風景など60点 来月、静岡市美術館でセガントーニ展」『産経新聞』静岡版、8月10日。
- ・奥村圭吾「アルプスの風景や暮らし描いた60点 きょうからセガントーニ展 静岡市美術館」『中日新聞』静岡版、9月3日。
- ・西岡一正「何を眺めているのか「アルプスの真昼」ジョヴァンニ・セガントーニ」『朝日新聞』(夕刊)、9月14日。
- ・小川かい「アルプスの画家 セガントーニ -光と山- 国内33年振り、光あふれる代表作が勢揃い」『新美術新聞』、9月21日。
- ・増田愛子「静岡でセガントーニ展 アルプスの光と空気描く」『朝日新聞』名古屋版(夕刊)、10月8日。
- ・岸桂子「@展覧会 アルプスの画家セガントーニ」『毎日新聞』(夕刊)、10月11日。

### 3) 雑誌他

- ・「絶景世界遺産鉄道から極寒のユリア峠越えまで 画家セガントーニのアルプスに行く」『芸術新潮』、5月号。
- ・「アルプスの画家 セガントーニ -光と山-展」『mom』、8月号。
- ・「アルプスの画家セガントーニの国内33年ぶりの回顧展 開館1周年記念〈I〉・NHK静岡放送局開局80周年記念「アルプスの画家 セガントーニ -光と山-展」」『Hot Pepper』、9月号。
- ・「セガントーニ展紹介」『地球の歩き方 スイス』、2012年版。
- ・「セガントーニ展紹介」『OZ magazine』、9月号。
- ・「セガントーニ展紹介」『ひととき』、9月号。
- ・「セガントーニ展紹介」『ミセス』、10月号。
- ・「美術館で東西の名品と出会う アルプスの画家セガントーニ -光と山-」『月刊美術』、10月号。
- ・「Art Café アルプスを見つめた画家、セガントーニを知る」『芸術新潮』、10月号。
- ・『スイス大使館イベント案内』、9月-11月号。
- ・「富士山を眺めながらのドライブ アート鑑賞はアルピニスト気分 静岡市美術館」『CAR and Driver』、11月号。

### 4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「大橋巨泉流・究極の美術鑑賞ガイド」、「ミュージアムカフェ」、「カロンズネット」、「Japan Design Net」、「アート&デザイン情報図書館」、「イタリー・イン・ジャパン」、「artscape」、「CJキューブ」、「NHK静岡放送局」、「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「Yahoo! JAPAN」、「じゃらんnet」、「JR東日本」、「JR西日本」各社ウェブサイト、静岡市ウェブサイト



関連事業：

1)ワークショップ「ちぎって、はって、セガンティーニ！」

概要：セガンティーニが用いた色彩分割技法について学んだ後、マスキングテープを用いて、セガンティーニの絵の一部を再現した。高校生以上対象の回は、計2日間に渡り実施した。

日時：①子ども編 9月10日(土)13:00-16:00

②大人編 10月9日(日)、16日(日)10:00-16:00

会場：ワークショップ室 参加者数：計36人

対象：①小学生～中学生 ②高校生以上

参加料：①500円 ②2,000円

主要広報記録：

1)テレビ

・「ちぎって、はってセガンティーニ ワークショップ開催」NHK静岡放送局『県内ニュース』、9月11日放送。

2)新聞

・「ちぎって、はって 名作絵画再現 葵区の市美術館 児童20人が体験」『中日新聞』静岡版、9月11日。



子ども編



大人編



子ども編完成作



大人編完成作

2)ギャラリートーク

概要：当館学芸員によるギャラリートークを会期中計4回実施した。

日時：9月11日(日)、25日(日)、10月2日(日)、16日(日)  
14:00-14:30

会場：展示室 参加者数：計125人

参加料：観覧料



### 3) 講演会「アルプスの画家 セガンティーニ 『光と山』」

概要：本展監修者の千足伸行氏による、セガンティーニの人生とその作品に関する講演会。同時代の他の画家との比較や、スイス・アルプスの実際の風景もおりませ、セガンティーニの人生をたどった。

日時：9月17日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：93人

講師：千足伸行氏(本展監修者・成城大学名誉教授)



### 4) 講演会「セガンティーニの『良き母』と『悪しき母』」

概要：セガンティーニの研究者末吉雄二氏による講演会。セガンティーニの作品における「母性」について、同時代の思想的背景も参照しながら検討した。

日時：10月10日(月・祝)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：72人

講師：末吉雄二氏(慶應義塾大学名誉教授)





## 出品作品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法	サイズ(縦×横cm)	所蔵
1	ジョヴァンニ・セガンティーニ	鐘つき番	1879-80年	油彩、キャンヴァス	140×70	トレント＝ロヴェレート近現代美術館
2	ジョヴァンニ・セガンティーニ	ブシアーノの夕暮れ	1880年	油彩、キャンヴァス	65×95	ミラノ市立近代美術館
3	ジョヴァンニ・セガンティーニ	死んだカモシカ	1881年	油彩、キャンヴァス	75×100	ミラノ市立近代美術館
4	ジョヴァンニ・セガンティーニ	羊のいる風景	1881年	油彩、キャンヴァス	73×45	ヴィンチエンツォ・ヴェラ美術館 (スイス連邦より寄託)
5	ジョヴァンニ・セガンティーニ	山のアヴェ・マリア	1881-83年	コンテ、クレヨン、 紙	45.5×35.5	セガンティーニ美術館
6	ジョヴァンニ・セガンティーニ	農夫	1882-83年	油彩、キャンヴァス	62×44	ミラノ市立近代美術館
7	ジョヴァンニ・セガンティーニ	水飲み場にて	1881-83年	木炭、キャンヴァス に貼った紙	67.5×51	クリストフ・フロヒャー・コレクション
8	ジョヴァンニ・セガンティーニ	小屋に帰る羊の群れ	1883-84年	油彩、キャンヴァス	63×100	ヴィンタートゥール芸術文化歴史財団
9	ジョヴァンニ・セガンティーニ	羊の剪毛	1883-84年	油彩、キャンヴァス	117×216.5	国立西洋美術館(東京)
10	ジョヴァンニ・セガンティーニ	羊たちへの祝福	1884年頃	油彩、キャンヴァス	198×120	セガンティーニ美術館
11	ジョヴァンニ・セガンティーニ	ニンジンのある静物	1884年	油彩、キャンヴァス	57×80	ミラノ市立近代美術館
12	ジョヴァンニ・セガンティーニ	階段の習作	1884-85年	油彩、厚紙に貼った キャンヴァス	40×61	ビュンドナー美術館
13	ジョヴァンニ・セガンティーニ	キノコ	1886年	油彩、キャンヴァス	56×87	セガンティーニ美術館
14	ジョヴァンニ・セガンティーニ	白いガチョウ	1886年頃	油彩、キャンヴァス	114×81.5	チューリッヒ美術館
15	ジョヴァンニ・セガンティーニ	11月の寒い日	1883-84年	油彩、キャンヴァス	30.5×43	セガンティーニ美術館 (スイス連邦より寄託)
16	ジョヴァンニ・セガンティーニ	11月の寒い日	1887年頃	コンテ、紙	25.5×46	セガンティーニ美術館
17	ジョヴァンニ・セガンティーニ	居眠りする羊飼い	1882年	コンテ、鉛筆、紙	49.5×66	セガンティーニ美術館 (スイス連邦より寄託)
18	ジョヴァンニ・セガンティーニ	ブロンドの髪の若い女性の 頭部習作	1878-79年	油彩、キャンヴァス	31×29.5	ミラノ市立近代美術館
19	ジョヴァンニ・セガンティーニ	婦人像	1883-84年	油彩、キャンヴァス	120.0×87.0	ふくやま美術館
20	ジョヴァンニ・セガンティーニ	ガエターナ・カジラーギ・オリ アーニ夫人の肖像	1894年	油彩、キャンヴァス	100×70	ミラノ市立近代美術館
21	ジョヴァンニ・セガンティーニ	カルロ・ロッタの肖像	1897年	油彩、キャンヴァス	201×121	オスベダーレ・マッジョーレ
22	ジョヴァンニ・セガンティーニ	光のコントラスト	1887年	チョーク、紙	13.7×18	ビュンドナー美術館
23	ジョヴァンニ・セガンティーニ	羊の剪毛	1886-88年	鉛筆、チョーク、紙	25.5×48.5	クリストフ・フロヒャー・コレクション
24	ジョヴァンニ・セガンティーニ	死んだ英雄	1887年頃	コンテ、パステル、 金粉、紙	33.8×21	セガンティーニ美術館
25	ジョヴァンニ・セガンティーニ	わがモデルたち	1888年	油彩、キャンヴァス	65.5×92.5	チューリッヒ美術館
26	ジョヴァンニ・セガンティーニ	小屋に帰る羊の群れ	1888年	油彩、キャンヴァス	79.5×133	セガンティーニ美術館(オットー・フィッシュ バッハー財団より寄託)
27	ジョヴァンニ・セガンティーニ	洗濯女	1888-90年	パステル、木炭、 紙	31×66	ミラノ市立近代美術館
28	ジョヴァンニ・セガンティーニ	森からの帰途	1890年	油彩、キャンヴァス	64×95	セガンティーニ美術館(オットー・フィッシュ バッハー財団より寄託)
29	ジョヴァンニ・セガンティーニ	わがモデルたち	1890年	コンテ、色鉛筆、紙	27×37	セガンティーニ美術館
30	ジョヴァンニ・セガンティーニ	母山羊と子山羊	1891年	油彩、キャンヴァス	31×72.5	ファン・ゴッホ美術館(アムステルダム国 立美術館より寄託)
31	ジョヴァンニ・セガンティーニ	湖を渡るアヴェ・マリア	1890-92年	コンテ、鉛筆、厚紙	24.4×37.8	セガンティーニ美術館
32	ジョヴァンニ・セガンティーニ	アルプスの真昼	1891年	油彩、キャンヴァス	77.6×71.5	セガンティーニ美術館(オットー・フィッシュ バッハー財団より寄託)
33	ジョヴァンニ・セガンティーニ	雌牛の頭部	1892年	油彩、キャンヴァス	55×68	アルコ市庁舎
34	ジョヴァンニ・セガンティーニ	水を飲む茶色い雌牛	1892年	油彩、キャンヴァス	74×61	セガンティーニ美術館(オットー・フィッシュ バッハー財団より寄託)
35	ジョヴァンニ・セガンティーニ	死んだノロジカ	1892年	油彩、キャンヴァス	55.5×96.5	セガンティーニ美術館
36	ジョヴァンニ・セガンティーニ	日陰の憩い	1892年	油彩、キャンヴァス	44×68	クリストフ・フロヒャー・コレクション
37	ジョヴァンニ・セガンティーニ	バルコニーにて	1892年	油彩、キャンヴァス	65.5×42	ビュンドナー美術館(ゴットフリート・ケラー 財団より寄託)
38	ジョヴァンニ・セガンティーニ	井戸のかたわらに女性のいる アルプスの風景	1893年頃	油彩、キャンヴァス	71.5×121.5	オスカー・ラインハルト・ アム・シュタットガルテン美術館
39	ジョヴァンニ・セガンティーニ	生の天使	1892年	色鉛筆、パステル、 コンテ、紙	59×43	セガンティーニ美術館
40	ジョヴァンニ・セガンティーニ	春の牧草地	1896年	油彩、キャンヴァス	97.5×155.5	ブレラ美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法	サイズ(縦×横cm)	所蔵
41	ジョヴァンニ・セガンティーニ	ハイマツの枝	1897年頃	油彩、キャンヴァス	77.5×32	セガンティーニ美術館
42	ジョヴァンニ・セガンティーニ	カラマツ、アルプス三部作 [生]の画面右にある 木々の習作	1897年	鉛筆、紙	46×28	トレント自治県
43	ジョヴァンニ・セガンティーニ	[生]の習作	1897年	パステル、鉛筆、 木炭、紙	99×161.3	個人蔵
44	ジョヴァンニ・セガンティーニ	種まく人	1897年	コンテ、クレヨン、 紙	59.5×51.5	セガンティーニ美術館
45	ジョヴァンニ・セガンティーニ	虚栄	1897年	油彩、キャンヴァス	77×124	チューリッヒ美術館
46	ジョヴァンニ・セガンティーニ	じゃがいもをむく女性	1898年	油彩、キャンヴァス	50×37.5	ビュンドナー美術館
47	ジョヴァンニ・セガンティーニ	[死]の習作	1898-99年	コンテ、クレヨン、 厚紙	85×153	セガンティーニ美術館
48	ジョヴァンニ・セガンティーニ	ふたりの人物がいる風景	1899年	パステル、紙	20.5×30	ミラノ市立近代美術館
49	ジョヴァンニ・セガンティーニ	二十歳の自画像	1879-80年	油彩、キャンヴァス	35×26	アルコ市庁舎
50	ジョヴァンニ・セガンティーニ	自画像	1882年頃	油彩、キャンヴァス	52×38.5	セガンティーニ美術館(コッテフリート・ケ ラー財団より寄託)
51	ジョヴァンニ・セガンティーニ	自画像	1895年	コンテ、鉛筆、紙	34.4×24.2	セガンティーニ美術館(オットー・フィッシュ バッハー財団より寄託)
52	ジョヴァンニ・セガンティーニ	自画像	1895年	木炭、金粉、クレヨ ン、キャンヴァス	59×50	セガンティーニ美術館
53	ジョヴァンニ・セガンティーニ/ ジョヴァンニ・ジャコモッティ	ふたりの母たち	1899-1900年	油彩、キャンヴァス	69×125	ビュンドナー美術館
54	ジョヴァンニ・ジャコモッティ	ムオタス・ムラーユの パノラマ	1898年	油彩、キャンヴァス	67×105(外側のパネル2枚) 67×150(内側のパネル2枚)	ビュンドナー美術館
55	ジョヴァンニ・ジャコモッティ	死の床のジョヴァンニ・セガ ンティーニ	1899年	油彩、キャンヴァス	53×49	セガンティーニ美術館
56	ジョヴァンニ・ジャコモッティ	死の床のジョヴァンニ・セガ ンティーニ	1900年	エッチング、紙	46.7×43.4	ビュンドナー美術館
資料1		セガンティーニの手紙				SIK (スイス美術研究所)
資料2		セガンティーニの手紙				オスベダーレ・マジョーレ
資料3		セガンティーニの写真				SIK (スイス美術研究所)

## 2-4 開館1周年記念展Ⅱ レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想

会期：11月3日(木・祝)～12月25日(日)〈46日間〉

**概要：**《モナ・リザ》や《最後の晚餐》など世界の宝と言われる名画を残したレオナルド・ダ・ヴィンチ(1452-1519)。彼はイタリアのヴィンチ村に生まれ、フィレンツェで修業時代を過ごし、ミラノで絶頂期を迎えた。その後、さまざまな都市を転々とし、最後はフランス国王フランソワ1世に招かれ、アンボワーズ郊外で67年の生涯を閉じた。膨大な手稿を残す一方、現存する絵画はわずか十数点と限られている。しかし、その「美の世界」は彼の生きたルネサンス期の芸術家はもとより、現代にいたるまで多くの芸術家たちに多大な影響を及ぼしてきた。

静岡市美術館では開館1周年を記念して、レオナルド研究の世界的権威であるカルロ・ベドレッティ氏の名誉監修、レオナルド研究の第一人者であるアレサンドロ・ヴェッツォージ氏の監修、そして木島俊介氏を日本側監修に迎え、レオナルドの創造した「美の理想」に迫る。世界各地から集めた日本初公開となるレオナルドの作品やレオナルドと弟子による共作、弟子やレオナルド派と呼ばれる画家たちの作品、レオナルドと同時代の画家たちの作品、書籍や資料など約80点を展示し、「万能の天才」の美の系譜を紹介した。

**巡回先：**福岡市美術館、Bunkamuraザ・ミュージアム

**主催：**静岡市、静岡市美術館 指定管理者(財)静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送、毎日新聞社

**後援：**静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、外務省、イタリア文化財・文化活動省、イタリア大使館、アメリカ合衆国大使館、スポーツニッポン新聞社

**協賛：**鈴与グループ、損保ジャパン、大日本印刷、宝島社

**静岡展特別協賛：**セキスイハイム東海

**協力：**アリタリアーイタリア航空、日本航空

**観覧料：**一般 1,400円(1,200円)  
大高生・70才以上 900円(700円)  
※( )内は前売および20名以上の団体料金  
※中学生以下無料  
※障害者手帳をご持参の方および介助者は無料

**観覧者数：**53,136人(有料13,213人、無料4,593人、有料率76.18%)

**出品点数：**74点

**印刷物：**

1)チラシ

〈仕様〉紙：B7トラネクスト 115kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折(仕上げA4) 80,000部

2)ポスター

〈仕様〉紙：マットコート 135kg (B1)

ヴァンヌーパー Vスノーホワイト 135kg (B2・B3)

サイズ・数量：B1 100部、B2 2,200部、B3 700部



チラシ裏

チラシ表



チラシ中面



B1ポスター



B2ポスター



B3ポスター

## カタログ：

〈仕様〉A4判変形(277×225mm)、181頁



カタログ

カラー図版99点

参考図版(モノクロ)98点

カルロ・ペドレッティ「レオナルドと美の概念」

木島俊介「レオナルデスキとレオナルド・ダ・ヴィンチの遺産」

アレッサンドロ・ヴェッツォージ「美を解き明かす」

アレッサンドロ・ヴェッツォージ編「美について」(レオナルド・ダ・ヴィンチ『絵画論』より)

アレッサンドロ・ヴェッツォージ「レオナルドの生涯と作品—芸術と知の結び目」

主要作家解説/主要参考文献/作品リスト 等

名誉監修：カルロ・ペドレッティ (カリフォルニア大学ロサンゼルス校アーマンド・ハマー・レオナルド・ダ・ヴィンチ研究所所長)

監修：アレッサンドロ・ヴェッツォージ(レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館館長)

日本側監修：木島俊介(Bunkamuraザ・ミュージアム プロデューサー)

執筆：カルロ・ペドレッティ、アレッサンドロ・ヴェッツォージ、木島俊介

作家解説：大野陽子(群馬県立女子大学専任講師)

作品解説執筆：アンヌ・アーバー、ヴィンチェンツォ・ボーニ(ナポリ国立図書館学芸員)、ポール・ヨアニデス(ケンブリッジ大学美術史学科教授)、クリスティアン・ラニエ(前フランス美術館修復保存研究所所長、前国際博物館会議修復委員会議長)、ファウスタ・ナヴァッロ(アンドレア・デル・サルトの《最後の晩餐》美術館館長)、フランコ・イーヴァン・ヌッチャレッリ(元ペルージャ大学文学部教授)、カルロ・ペドレッティ、アンナリーザ・ペリッサ・トッリーニ(ヴェネツィア、アカデミア美術館・素描版画室室長)、ジョヴァンニ・ヴァラグッサ(アカデミア・カッラーラ美術館学芸員)、アレッサンドロ・ヴェッツォージ

編集：静岡市美術館、Bunkamuraザ・ミュージアム、毎日新聞社事業本部

和文翻訳：マーサ・マクリントク

デザイン：田中久子

制作：アイメックス・ファインアート

印刷：大日本印刷

発行：毎日新聞社

発行年：2011年

普及ツール：音声ガイド

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

印刷物：

チラシ

〈仕様〉紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 8,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏



11月11日入場者1万人達成



12月8日入場者3万人達成

## 主要広報記録：

### 1) テレビ・ラジオ

- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展はじまる」静岡放送『イブニングeye』、11月3日放送。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介 他：静岡市文化振興財団インフォメーション」FM-Hi！『ひるラジ！静岡情報館』、11月8日放送。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」静岡放送『Soleいいね！』、11月10日放送。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」FM-Hi！『あさラジ！@Morning』、11月18日放送。

### 2) 新聞

- ・岸桂子「伊大使「芸術による復興に」ダ・ヴィンチ展 3都市で開催」『毎日新聞』、9月27日。
- ・「ダ・ヴィンチ 独特の美学 11月3日から静岡市美術館 都内で概要説明 日本初公開70点」『静岡新聞』、9月27日。
- ・「ダ・ヴィンチ展見どころ紹介 来月3日、静岡市美術館」『静岡新聞』、10月15日。
- ・田中豊稲「静岡市美術館開館1周年記念展 レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想 上 「岩窟の聖母」真の“第二版”？」『静岡新聞』(夕刊)、10月24日。
- ・伊藤鮎「静岡市美術館開館1周年記念展 レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想 中 「アイルワースのモナ・リザ」深まる謎と魅力」『静岡新聞』(夕刊)、10月25日。
- ・伊藤鮎「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展から① 「岩窟の聖母」『毎日新聞』静岡版、10月25日。
- ・以倉新「静岡市美術館開館1周年記念展 レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想 下 「紡錘の聖母」の習作 慎まじやかで優美」『静岡新聞』(夕刊)、10月26日。
- ・伊藤鮎「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展から② 「紡錘の聖母」の習作」『毎日新聞』静岡版、10月26日。
- ・伊藤鮎「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展から③ 「裸のモナリザ」『毎日新聞』静岡版、10月27日。
- ・伊藤鮎「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展から④ 「アイルワースのモナ・リザ」『毎日新聞』静岡版、10月28日。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」『新美術新聞』、10月28日。
- ・伊藤鮎「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展から⑤ 「聖母子と聖アンナ」『毎日新聞』静岡版、10月29日。
- ・「「ダ・ヴィンチ」の美一堂 3日開幕、作品搬入 静岡市美術館 9割国内初公開」『静岡新聞』、11月1日。
- ・岸桂子「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展 静岡市美術館で開幕 天才の女性美に迫る」『毎日新聞』、11月2日。
- ・「特報 謎多き「モナ・リザ」ざらり 「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展開幕」『静岡新聞』、11月2日。
- ・「ダ・ヴィンチ展あす開幕 静岡市美術館で式典」『静岡新聞』(夕刊)、11月2日。
- ・小玉沙織「きょうから一般公開 「ダ・ヴィンチ美の理想展」静岡市美術館 内覧会で市民ら230人鑑賞」『毎日新聞』静岡版、11月3日。
- ・「『美の理想』追い求め ダ・ヴィンチ展開幕 静岡市美術館」『静岡新聞』、11月4日。
- ・「ダ・ヴィンチの美の理想 静岡市美術館」『富士ニュース』、11月5日。
- ・「入場1万人達成 ダ・ヴィンチ展開催8日目 静岡市美術館」『静岡新聞』、11月12日。

- ・小玉沙織「「ダ・ヴィンチ美の理想」展 来場者1万人突破」『毎日新聞』静岡版、11月12日。
- ・「静岡「ダ・ヴィンチ」展 来月25日まで 迫力「裸のモナ・リザ」」『静岡新聞』(夕刊)、11月25日。(※同一内容記事『東奥日報』11月24日、『岩手日報』11月26日、『千葉日報』11月30日、『福井新聞』12月1日、『山陰中央新報』12月2日、『日本海新聞』12月4日にそれぞれ転載)
- ・「アート・トークキング レオナルド・ダ・ヴィンチ構想/サライ(帰属)「裸のモナ・リザ」」『日本経済新聞』、12月8日。
- ・「ダ・ヴィンチ展3万人 佐野さんに記念品 静岡市美術館」『静岡新聞』、12月9日。
- ・小玉沙織「「ダ・ヴィンチ美の理想」展 来場者3万人突破 静岡市美術館でセレモニー」『毎日新聞』静岡版、12月9日。
- ・平塚雄太「5万3136人が美を堪能 静岡市美術館企画展で最多ダ・ヴィンチ展が閉幕」『毎日新聞』静岡版、12月26日。

### 3) 雑誌他

- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『CAR and DRIVER』、9月号。
- ・「アートスポットへ行こう！ようやく訪れた美術の秋を堪能する。」『芸術新潮』、11月号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『美術屋・百兵衛』、11月号。
- ・「多くの名画を残した「万能の天才」が創り出した美の世界に迫る！ 開館1周年記念展(Ⅱ) レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」『Hot Pepper』、11月号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『男の隠れ家』、11月号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『ぴあ×Star Cat』、11月号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『ギャラリー』、11月号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『Harmony 共済だよりしずおか』、11月号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『mom』、11月号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『marisol』、12月号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『月刊美術』、12月号。
- ・「一枚の絵 《裸のモナ・リザ》」『クオリア』、11月号。
- ・「ダ・ヴィンチを見に行こう」『週刊現代』、11月26日号。
- ・石川健次「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想 創造され、引き継がれた“美の規範”」『エコノミスト』、11月29日号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『アーティクル』、12月号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『Are You Happy?』、1月号。
- ・「捻破りの美を描いた レオナルドの美女の法則」『日経おとなのOFF』、1月号。
- ・「レオナルド・ダ・ヴィンチ展紹介」『日経おとなのOFF』特別付録、1月号。

### 4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

- 「大橋巨泉流・究極の美術鑑賞ガイド」、『MdN Design Interactive』、『artscape』、『美術館探訪 ARTNEWS アートニュース』、『インターネットミュージアム』、『アットエス』、『Yahoo! JAPAN』、『じゃらんnet』、『JR東日本』、『JR西日本』各社ウェブサイト、静岡市ウェブサイト

関連事業：

### 1) 講演会「レオナルドと美の世界」

概要：本展監修者のアレッサンドロ・ヴェッツォージ氏による、出品作品の解説と最新の研究を紹介する、逐次通訳による講演会。

日時：11月3日(木・祝)13:30-15:30

会場：多目的室 参加者数：135人

講師：アレッサンドロ・ヴェッツォージ氏(本展監修者、レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館館長)

主要広報記録：

新聞

・小玉沙織「追い求めた美の理想 イタリアの博物館館長 ダ・ヴィンチの魅力語る 静岡市美術館」『毎日新聞』静岡版、11月4日。  
・「『モナ・リザ』の謎に迫る レオナルドと美の世界」『静岡新聞』、11月22日。



### 2) 講演会「レオナルド・ダ・ヴィンチの〈謎〉について」

概要：本展日本側監修者の木島俊介氏による講演会。未だ謎が多いレオナルドの人物像について、ルネサンス期に興隆したネオプラトニズムの思想をふまえながら迫った。

日時：11月12日(土)13:30-15:00

会場：多目的室 参加者数：142人

講師：木島俊介氏(日本側監修者、Bunkamuraザ・ミュージアムプロデューサー)

主要広報記録：

新聞

・「ダ・ヴィンチの絵画解説 静岡市美術館 光と影で「生」表現」『静岡新聞』、11月13日。  
・小玉沙織「ダ・ヴィンチの絵画論解説 「美の理想」展監修者が講演」『毎日新聞』静岡版、11月13日。



### 3) 三館共同事業

「レオナルド・ダ・ヴィンチと音楽」

※72頁を参照。

### 4) 「親子でたのしむギャラリートーク」

概要：小学生とその保護者を対象にしたギャラリートークを開館前に実施した。作品の鑑賞方法、楽しみ方をわかりやすく解説し、参加者には、「鑑賞マスター認定証」を進呈した。

日時：11月20日(日)、12月17日(土)9:00-10:00

会場：展示室 参加者数：計92人

対象：小学生とその保護者

参加料：観覧料(保護者のみ)

主要広報記録：

新聞

・小玉沙織「モナ・リザ熱心に見比べ ダ・ヴィンチ展 親子ギャラリートーク」『毎日新聞』静岡版、12月13日。



ワークシート



鑑賞マスター認定証

5) 「学芸員によるスライドトーク」

概要：展覧会出品作の見どころをスライドを用いて解説した。

日時：11月23日(水・祝)、12月17日(土)14:00-14:30

会場：多目的室

参加者数：計272人



6) 三館共同事業

「科学者レオナルド・ダ・ヴィンチ」パネル展

※72頁を参照。

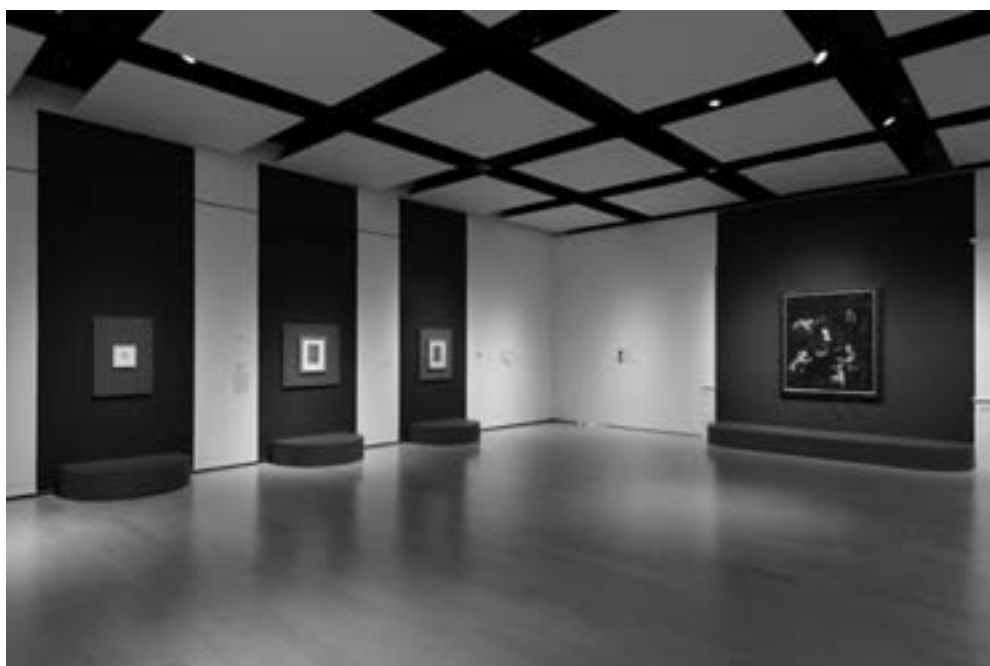
7) 三館共同事業

音楽青葉会・静岡児童合唱団×静岡科学館る・く・るコラボコン

サート/静岡室内楽フェスティバル協賛イベント

「ハーモニーの発見～レオナルドの求めた美と科学～」

※73頁を参照。



## 出品作品リスト

### I レオナルド・ダ・ヴィンチとレオナルド派

No.	作家名	作品名	制作年	技法	サイズ(縦×横cm)	所蔵
1	レオナルド・ダ・ヴィンチ	衣紋の習作	1470-75年頃	テンペラ、鉛白、亜麻布	28.8×18.1	バーバラ・ピエセッカ・ジョンソン・コレクシオン財団
2	レオナルド・ダ・ヴィンチ	衣紋の習作	1470-75年頃	テンペラ、鉛白、亜麻布	28.2×18.1	バーバラ・ピエセッカ・ジョンソン・コレクシオン財団
4	レオナルド・ダ・ヴィンチと弟子	《紡錘の聖母》の習作	16世紀初頭	サンギース、赤く地塗りをした紙	25.7×20.3	アカデミア美術館 版画素描室
6	レオナルド・ダ・ヴィンチ	老人の頭部 (ボワイエの断片)	1517-18年頃	ペン、インク、透かし模様(花の形?)の跡が見られる薄い灰色で地塗りされた紙	6.1×4.8	個人蔵
8	サライ(カルロ・ペドレッティ説)	ぼつれ髪の女(模写)	1510年頃	油彩、テンペラ、板(ボプラ)	25×19	個人蔵
9	レオナルド・ダ・ヴィンチと弟子 (カルロ・ペドレッティ説)	岩窟の聖母	1495-97年頃	油彩、板(後にキャンヴァスに移行)	154.5×122	個人蔵
10	レオナルド・ダ・ヴィンチ下絵、 サライ(カルロ・ペドレッティ説)	聖母マリア	15世紀末— 16世紀初頭	油彩、板(ボプラ)	24×20.5	個人蔵
11	レオナルド・ダ・ヴィンチとジャン ピエトリノ(カルロ・ペドレッティ 説)	マグダラのマリア(ルクレティア?)	1515年頃	油彩、板	58×45.5	個人蔵
12	サライ(帰属)	聖母子と聖アンナ	1510-20年	油彩、板	99×72	ウフィツィ美術館
13	ジャンピエトリノ	アレクサンドリアの聖女カテ リーナ	16世紀	油彩、板	64×50	ウフィツィ美術館
14	ジャンピエトリノ	聖女カテリーナの殉教	16世紀前半	油彩、板	74×59	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館寄託
15	ジャンピエトリノ	マグダラのマリア	16世紀	油彩、板	71.5×51.5	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
16	レオナルド派	ミニム女子修道会の聖母	16世紀初頭	油彩、板	44.7×34.5	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
17	レオナルド・ダ・ヴィンチの工房	幼子イエスと洗礼者ヨハネ	16世紀の 第1四半世紀	油彩、板	43×51	ギャルリー・ハンス
18	ベルナルディーノ・デ・コンティ	授乳の聖母	1501年	油彩、板	61.5×44.3	アカデミア・カッラーラ美術館
21	レオナルド・ダ・ヴィンチ	〔絵画論〕	1651年	書籍	39.3×26.8×3	フィレンツェ国立中央図書館

### II レオナルドの時代の女性像

No.	作家名	作品名	制作年	技法	サイズ(縦×横cm)	所蔵
22	アニーロ・ディ・ドメニコ、 通称マッツィエーレ	平和の寓意	1490年頃	テンペラ、板	82×168.5	個人蔵
23	ピントゥリッキオ工房のウンブリア 出身の画家	聖母子	1480-90年頃	油彩、板	52×35	個人蔵
25	ウンブリア地方の画家(ドメニコ・ アルファーニ?)	髪を結った少女の胸像	16世紀初頭	黒チョークの痕跡、褐色のインク、紙	23.2×16.8	アカデミア美術館 版画素描室
26	ウンブリア地方の画家(ドメニコ・ アルファーニ?)	女性頭部	16世紀初頭	黒チョークの痕跡、褐色のインク、紙	23.1×16.8	アカデミア美術館 版画素描室
27	ラファエロとその工房(帰属)	カーネーションの聖母	1506年頃	油彩、板	37.1×29.5	ギャルリー・ハンス
28	ラファエロとその工房(帰属)	ヒワの聖母	1505年以降	油彩、板	107×77	個人蔵
29	ラファエロ周辺の画家	ヴェールの聖母	16世紀	油彩、キャンヴァス	140×100	個人蔵
30	ジュリオ・ロマーノ	金工品のための図案(?)	1530年頃	ペン、インク、褐色の彩色、紙	28.3×21.5	ギャルリー・ハンス
31	ラファエロ周辺の画家	《フランソワ1世の聖家族》 の習作(模写)	1518年頃	サンギース、紙	17.1×12.8	ギャルリー・ハンス
32	トシマーゾ・ディ・ステーフノ・ ルネッティ(帰属)	ターバンの女	1520年頃	油彩、板	88×67	アンドレア・デル・サルト《最後の晩餐》美術館



No.	作家名	作品名	制作年	技法	サイズ(縦×横cm)	所蔵
33	ジロラモ・マルケージ・ダ・コティニョーラ	眠る幼子イエス、聖母と洗礼者聖ヨハネ	1520年頃	油彩、板	52×41.5	個人蔵
34	ベルナルディーノ・リチニオ	鏡を持つ高級娼婦の肖像	1540年頃	油彩、板	91×74	個人蔵
35	フランチェスコ・コロナ	『ボリフィロの夢』	1499年	インクナブラ	33×23×4	ナポリ国立ヴィットリオ・エマヌエーレ3世図書館
36	ジャンバッティスタ・デッラ・ボルタ	『人間観相学』	1602年	書籍	31×20×3	ナポリ国立ヴィットリオ・エマヌエーレ3世図書館

### Ⅲ 「モナ・リザ」イメージの広がり

No.	作家名	作品名	制作年	技法	サイズ(縦×横cm)	所蔵
37	レオナルド・ダ・ヴィンチ考案／アルブレヒト・デューラー	柳の枝の飾り文様	1506-08年頃	木版画、紙	42.6×31	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
38	トスカーナ地方の工房	ジョコンダ家の紋章のある食器	15世紀末—16世紀初頭	マジヨリカ焼	6×9.5×3 / 13.7×3.7 / 17.5×3.7	フィオレット・ギャラリー
39	アントニオ・デ・ヘアティス	『旅行記』	16世紀(1522年)	手稿	22×15.5 158紙葉	ナポリ国立ヴィットリオ・エマヌエーレ3世図書館
40		アイルワースのモナ・リザ	16世紀(レオナルド・ダ・ヴィンチによる1503年の未完成作説あり)	油彩、キャンヴァス	84.5×65.7	個人蔵
41	作者不詳	ヴァッラルディ家のモナ・リザ	16世紀初頭	木炭、紙(石墨による後世の加筆)	64×51	ハイド・コレクション
42	レオナルドの流れを汲む画家の追随者	エッキングのモナ・リザ	16世紀	油彩、板(後にキャンヴァス)	80×47	個人蔵
43	アンブロワーズ・デュボア(帰属)	モナ・リザ	1600年頃	油彩、キャンヴァス	80×54	個人蔵
44	作者不詳	モナ・リザ	16世紀?	油彩、キャンヴァス(板で補強)	81×52.5	個人蔵
45	シャルル・ラングロフ	ミュンヘンのモナ・リザ	18世紀後半	メゾチント、紙	29.2×19.8	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
46	ピエール・ブイヨン(下絵)、ジャン＝マリ＝ラファエル＝レオポルド＝マサール(版画)	モナ・リザ	19世紀前半	エッチング、ビュラン、紙	35.5×23.4	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
47	ガスパーレ・センシ	美しきモナ・リザ	19世紀	リトグラフ、紙	54×44	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
48	エドゥアルト・クレメンス・ヘヒナー(下絵)、B・ベルナー(版画)	ミュンヘンのモナ・リザ	19世紀	リトグラフ、紙	52.7×39.7	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
49	ルイジ・カラマッタ	リザ・ジョコンダ(モナ・リザ)	1857年	ビュラン、紙	69×53.3	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
50	作者不詳	レオナルドによるモナ・リザ、『絵による大市場・万国図解』の挿絵	1874年	雑誌	30.3×43	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
51	作者不詳	モナ・リザ	18世紀—19世紀	大理石	49.9×39×24	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
52	フランチェスコ・ベトルッチ(下絵)、フィレンツェ出身のジョバンニ(ジョアン)・ドメニコ・ピッキアンティ(版画)	ラ・ムータ	18世紀(1710年以降)	エッチング、紙	30×20	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
53	フランチェスコ・フロリディ(下絵)、デルフィーノ・デルフィーニとアゴスティーノ・マルケージ(版画)	マッダレーナ・ドーニの肖像	19世紀	銅版画、紙	30.2×22.1	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
54	ピエール・ブイヨン(下絵)、ラファエル・モルゲン(版画)	ナポリ副王妃イザベルの肖像	19世紀初頭	エッチング、紙	40.7×32.1	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館

## IV 「裸のモナ・リザ」、「レダと白鳥」

No.	作家名	作品名	制作年	技法	サイズ(縦×横cm)	所蔵
55	レオナルド・ダ・ヴィンチ/構想 サライ(帰属)	裸のモナ・リザ	16世紀	油彩、キャンヴァス(板で補強)	78×58	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館寄託
57	作者不詳	裸のモナ・リザ	16世紀?	油彩、キャンヴァス	90×73	プリモリ財団
58	カルロ・アントニオ・プロカッ チーニとエルコレ・プロカッ チーニ(子)	フローラ	1625-30年頃	油彩、板	78×60	アカデミア・カッラーラ美術館
59	ジョージ・ファリントン(下絵)、 ジャン=バティスト・ミシェル(版画)	裸のモナ・リザ	1774-75年	エッチング、紙	18.3×14.2	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
60	サルヴァトーレ・カルデッリ	裸のモナ・リザ	18世紀末— 19世紀初頭 (1814年以前)	エッチング、紙	53×36.6	プリモリ財団
61	フォンテーヌブロー派	浴室のふたりの女性	16世紀	油彩、板	129×97	ウフィツィ美術館
62	レオナルド周辺の画家	レダと白鳥	16世紀	テンペラ、板	115×86	ボルゲーゼ美術館
63	フレデリック・クリスチャン・ルイス	レダと白鳥	1809年	銅版画、紙	39×27	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
64	フランチェスコ・バルトロツィ	レダの頭部	1806年	銅版画、紙	24×23	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
65	ジョヴァンニ・ヴェンドラミーニ	膝をつくレダと白鳥	1812年	メゾチント、紙	21.6×17.1	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
66	16世紀中葉フィレンツェの画家	レダと白鳥	1550-60年頃	油彩、板	57×78	アカデミア・カッラーラ美術館
67	モノグラムH. B.の画家	レダと白鳥	1541年	エッチング、紙	4.4×5.8	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
68	アンドレア・スカッチャーティ	レダと白鳥のいるエリダヌス 川の寓意	1766年	エッチング、アクアチント、紙	36×30	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館

## V 神話化されるレオナルド

No.	作家名	作品名	制作年	技法	サイズ(縦×横cm)	所蔵
69	ジロラモ・マンテッリ	レオナルド風の女性の肖像	1785年	エッチング、紙	32×24.5	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
70	ベルトロ・ウィリアム・トムキンス	若い女性の肖像	1802年	メゾチント、紙	37.4×23.5	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
71	フランチェスコ・バルトロツィ	聖アンナの頭部	1796年	エッチング、メゾチント、紙	25×22	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
72	アントニオ・テンベスタ	強剛なロドモンテと美しきイザ ベッラ	16世紀後半— 17世紀前半	エッチング、紙	15×21.7	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
73	ベネデット・バストリーニ	醜い公爵夫人	1806年	エッチング、メゾチント、紙	25.4×22.6	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
74	フランチェスコ・バルトロツィ	レオナルドの肖像	1795年	メゾチント、紙	32.7×24.5	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
75	ジュゼッペ・ベナーリヤ	レオナルドの肖像	1810年	書籍、挿絵(点刻銅版画)	45.8×33.4	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
76	ジュゼッペ・ボン	「人体のシンメトリーに関するレ オナルド・ダ・ヴィンチの論考 について。偉大な彫刻家アン トニオ・カノーヴァに捧ぐ」	1811年 (ミラノ王立印 刷所出版)	書籍(3点の図版付)	31×44.5	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
77	フランチェスコ・バルトロツィ	若い男(サライ)の肖像	1796年	エッチング、メゾチント、紙	27.7×22.5	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
78	チェーザレ・マッカーリ	《モナ・リザ》を描くレオナルド ・ダ・ヴィンチ	1863年	油彩、キャンヴァス	93.5×128	カッシーリ美術館(ドゥッチョ・ディ・ブオニ ンセーニャ美術研究所より寄託)
79	ポール=ブロスベル・アレ	《モナ・リザ》を描くレオナルド・ ダ・ヴィンチの工房を訪問する、 ラファエロとルカ・パチョーリ	1845年	リトグラフ、紙	96×78	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
80	作者不詳	《ラ・ベル・フェロニエール》 とフランス国王フランソワ1世	19世紀	多彩色リトグラフ、紙	28×38	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
81	ジョゼフ=テオドール・リショーム	レオナルドの死	1818年以降	エッチング、ビュラン、紙	51.7×58.9	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館

## 2-5 竹久夢二と静岡ゆかりの美術

会期：1月7日(土)～3月25日(日) (64日間)

前期：中川雄太郎と静岡の創作版画の世界  
1月7日(土)～2月12日(日)  
後期：平野富山“彩色木彫”の美  
2月18日(土)～3月25日(日)

**概要：**風光明媚な静岡は、画家たちの格好の画題となったばかりでなく、様々な芸術家や優れたコレクターを輩出してきた。本展は開館一周を機に、「静岡が育んだコレクター」「静岡が生んだ作家」「静岡にやってきた作家」をキーワードに、静岡市の所蔵品を中心として、ここ静岡が育んできた多彩な美術の様相を展示するものであった。

第1章では、江戸時代の東海道を描いた屏風や、近代の東海道の旅を楽しげに描いた絵巻などにより、東海道とともに歩んだ静岡を紹介した。第2章は、“志田コレクション”竹久夢二の世界―旧蒲原町の有志が築いた名コレクションと銘打って、大正時代を代表する抒情画家・竹久夢二(1884-1934)に魅せられた女性郷土史家が蒐集した、全国的にも珍しい女性の視点による夢二コレクションの全貌を提示するとともに、本展の調査において発見された新出作品も展示した。第3章では静岡・瀬名生まれの版画家であり、教育者で、郷土史家、河童を研究して“河童の雄太”といわれた中川雄太郎(1910-75)の画業の全貌に迫った。第4章は、静岡・江尻生まれで、彫刻家・平櫛田中に信頼された彩色木彫家、平野富山(1911-89)の、あたかも仏画を木彫に描くような精緻な技術、生けるがごとくの迫力の描写を紹介した。第5章は富士をこよなく愛し晩年三保に移り住んだ和田英作(1874-1959)、静岡で活躍した版画家・伊藤勉黄(1917-92)、静岡生まれ静岡育ちの版画家・海野光弘(1939-79)らが描いた静岡の情景を展示した。また、本展開催と軌を一にして、当館エントランスホールに「東海道五十三次ひとめ図」が設置された。これを記念し、地域に残る匠の技を紹介する関連展示「静岡の匠」やここ20年の静岡の美術の動向をしめした、地元企業が若手作家支援の一環として実施してきたカレンダー展を開催するなど、地域連携に努めた。

巡回先：なし(自主企画展)

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(財)静岡市文化振興財団、テレビ静岡

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

特別協賛：創立90周年記念 静岡信用金庫

観覧料：一般 600円(400円)

大高生・70才以上 400円(200円)

※( )内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障害者手帳をご持参の方および介助者は無料

※本展有料観覧券の半券を持参した来場者には、本展を団体料金で観覧できる「リピーター割引」を実施

観覧者数：14,163人(有料9,328人、無料4,835人、有料率65.86%)

出品点数：333点

印刷物：

1)チラシ

〈仕様〉紙：テイクGA-FS 90kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折(仕上げA4) 80,000部

2)ポスター

〈仕様〉紙：マットコート 135kg (B1)

テイクGA-FS 135kg (B2・B3)

サイズ・数量：B1 100部、B2 2,000部、B3 500部



チラシ裏

チラシ表



チラシ中面



B1およびB2ポスター



B3ポスター

#### カタログ：

〈仕様〉A4判変形(290×225mm)、128頁



カタログ

カラー図版758点

参考図版(モノクロ140点)

森谷紗世「志田コレクション」竹久夢二—その成立過程を巡って」

吉田恵理「中川雄太郎の画業」

吉田恵理「平野富山の彩色木彫」

竹久夢二・平野富山関係資料/関連略年表/出品目録/主要参考文献  
等

執筆：森谷紗世、吉田恵理(静岡市美術館)

作品解説執筆：小川かい、森谷紗世、吉田恵理(静岡市美術館)

編集・発行：静岡市美術館

制作：松本印刷株式会社

発行年：2012年

#### プレス発表

**概要：**本展開催にあたり、志田コレクションを中心に調査研究を進める中で、貴重な夢二の肉筆画を静岡市内の旧家より発見、展覧会会期中、特別公開を行った。公開に合わせ、プレス向けに説明会を実施、竹久夢二研究者である谷口朋子氏からも専門家の見地によるコメントが述べられた。

**日時：**2月4日(土)13:00-13:30

#### 各種連携：

##### 近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

##### 印刷物：

##### チラシ

〈仕様〉紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 8,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏



## 主要広報記録：

### 1)テレビ・ラジオ

- ・「竹久夢二の作品が発見」静岡朝日テレビ『県内ニュース』、2月4日放送。
- ・「竹久夢二と静岡ゆかりの美術展紹介」テレビ静岡『県内ニュース』、3月7日放送。

### 2)新聞

- ・「来月 夢二と静岡ゆかりの美術展」『産経新聞』静岡版、12月16日。
- ・「竹久夢二の200点 静岡市美術館」『産経新聞』静岡版、1月14日。
- ・「静岡ゆかりの美術品 竹久夢二、平野富山ら」『富士ニュース』、2月2日。
- ・「竹久夢二美人画「茶屋の娘」解説 静岡市美術館」『静岡新聞』、2月5日。
- ・「葵区の旧家に夢二の肉筆画 大正初期の作品 静岡市美術館で公開」『中日新聞』、2月5日。
- ・「夢二の美人画 旧家で発見 大正初期？直筆 静岡市美術館 25日まで展示」『朝日新聞』静岡版、2月5日。
- ・平塚雄太「夢二の「美人画」発見 静岡市美術館 「茶屋の娘」と命名」『毎日新聞』、2月5日。
- ・天田優里「夢二最盛期の美人画 静岡市の旧家で見つかる 保存良好 大正初期の作品か」『北陸中日新聞』、2月6日。
- ・尾藤旭「黒潮 静岡市所蔵の夢二作品 文化遺産 よりアピールを」『静岡新聞』、2月25日。
- ・「静岡市清水区出身の彫刻家・平野富山 遺作、常設展示へ」『静岡新聞』、3月9日。

### 3)雑誌他

- ・「静岡を愛した画家たちと夢二コレクションをたっぷり味わって 「竹久夢二と静岡ゆかりの美術」」『Hot Pepper』、12月号。
- ・「竹久夢二と静岡ゆかりの美術展紹介」『美術の窓』、2月号。
- ・「竹久夢二と静岡ゆかりの美術展紹介」『ギャラリー』、2月号。
- ・「月刊美術史 静岡市美術館で竹久夢二の肉筆美人画《茶屋の娘》が初公開」『美術手帖』、4月号。
- ・「竹久夢二の新発見の肉筆画静岡市美術館で公開中」『美術の窓』、4月号。

### 4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

- 「Japan Design Net」、「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「Yahoo! JAPAN」、「じゃらんnet」、「JR東日本」、「JR西日本」各社ウェブサイト、静岡市ウェブサイト



関連事業：

1) 東海道五十三次ひとめ図完成記念「静岡の匠」展

概要：「ひとめ図」の制作に携わった漆、蒔絵の職人らを中心に計16名26点の作品及び広重の保永堂版「東海道五十三次」を彫金で表現した作品を展示した。

会期：1月4日(水) - 22日(日)

会場：多目的室

主要広報記録：

新聞

・「静岡独自の「変塗」紹介 静岡市美術館 蒔絵や漆など並ぶ」『静岡新聞』、1月14日。

出品リスト(敬称略)：

金子實(蒔絵師)《線模様飾箱》《波文飾り箱》《沙魚蒔絵硯箱》(いずれも1976年)

多々良栄一(漆塗師)《丸型卵張青貝菓子器》《乾漆食籠コロナ塗》《手箱忍文仕立箱》(いずれも1977年)

諸鍛冶夾二(蒔絵師)《胴張硯箱君色水芭蕉文》《色紙箱深海魚》《四段重呂色塗漆花丸》(いずれも1978年)

八木秀雄(漆塗師)《錫梨地塗文箱》《錫梨地塗盆》《木の葉紋乾漆盛器》(いずれも1979年)

小柳一郎(蒔絵師)《柘櫛蒔絵小菊散》《蒔絵平打揃 雀踊》《蒔絵平打揃 松風》(いずれも1989年)

鳥羽鎌一(漆塗師)《銀雲研出金平文入花器》(1992年)

新井吉雄(漆塗師)《変塗錦紋食籠》(1994年)

八木陸夫(漆塗師)《蜻蛉塗硯箱》(1996年)

一言良一郎(蒔絵師)《蒔絵色紙箱》(1997年)

細田豊(漆塗師)《曲器手付き重ね箱》(1998年)

中條峰雄(蒔絵師)《蒔絵文箱「秋の筥」》(1999年)

諸井治郎(蒔絵師)《駿河蒔絵平箱》(2002年)

安野武士(蒔絵師)《駿河蒔絵短冊箱》(2003年)

長谷川雅英(蒔絵師)《卵殻張飾箱》(2006年)

見城福二(蒔絵師)《駿河蒔絵朱塗卵殻小箱》(2004年)

鈴木秀勝(指物師)《樺寄木造拭漆箱》(2007年)

御門豊玄(彫金師)《歌川広重 保永堂版「東海道五十三次」より「日本橋 朝之景」「箱根 湖水図」「三島 朝霧」「原 朝の富士」「吉原 左り富士」「蒲原 薩埵嶺」「興津 興津川」「江尻 三保遠望」「府中 安倍川」「鞠子 名物茶店」「藤枝 人馬継立」「嶋田 大井川駿岸」「日阪 佐夜の中山」「掛川 秋葉山遠望」「袋井 出茶屋の図」「見附 天竜川図」「浜松 冬枯の図」「荒井 渡船の図」「庄野 白雨」「亀山 雪晴」「京師 三条大橋」(1977 - 2009年)



### (1)「静岡の匠」展 関連イベント 匠の技【実演】

概要：「静岡の匠」展出品者で、「東海道五十三次ひとめ図」の制作にも携わった、漆、蒔絵、彫金師らによる実演を行った。

#### I 漆

日時：1月8日(土)①10:00-12:00 ②14:00-16:00  
1月9日(月・祝)③10:00-12:00

会場：エントランスホール

参加者数：計195人

講師：①新井吉雄氏②八木隆夫氏③細田豊氏(いずれも静岡漆器工業協同組合)



I 漆

#### II 蒔絵

日時：1月14日(土)10:00-12:00

会場：エントランスホール

参加者数：43人

講師：諸井治郎氏(静岡県蒔絵工業協同組合)



II 蒔絵

#### III 彫金

日時：1月21日(土)14:00-16:00

会場：エントランスホール

参加者数：50人

講師：御門豊玄氏(静岡彫刻工業株式会社)



III 彫金

### (2)「静岡の匠」展 関連イベントー匠の技【ワークショップ】

#### I 漆体験ワークショップ「卵殻ばりで描こう！」

概要：「ひとめ図」の制作に携わった静岡漆器工業協同組合の塗師を講師に招き、卵殻ばりの技法を用いて、細かく砕いた卵の殻を貼り、キーホルダーと葉書サイズの板に絵を描くワークショップを実施した。

日時：1月9日(月・祝)14:00-16:00

会場：ワークショップ室

参加者数：21人

講師：村越英熙氏、安藤嘉津夫氏(いずれも静岡漆器工業協同組合)



完成作品

## II 蒔絵体験ワークショップ「蒔絵で富士山を描こう！」

概要：「静岡の匠」展関連イベントとして匠の技を紹介するワークショップの第2弾。「ひとめ図」の制作に携わった静岡県蒔絵工業協同組合の蒔絵師を講師に招き、葉書サイズの板に、蒔絵の技法で富士山を描いた。

日時：1月14日(土)14:00-16:00

会場：ワークショップ室

参加者数：19人

講師：安野武士氏、諸井治郎氏、一言良一郎氏、大内啓三氏、鈴木明信氏、鈴木則次氏(いずれも静岡県蒔絵工業協同組合)

主要広報記録：

テレビ

・「蒔絵体験ワークショップ開催」NHK静岡放送局『県内ニュース』、1月14日放送。



完成作品

## 4) ギャラリートーク

概要：展覧会のみどころを当館学芸員がわかりやすく解説した。

日時：1月15日(日)、21日(土)、2月19日(日)、3月17日(土)

いずれも①10:30-11:00 ②17:00-17:30

会場：展示室

参加者数：計115人

参加料：展覧会観覧料



## 5) 創立90周年記念静岡清信用金庫プレゼンツ

講演会「志田コレクションの魅力とその特徴」

概要：若手の竹久夢二研究者である谷口朋子氏の講演会。志田コレクションの位置づけや、夢二の人となりと作品の紹介、鑑賞のポイント等についてパワーポイントを用いて分かりやすく解説した。

日時：2月4日(土)14:00-15:30

会場：多目的室

参加者数：68人

講師：谷口朋子氏(竹久夢二研究家)





## 6)「静岡の作家たち」

### — 静岡信用金庫のカレンダーを彩る —

#### 26年間の軌跡と作家の世界展

概要：静岡信用金庫が所蔵する25名の静岡ゆかりの作家たちのカレンダーや原画などを展示し、静岡の美術界のあゆみを紹介した。

会期：3月13日(火)～4月5日(木)

会場：多目的室(カレンダー原画)

葵タワー1階エントランホール(カレンダー)

入場者数：1,792人

主要広報記録：

#### 新聞

・「静岡信金90周年でカレンダー原画展 静岡市美術館」『静岡新聞』、3月15日。

#### 出品リスト(敬称略)：

浦田周社《忍野待春》(木版画・1987(昭和62)年・第1回カレンダー)

河西賢太郎《爪木崎 水仙咲く》(水彩画・1988(昭和63)年・第2回カレンダー)

村松茂男《日本平・富士(冬景色)》(油彩画・1989(平成元)年・第3回カレンダー)

関暁明《小浜残照》(日本画・1990(平成2)年・第4回カレンダー)

前田守一《冬の浪間深けれどきらめける》(木版画・1991(平成3)年・第5回カレンダー)

柴田俊《農村のバザール》(油彩画・1992(平成4)年・第6回カレンダー)

佐藤節郎《さざんか》(切り絵・1993(平成5)年・第7回カレンダー)

月見里茂《訪春》(木版画・1994(平成6)年・第8回カレンダー)

森正一《ヨットハーバーの富士》(油彩画・1995(平成7)年・第9回カレンダー)

佐伯喜三郎《日本平の富士》(油彩画・1996(平成8)年・第10回カレンダー)

山本八千代《紅白梅》(日本画・1997(平成9)年・第11回カレンダー)

笹本忠志《清水港》(水彩画・1998(平成10)年・第12回カレンダー)

望月禮三《十五夜(丸子吐月峰柴屋寺)》(クレパス画・1999(平成11)年・第13回カレンダー)

前島秀章《薬師童子》(木彫・2000(平成12)年・第14回カレンダー)、《きまる君》(木彫・2012(平成24)年・第26回カレンダー)、《大空》(木彫・2012(平成24)年・第26回カレンダー)

風鈴丸《オーロラ夜話》(木版画・2001(平成13)年・第15回カレンダー)

田宮話子《白い牛》(日本画・2002(平成14)年・第16回カレンダー)

宮崎万平《薩埵峠の富士》(油彩画・2003(平成15)年・第17回カレンダー)

松井妙子《ブナの森》(染色画・2004(平成16)年・第18回カレンダー)

牧野宗則《天空の花(桜)》(木版画・2005(平成17)年・第19回カレンダー)

原本光子《初冬》(油彩画・2006(平成18)年・第20回カレンダー)

佐野せいじ《空を映す》(木版画・2007(平成19)年・第21回カレンダー)

滝茂治《残雪》(油彩画・2008(平成20)年・第22回カレンダー)

山下充《秋色(日本平の富士)》(油彩画・2009(平成21)年・第23回カレンダー)

久山一枝《碧色の風》(水墨画・2010(平成22)年・第24回カレンダー)

杉村勇《サント・ヴィクトワール山》(油彩画・2011(平成23)年・第25回カレンダー)



カレンダー展 開会式



出品作品リスト

【展示替凡例】 前…前期のみ 後…後期のみ ★…前期・後期で巻返または作品入替 無印…通期展示

第1章 東海道図と静岡の情景—江戸から近代へ

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
1		東海道図屏風	紙本着色／六曲一双	静岡市 (静岡県指定文化財)	後
2		東海道図屏風	紙本着色／六曲一双	静岡市	前
3	東京漫画会	東海道五十三次漫画絵巻	紙本着色／二巻	静岡市	★

第2章 “志田コレクション”竹久夢二の世界—旧蒲原町の有志が築いた名コレクション

第1節 「青い小径」とコマ絵の夢二

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
4	竹久夢二装幀	『青い小径』	書籍	静岡市美術館	
5		『中学世界』夏季増刊「青年傑作集」	雑誌	静岡市美術館	
6		『直言』第2巻第20号2面	新聞	法政大学大原社会問題研究所	
7		『光』第1巻第30号2面	新聞	法政大学大原社会問題研究所	
8		『日刊 平民新聞』第56号1面〈ちの池地獄〉	新聞	法政大学大原社会問題研究所	

第2節 《木に寄る女》との出会い—肉筆画の美

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
9	竹久夢二	初春	絹本着色／一幅	静岡市美術館	
10	竹久夢二	合鏡	絹本着色／一幅	静岡市美術館	
11	竹久夢二	木に寄る女	絹本着色／一幅	静岡市美術館	
12	竹久夢二	草に憩う女	絹本着色／一幅	静岡市美術館	
13	竹久夢二	小春・時雨の炬燵	絹本着色／双幅	静岡市美術館	
14	竹久夢二	紙びな	絹本着色／一幅	静岡市美術館	
15	竹久夢二	荒野の楽人	紙本着色／一幅	静岡市美術館	
16	竹久夢二	たそがれ	絹本着色／一幅	静岡市美術館	
17	竹久夢二	紫色の春の夜の	絹本着色／二曲一隻	静岡市美術館	
18	竹久夢二	嵐峡初秋	絹本着色／一幅	静岡市美術館	
19	竹久夢二	うしろ姿	紙本着色／色紙一枚	静岡市美術館	
20	竹久夢二	寒燈	紙本着色／色紙一枚	静岡市美術館	
21	竹久夢二	山に舟	紙本着色／短冊一枚	静岡市美術館	
22	竹久夢二	鴨東夜花	絹本着色／色紙一枚	静岡市美術館	
23	竹久夢二	春浅き	絹本墨書／色紙一枚	静岡市美術館	
24	竹久夢二	長橋祥	紙・鉛筆／一枚	静岡市美術館	
25	竹久夢二	福島小夜曲	(表)紙本着色・(裏)墨書 团扇一本	静岡市美術館	

第3節 夢ニデザインの精華

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
26	竹久夢二	羽衣(セノオ楽譜原画)	紙本着色／一枚	静岡市美術館	
27	竹久夢二装画／澤田柳吉作曲	セノオ楽譜12番「お江戸日本橋」	紙・石版	静岡市美術館	前
28	竹久夢二装画／チャイコフスキー作曲／二見孝平訳詞	セノオ楽譜27番「唯我心悩ぞ知らぬ」	紙・石版	静岡市美術館	後
29	竹久夢二装画／ビゼー作曲／堀内敬三訳詞	セノオ楽譜28番「歌劇カルメンハバネラの歌」	紙・石版	静岡市美術館	前
30	竹久夢二装画／ヂウール・マスネー作曲／二見孝平訳詞	セノオ楽譜56番「汝が碧き眼を開け」	紙・石版	静岡市美術館	後
31	竹久夢二装画／澤田柳吉作曲／伊庭孝作詞	セノオ楽譜123番「薨の道」	紙・石版	静岡市美術館	前
32	竹久夢二装画／マイエルペーヤ作曲／二見孝平訳詞	セノオ楽譜128番「歌劇プロフェット あゝわが子よ」	紙・石版	静岡市美術館	後
33	竹久夢二装画／藤井清水作曲／永田龍雄作詞	セノオ楽譜169番「影ふめば」	紙・石版	静岡市美術館	前
34	竹久夢二装画／藤井清水作曲／永田龍雄作詞	セノオ楽譜175番「消えてあとなき」	紙・石版	静岡市美術館	後
35	竹久夢二装画／藤井清水作曲／永田龍雄作詞	セノオ楽譜176番「ちゝのみの」	紙・石版	静岡市美術館	前
36	竹久夢二装画／藤井清水作曲／柳沢健作詞	セノオ楽譜185番「暮れて行く」	紙・石版	静岡市美術館	後
37	竹久夢二装画／藤井清水作曲／永田龍雄作詞	セノオ楽譜192番「月ぞけくれる」	紙・石版	静岡市美術館	前
38	竹久夢二装画／ワグネル作曲／妹尾幸陽訳詞	セノオ楽譜228番「歌劇タンホイゼル 順礼の合唱」	紙・石版	静岡市美術館	後
39	竹久夢二装画／藤井清水作曲／尾山篤太郎作詞	セノオ楽譜238番「たそがれの歌」	紙・石版	静岡市美術館	前
40	竹久夢二装画／土屋平三郎作曲／竹久夢二作詞	セノオ楽譜245番「巷の雪」	紙・石版	静岡市美術館	後

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
41	竹久夢二装画／土屋平三郎作曲／佐竹草迷宮作詞	セノオ楽譜251番「陶物師」	紙・石版	静岡市美術館	前
42	竹久夢二装画／ゴダール作曲／妹尾幸陽訳詞	セノオ楽譜257番「ジョセランの子守唄 歌劇「ジョセラ」	紙・石版	静岡市美術館	未陳
43	竹久夢二装画／小野竹三作歌／山田耕作編曲	セノオ楽譜292番「四部合唱 世の態」	紙・石版	静岡市美術館	前
44	竹久夢二装画／クラーク作曲／柴田柴庵訳解	セノオ楽譜294番「流行歌 スワニ河の月」	紙・石版	静岡市美術館	後
45	竹久夢二装画／チャイコフスキー作曲／二見孝平訳詩	セノオ楽譜319番「見よ優しき雲雀を」	紙・石版	静岡市美術館	前
46	竹久夢二装画／ビショップ作曲	セノオ楽譜338番「草の夢」	紙・石版	静岡市美術館	後
47	竹久夢二装画／奥好義作曲／山田耕作編曲	セノオ楽譜355番「唱歌 金剛石」	紙・石版	静岡市美術館	前
48	竹久夢二装画／デリール作曲	セノオ楽譜361番「新流行歌 アイウオント アプレディガール」	紙・石版	静岡市美術館	後
49	竹久夢二装画／宮原禎次作曲／北原白歌作詞	セノオ楽譜377番「民謡 おりてくれるな」	紙・石版	静岡市美術館	前
50	竹久夢二装画／山田耕作編曲	セノオ楽譜390番「明治天皇奉頌唱歌」	紙・石版	静岡市美術館	後
51	竹久夢二装画／山田耕作作曲／北原白秋作歌	セノオ楽譜402番「明治天皇頌歌」	紙・石版	静岡市美術館	前
52	竹久夢二装画／近衛秀麿作曲／水野用無作歌	セノオ楽譜408番「ナアマの歌」	紙・石版	静岡市美術館	前
53	竹久夢二装画／ブルームス作曲／堀内敬三訳詞	セノオ楽譜409番「サフォー頌歌」	紙・石版	静岡市美術館	後
54	竹久夢二装画／リスト作曲／近藤朔風作詞	セノオ楽譜416番「花かぞもなれ」	紙・石版	静岡市美術館	前
55	竹久夢二装画／クライスラー編曲／妹尾幸陽解説	セノオ楽譜430番「バラダイス」	紙・石版	静岡市美術館	後
56	竹久夢二装画／関屋敏子作曲	セノオ楽譜441番「日本民謡 蛭来い」	紙・石版	静岡市美術館	後
57	竹久夢二装画／土屋平三郎作曲／藤森秀夫作詞	セノオ楽譜450番「白うばら」	紙・石版	静岡市美術館	後
58	竹久夢二装画／ハリ・ウィリアムス作曲	セノオ楽譜5番「チッペラリーの歌」	紙・石版	静岡市美術館	後
59	竹久夢二装画／リムスキー・コルサコフ作曲／妹尾幸陽訳詞	セノオ楽譜482番「露西亜名歌 オリエンタル・ロマンス」	紙・石版	静岡市美術館	前
60	竹久夢二装画／ゴダール作曲	セノオ楽譜502番 セノオバイオリン楽譜「ジョセランの子守歌」	紙・石版	静岡市美術館	前
61	竹久夢二装画／ハイドン作曲／二見孝平訳詩	セノオ楽譜519番 セノオバイオリン楽譜「セレナーデ」	紙・石版	静岡市美術館	前
62	竹久夢二装画／チャイコフスキー作曲	セノオ楽譜565番 セノオバイオリン楽譜「アンダンテ・カンタービレ」	紙・石版	静岡市美術館	前
63	竹久夢二装画／ハイドン作曲	セノオ楽譜576番 セノオバイオリン楽譜「メヌエット(と調)」	紙・石版	静岡市美術館	前
64	竹久夢二装画／ショパン作曲	セノオ楽譜614番 セノオバイオリン楽譜「ショパンのフルツ」	紙・石版	静岡市美術館	後
65	竹久夢二装画／クライスラー作曲	セノオ楽譜621番「ロントーノ(ベートーベンの主題に依る)」	紙・石版	静岡市美術館	後
66	竹久夢二装画／シューベルト作曲／エルマン編曲	セノオ楽譜667番 セノオバイオリン楽譜「小夜歌」	紙・石版	静岡市美術館	後
67	中山晋平作曲全集				
-1	竹久夢二装画	表紙	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-2	竹久夢二装画	目次	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-3	竹久夢二装画／野口雨情作詞	「青い芒」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-4	竹久夢二装画／時雨音羽作詞	「出船の港」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-5	竹久夢二装画／野口雨情作詞	「須坂小唄」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-6	竹久夢二装画／時雨音羽作詞	「鈴ををさめて」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-7	竹久夢二装画／西條八十作詞	「マノン・レスコアの唄」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-8	竹久夢二装画／西條八十作詞	「当世銀座ぶし」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-9	竹久夢二装画／甘利英男他作詞	「望月小唄」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-10	竹久夢二装画／野口雨情作詞	「紅屋の娘」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-11	竹久夢二装画／北原白秋作詞	「雀おどり」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-12	竹久夢二装画／永井花水作詞	「椿」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-13	竹久夢二装画／野口雨情作詞	「港踊」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-14	竹久夢二装画／野口雨情作詞	「旅人の唄」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-15	竹久夢二装画／西條八十作詞	「穂と殿さま」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
-16	竹久夢二装画／西條八十作詞	「東京行進曲」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-17	竹久夢二装画／白鳥省吾作詞	「龍峡小唄」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-18	竹久夢二装画／小寺融吉作詞	「真間乃手児奈」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-19	竹久夢二装画／畑耕一作詞	「夢の女」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-20	竹久夢二装画／野口雨情作詞	「空飛ぶ鳥」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-21	竹久夢二装画／西條八十作詞	「不壊の白珠」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-22	竹久夢二装画／西條八十作詞	「愛して頂戴」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
-23	竹久夢二装画／西條八十作詞	「緊縮小唄」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-24	竹久夢二装画／鶴見祐輔作詞	「母の歌」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-25	竹久夢二装画／西條八十作詞	「琵琶湖ジャンソン」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-26	竹久夢二装画／西條八十作詞	「唐人お吉の唄」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-27	竹久夢二装画／長田幹彦作詞	「鴨川小唄」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-28	竹久夢二装画／野口雨情作詞	「鎮西小唄」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-29	竹久夢二装画／野口雨情作詞	「波浮の港」	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
-30		帙	紙・木版多色摺	静岡市美術館	
68	竹久夢二著・装幀	「夢二画集 春の巻」	書籍	静岡市美術館	
69	竹久夢二著・装幀	「夢二画集 夏の巻」	書籍	静岡市美術館	
70	竹久夢二著・装幀	「夢二画集 花の巻」	書籍	静岡市美術館	
71	竹久夢二著・装幀	「夢二画集 旅の巻」	書籍	静岡市美術館	
72	竹久夢二著・装幀	「夢二画集 秋の巻」	書籍	静岡市美術館	
73	竹久夢二著・装幀	「夢二画集 冬の巻」	書籍	静岡市美術館	
74	竹久夢二著・装幀	「さよなら」	書籍	静岡市美術館	
75	竹久夢二著・装幀	「夢二画集 野に山に」	書籍	静岡市美術館	
76	竹久夢二著・装幀	「絵ものがたり 京人形」	書籍	静岡市美術館	
77	竹久夢二著・装幀	「都会スケッチ」	書籍	静岡市美術館	
78	竹久夢二著・装幀	「桜さく国 白風の巻」	書籍	静岡市美術館	
79	竹久夢二著・装幀	「夢二画集 都会の巻」	書籍	静岡市美術館	
80	竹久夢二著・装幀	「コドモのスケッチ帖 活動写真にて」	書籍	静岡市美術館	
81	竹久夢二著・装幀	「桜さく嶋 春のかはたれ」	書籍	静岡市美術館	
82	竹久夢二著・装幀	「桜さく国 紅桃の巻」	書籍	静岡市美術館	
83	竹久夢二著・装幀	「桜さく島 見知らぬ世界」	書籍	静岡市美術館	
84	竹久夢二著・装幀	「どんたく」	書籍	静岡市美術館	
85	竹久夢二著・装幀	「昼夜帯」	書籍	静岡市美術館	
86	竹久夢二著・装幀	「夢二繪手本」	書籍	静岡市美術館	
87	竹久夢二著・装幀	「草画」	書籍	静岡市美術館	
88	竹久夢二著・装幀	「縮刷夢二画集」	書籍	静岡市美術館	
89	竹久夢二著・装幀	「草の実」	書籍	静岡市美術館	
90	竹久夢二著・装幀	「絵入歌集」	書籍	静岡市美術館	
91	竹久夢二著・装幀	「三味線草」	書籍	静岡市美術館	
92	竹久夢二著・装幀	「小夜曲」	書籍	静岡市美術館	
93	竹久夢二著・装幀	「ねむの木」	書籍	静岡市美術館	
94	竹久夢二著・装幀	「夜の露台」	書籍	静岡市美術館	
95	竹久夢二著・装幀	「暮笛」	書籍	静岡市美術館	
96	竹久夢二著・装幀	「春の鳥」	書籍	静岡市美術館	
97	竹久夢二著・装幀	「青い船」	書籍	静岡市美術館	
98	竹久夢二著・装幀	「山へよする」	書籍	静岡市美術館	
99	竹久夢二著・装幀	「露地の細道」	書籍	静岡市美術館	
100	竹久夢二著・装幀	「夜の露台」	書籍	静岡市美術館	
101	竹久夢二著・装幀	「歌時計」	書籍	静岡市美術館	
102	竹久夢二著・装幀	「夢のふるさと」	書籍	静岡市美術館	
103	竹久夢二著・装幀	「たそやあと」	書籍	静岡市美術館	
104	竹久夢二著・装幀	「あやとりかけとり」	書籍	静岡市美術館	
105	竹久夢二著・装幀	「夢二画手本 一」	書籍	静岡市美術館	
106	竹久夢二著・装幀	「夢二画手本 二」	書籍	静岡市美術館	
107	竹久夢二著・装幀	「夢二画手本 三」	書籍	静岡市美術館	
108	竹久夢二著・装幀	「夢二画手本 四」	書籍	静岡市美術館	
109	竹久夢二著・装幀	「どんたく絵本一」	書籍	静岡市美術館	

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
110	竹久夢二著・装幀	『恋愛秘語』	書籍	静岡市美術館	
111	竹久夢二著・装幀	『露地のほそみち』	書籍	静岡市美術館	
112	竹久夢二著・装幀	『凧』	書籍	静岡市美術館	
113	竹久夢二著・装幀	『春』	書籍	静岡市美術館	
114	竹久夢二著・装幀	『夢二抒情画選集上巻』	書籍	静岡市美術館	
115	竹久夢二著・装幀	『夢二抒情画選集下巻』	書籍	静岡市美術館	
116	竹久夢二著・装幀	『露台薄暮』	書籍	静岡市美術館	
117	竹久夢二著・装幀	『春のおくりもの』	書籍	静岡市美術館	
118	竹久夢二原画	絵封筒・祝儀袋貼込帖	折本一帖	静岡市美術館	
119	竹久夢二	月刊夢二カード「第五集 夫婦」	紙・印刷	静岡市美術館	
120	竹久夢二	月刊夢二エハガキ「第五集 芝居(一)」	紙・印刷	静岡市美術館	
121	竹久夢二	月刊夢二エハガキ「第四五集 芝居(四)」	紙・印刷	静岡市美術館	
122	竹久夢二	月刊夢二エハガキ「第五三集 カルタ」	紙・印刷	静岡市美術館	
123	竹久夢二	月刊夢二エハガキ「第五六集 恋の小唄」	紙・印刷	静岡市美術館	
124	竹久夢二	月刊夢二エハガキ「第六五集 春の遊び」	紙・印刷	静岡市美術館	
125	竹久夢二	月刊夢二エハガキ「第八六集 俗曲」	紙・印刷	静岡市美術館	

#### 第4節 夢二日記との出会いー夢二研究会の活動

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
126	竹久夢二	日記帳	表紙革製	静岡市美術館	
127	竹久夢二	明治33年1月7日 西村渚山宛絵葉書	紙・墨書	静岡市美術館	
128	竹久夢二	明治42年7月25日 渡辺英一宛絵葉書	紙・墨書、着色	静岡市美術館	
129	竹久夢二	明治43年2月9日 渡辺英一宛絵葉書	紙・墨書	静岡市美術館	
130	竹久夢二	明治43年4月18日 渡辺英一宛絵葉書	紙・墨書	静岡市美術館	
131	竹久夢二	大正元年7月31日 柳屋書店宛葉書	紙・着色	静岡市美術館	
132	竹久夢二	大正2年8月17日 渡辺英一宛絵葉書	紙・ペン	静岡市美術館	
133	竹久夢二	大正15年2月28日 渡辺英一・操子宛葉書	紙・着色	静岡市美術館	
134	竹久夢二	大正5年12月20日 岡田八千代宛書簡	紙・墨書	静岡市美術館	
135	竹久夢二	大正7年1月11日 竹久方しの宛書簡	紙・墨書	静岡市美術館	
136	竹久夢二	大正8年2月3日 桜井八重子宛書簡	紙・墨書	静岡市美術館	
137	竹久夢二	大正10年12月20日 渡辺義三宛書簡	紙・墨書	静岡市美術館	
138	竹久夢二	大正10～12年頃4月9日 桜井八重子宛書簡	紙・墨書	静岡市美術館	
139	竹久夢二	大正14年以後11月3日 渡辺義嗣宛書簡	紙・墨書	静岡市美術館	
140	竹久夢二	昭和2年11月 新井弘城宛書簡	紙・墨書	静岡市美術館	
141	竹久夢二	昭和5年6月19日 長尾柳崖宛書簡	紙・墨書	静岡市美術館	
142		「女と子どもによするエハガキ」のうち	紙・印刷	静岡市美術館	
143		「女と子供によするエハガキ」その三	紙・印刷	静岡市美術館	
144		「女と子供によするエハガキ」その六	紙・印刷	静岡市美術館	
145		「第一回夢二展覧会作品集(第一回展覧会作品集)」(A)ケース	紙・印刷	静岡市美術館	
146		「第一回夢二作品展覧会(第一回展覧会作品集)」(B)ケース	紙・印刷	静岡市美術館	
147		「第三回夢二作品展覧会」団扇2種	紙・印刷	静岡市美術館	
148		絵葉書「秋立つ日」	紙・印刷	静岡市美術館	
149		絵葉書「絵草紙屋のムスメ」	紙・印刷	静岡市美術館	
150		絵葉書「大川端」	紙・印刷	静岡市美術館	
151		絵葉書「嶋原の女」	紙・印刷	静岡市美術館	
152		絵葉書「チョウチン」	紙・印刷	静岡市美術館	
153		絵葉書「春より夏へ」	紙・印刷	静岡市美術館	
154	有島生馬、恩地孝四郎、竹久虹之助編	『竹久夢二遺作集』	書籍	静岡市美術館	
155	恩地孝四郎編	『書窓 第3巻第3号 夢二追憶特集』	雑誌	静岡市美術館	
156		『夢二スケッチ帖抄』	書籍	静岡市美術館	

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
157	夢二の会	『出帆 上』	書籍	静岡市美術館	
158	夢二の会	『出帆 中』	書籍	静岡市美術館	
159	夢二の会	『出帆 下』	書籍	静岡市美術館	
160	廣瀬千加編	『九十九里へ』	書籍	静岡市美術館	
161		『砂がき』	書籍	静岡市美術館	
162		『雑草』	書籍	静岡市美術館	
163	長田幹雄編	『夢二外遊記 竹久夢二遺録』	書籍	静岡市美術館	
164	竹久不二彦編	『夢二詩歌集』	書籍	静岡市美術館	
165	塚本栄次郎編	『夢二図案集』	書籍	静岡市美術館	
166		『五月の旅』	書籍	静岡市美術館	
167		『竹久夢二滞欧作品集』	書籍	静岡市美術館	
168	河村幸次郎編	『夢二画譜』	書籍	静岡市美術館	
169	澤田伊四郎編	『風のように』	書籍	静岡市美術館	
170	澤田伊四郎編	『歌の絵草紙』	書籍	静岡市美術館	
171	澤田伊四郎編	『思い出ぐさ』	書籍	静岡市美術館	
172	澤田伊四郎編	『春の夜の夢』	書籍	静岡市美術館	
173	澤田伊四郎編	『忘れ得ぬ人』	書籍	静岡市美術館	
174	澤田伊四郎編	『花のおも影』	書籍	静岡市美術館	
175	澤田伊四郎編	『子供の世界』	書籍	静岡市美術館	
176	澤田伊四郎編	『行人の画帖』	書籍	静岡市美術館	
177	澤田伊四郎編	『凝視』	書籍	静岡市美術館	
178	澤田伊四郎編	『出帆』	書籍	静岡市美術館	
179		げらぐらぐさ 復刊第一号～第九号	書籍	静岡市美術館	
180	竹久夢二原画	女十題	紙・石版	静岡市美術館	★
181	竹久夢二原画	長崎六景	紙・木版多色摺	静岡市美術館	★
182	竹久夢二原画	夢二小品版画集	紙・木版多色摺	静岡市美術館	★
183	竹久夢二原画	夢二名作集	紙・木版多色摺	静岡市美術館	★
184	竹久夢二原画	夢二詩画集	紙・石版	静岡市美術館	★
185	竹久夢二原画	夢二小品集 雪の夜の伝説 第一輯	紙・木版多色摺	静岡市美術館	★
186	竹久夢二原画	夢二絵葉書集	紙・印刷	静岡市美術館	★
187	竹久夢二／吉井勇	茶屋の娘／短歌3首	絹本着色／紙本墨書 二曲一隻	個人蔵	特別出品
188	吉井勇著・竹久夢二装幀	『祇園歌集』	書籍	個人蔵	特別出品
189	吉井勇著・竹久夢二装幀	『東京紅燈集』	書籍	個人蔵	特別出品
190	吉井勇著・竹久夢二装幀	『戀人』	書籍	個人蔵	特別出品
191	吉井勇著・竹久夢二装幀	『河原蓬』	書籍	個人蔵	特別出品
192		はいばら絵封筒見本帳	一冊	株式会社榛原 聚玉文庫	特別出品
193	竹久夢二	はいばら版木版絵〈梅〉	紙・木版多色摺	株式会社榛原 聚玉文庫	特別出品
194	竹久夢二	はいばら版木版絵〈竹〉	紙・木版多色摺	株式会社榛原 聚玉文庫	特別出品
195	竹久夢二	はいばら版木版絵〈葡萄〉	紙・木版多色摺	株式会社榛原 聚玉文庫	特別出品

資料 竹久夢二研究資料及び郷土史資料・著作など

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
資料1		『日刊 平民新聞』夢二画コマ絵・川柳複写	—	静岡市美術館	
資料2		関連資料	—	個人蔵	
資料3	志田喜代江著	『目で見る庵原の歴史 富士川・蒲原・由比』	書籍	個人蔵	
資料3		『駿河』第十二号、第十四号、第十五号、第十六号、第十九号	雑誌	個人蔵	
資料3	志田喜代江著	『夢二』	冊子	静岡市美術館	
資料3	志田喜代江著	『駿河湾 桜えび漁九十年史』	書籍	個人蔵	
資料3	大森信・志田喜代江編著	『さくらえび漁業百年史』	書籍	個人蔵	
資料3	志田喜代江著	『夢二を巡って—志田喜代江宛の諸氏の書簡集—』	書籍	静岡市美術館	

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
資料3	梅島鉄次郎著	『蒲原町史私考』八冊	冊子	個人蔵	

### 第3章 中川雄太郎と静岡の創作版画

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
196	中川雄太郎	百合	紙・木版墨摺	個人蔵	前
197	中川雄太郎	海水浴場	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
198	中川雄太郎	ヴァイオリン	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
199	中川雄太郎	浅間神社楼門	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
200	中川雄太郎	矢崎風景	紙・木版多色摺	個人蔵	前
201	中川雄太郎	百姓屋のおもて	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
202	中川雄太郎	庭	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
203	中川雄太郎	庭	紙・木版墨摺	個人蔵	前
204	中川雄太郎	海岸	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
205	中川雄太郎	卓上菜果	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
206	中川雄太郎	農夫	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
207	中川雄太郎	水辺(焼津海岸 夕暮)	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
208	中川雄太郎	糸をつむぐ老婆と孫	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
209	中川雄太郎	少女像	紙・木版多色摺	個人蔵	前
211	中川雄太郎	少女像	紙・木版多色摺	個人蔵	前
212	中川雄太郎	裸婦像	紙・木版多色摺	個人蔵	前
210	中川雄太郎	夕映え富士	紙・木版多色摺	個人蔵	前
213	中川雄太郎	あけぼの	紙・木版多色摺	個人蔵	前
214	中川雄太郎	窓 No2	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
215	中川雄太郎	伝説	紙・木版多色摺	個人蔵	前
216	中川雄太郎	野の花	紙・木版多色摺	個人蔵	前
217	中川雄太郎	姉妹	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
218	中川雄太郎	晩夏	紙・木版多色摺	個人蔵	前
219	中川雄太郎	伝説(花の精)	紙・木版多色摺	個人蔵	前
220	中川雄太郎	作品No14	紙・木版多色摺	個人蔵	前
221	中川雄太郎	伝説の森	紙・木版多色摺	個人蔵	前
222	中川雄太郎	伝説(誕生)	紙・木版多色摺	個人蔵	前
223	中川雄太郎	季節	紙・木版多色摺	個人蔵	前
224	中川雄太郎	道ぐる(道端)の仏	紙・木版多色摺	個人蔵	前
225	中川雄太郎	慈愛(彼岸花)	紙・木版多色摺	光鏡院	前
226	中川雄太郎	慈愛(彼岸花)	紙・木版多色摺	個人蔵	
—	中川雄太郎	無題	紙・木版多色摺	個人蔵	前
227	中川雄太郎	慈愛	紙・木版多色摺	光鏡院	前
228	中川雄太郎	きつねのよめいり	紙・木版多色摺	個人蔵	前
229	中川雄太郎	興津清見寺五百羅漢	紙・木版多色摺	個人蔵	前
231	中川雄太郎	無題(村祭り)	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
232	中川雄太郎	現代の民話	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
233	中川雄太郎	伝説 沼の婆さん	紙・木版多色摺	個人蔵	前
234	中川雄太郎	伝説 竜爪の山神	紙・木版多色摺	個人蔵	前
235	中川雄太郎	切石の詩	紙・木版多色摺	個人蔵	後
236	中川雄太郎	切石の詩	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
237		同人誌等	—	個人蔵	前
238		『版画手帳』	—	個人蔵	前
239		『静岡版画』	—	個人蔵	前
240		カネジュウミン 郵便スタンプ	—	個人蔵	前
241		拓本・光鏡院梵鐘	拓本	個人蔵	前

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
242	中川雄太郎	我寺之内「光鏡院」資料	—	個人蔵	前
243	中川雄太郎	新静岡風景	紙・木版墨摺、5枚	個人蔵	前
244	中川雄太郎(刻)／浦田儀一(摺)／望月吉正(解説)	龍南風物誌	紙・木版墨摺	個人蔵	後
245	中川雄太郎	河童二十品図録	—	個人蔵	未陳
	中川雄太郎	河童	紙・木版多色摺	個人蔵	前
246	中川雄太郎	かの図	紙本淡彩	個人蔵	前
247	中川雄太郎	昨日も今日も。。。	紙本淡彩	個人蔵	前
248	中川雄太郎	河童百態	紙本淡彩	個人蔵	前
249	中川雄太郎	手形足形	紙本墨書	個人蔵	前
250	中川雄太郎	『河童雑録』等	—	個人蔵	前
251	中川雄太郎	手ぬぐい	—	個人蔵	前
252	中川雄太郎	手ぬぐい	—	個人蔵	前
253	中川雄太郎	手ぬぐい	—	個人蔵	未陳
	中川雄太郎	テーブルセンター	—	個人蔵	前
254	中川雄太郎	テーブルセンター	—	個人蔵	前
256	中川雄太郎	猪口	—	個人蔵	前
257	中川雄太郎	湯のみ	—	個人蔵	前
258	中川雄太郎	花瓶	—	個人蔵	前
259	中川雄太郎	置物	—	個人蔵	前
260	中川雄太郎	河童人形置物各種	—	個人蔵	前
261	中川雄太郎	国姓爺	紙・木版多色摺	個人蔵	前
262	中川雄太郎	中川清賛 山水図	紙本着色 一幅	個人蔵	前
263	中川雄太郎	板木	二枚	個人蔵	前
264		所用印	—	個人蔵	前
265		著書	—	個人蔵	未陳

#### 第4章 平野富山「彩色木彫」の美

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
266	池野哲仙	模刻隆慶作百人一衆	彩色木彫	静岡市	後
267	池野哲仙	蘭陵王面	彩色木彫	静岡市	後
268	平野富山	吉野雛	彩色木彫	静岡市	後
269	(平野富山)	女学生	彩色木彫	静岡市	後
270	平野富山	羽衣	彩色木彫	静岡市	後
271	平野富山	八重垣姫	彩色木彫	静岡市	後
272	平野富山	粧	彩色木彫	静岡市	後
273	平野富山	おぼろ夜	彩色木彫	静岡市	後
274	平野富山	三番叟	彩色木彫	静岡市	後
275	平野富山	稚児雛	彩色木彫	静岡市	後
276	平野富山	筒井筒	彩色木彫	静岡市	後
277	平野富山	孫	彩色木彫	静岡市	後
278	平野富山	欄間扇面散らし	彩色木彫	静岡市	後
279	平野富山	福童子	彩色木彫	静岡市	後
280	平野富山	顔	ブロンズレリーフ	静岡市	後
281	平野富山	福ねずみ	彩色木彫	静岡市	後
282	平野富山	福寿恵比寿尊像	彩色木彫	静岡市	後
283	平野富山	福寿大黒天尊像	彩色木彫	静岡市	後
284	平野富山	吉祥天	彩色木彫	静岡市	後
285	平野富山	聖徳太子二歳像	彩色木彫	静岡市	後
286	平野富山	韋駄天童子	彩色木彫	静岡市	後
287	平野富山	紀州犬	彩色木彫	静岡市	後



No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
288	平野富山	翁舞	彩色木彫	静岡市	後
289	平野富山	鍾馗	彩色木彫	静岡市	後
290	平野富山	親王雛	彩色木彫	静岡市	後
291	平野富山	神馬	彩色木彫	静岡市	後
292	平野富山	天満大自在天神	彩色木彫	静岡市	後
293	平野富山	瑞果喜猿	彩色木彫	静岡市	後
294	平野富山	良寛	彩色木彫	静岡市	後
295	平野富山	鏡獅子	彩色木彫	静岡市	後
296	平野富山	母子順風	彩色木彫	静岡市	後
297	平野富山	花ごころ	彩色木彫	静岡市	後
298	平野富山	三輪雛	彩色木彫	静岡市	後
299	平野富山	神猿	彩色木彫	静岡市	後
300	平野富山	羽衣舞	彩色木彫	静岡市	後
301	平野富山	マフラーの女	彩色木彫	静岡市	後
302	平野富山	おさな心	彩色木彫	静岡市	後
303	平野富山	釈迦如来座像	彩色木彫	静岡市	後
304		両界曼荼羅	紙本着色 二幅	静岡市	後
305		春日鹿曼荼羅	—	静岡市	後
306		大津絵 藤娘	紙本着色		後
307	松本楓湖	鍾馗	絹本着色 一幅	静岡市	後

第5章 静岡が生んだ作家たち、静岡にやってきた作家たち

No.	作家名	作品名	技法・材質・形状	所蔵	展示替
308	和田英作	少年像	油彩・キャンバス	静岡市	
309	和田英作	薔薇	油彩・キャンバス	静岡市	
310	和田英作	薔薇	油彩・キャンバス	静岡市	
311	和田英作	砂丘	油彩・キャンバス	静岡市	
312	和田英作	真崎からの富士	油彩・キャンバス	静岡市	
313	和田英作	写生帖(三保の富士)	紙・鉛筆	静岡県立美術館	前
314	和田英作	写生帖(三保の富士)	紙・水彩	静岡県立美術館	
315	伊藤勉黄	上海の裏町	紙・木版多色摺	静岡県立美術館	前
316	伊藤勉黄	窓	紙・木版多色摺	静岡県立美術館	後
317	伊藤勉黄	新開地の女	紙・木版多色摺	静岡県立美術館	前
318	伊藤勉黄	実のある話	紙・木版多色摺	静岡県立美術館	後
319	伊藤勉黄	幻鳥	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
320	伊藤勉黄	花摘みII	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
321	伊藤勉黄	旅愁・花々の挿話	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
322	伊藤勉黄	花日記	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
323	伊藤勉黄	花遊園-H3B	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
324	海野光弘	触	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
325	海野光弘	障子戸	紙・木版多色摺	静岡市美術館	後
326	海野光弘	静岡三十五景	紙・墨摺	静岡市美術館	★
327	海野光弘	雪路	紙・木版多色摺	静岡市美術館	前
328	松岡圭三郎	草深橋A(西草深)	油彩・キャンバス	静岡市美術館	
329	松岡圭三郎	広野風景	油彩・キャンバス	静岡市	
330	小栗哲郎	大和田早春	油彩・キャンバス	静岡市美術館	
331	小栗哲郎	裏のみかん山	油彩・キャンバス	静岡県立美術館	
332	河西賢太郎	冬ざれ	水彩・紙	静岡市美術館	

### 3. 交流事業(教育普及事業)目次

---

#### 3-1 交流事業

1) Shizubi Project 1 人と煙と消えるかたち 袴田京太郎 .....	58
2) Shizubi シネマアワー .....	60
3) ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」 .....	60
4) プレゼントワークショップシリーズ .....	61
5) しずびちっこプログラム .....	62
6) 夏休み!しずびキッズアトリエ .....	64
7) しずびオープンアトリエ 「はんこでつくろ!夢ニデザイン」 .....	65
8) 夜店市 .....	66
9) 日独国際交流シンポジウム「都市とアートと美術館 “プレーメン的・シズオカ的”」 .....	66
10) 創立90周年記念 静岡信用金庫プレゼンツ 講演会「益子と濱田窯、震災と復興」 .....	66
11) 暦と遊ぶワークショップvol.1 「春分の日だ!春もよのパンをつくろう」 .....	67

#### 3-2 連携事業

1) 学校との連携 .....	68
2) 外部施設との連携 .....	69
3) 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館共同事業(三館共同事業) .....	71

## 3. 交流事業(教育普及事業)

### 3-1 交流事業

#### 1) Shizubi Project 1

人と煙と消えるかたち 袴田京太郎

概要：Shizubi Projectの第一弾として、静岡県出身の彫刻家袴田京太郎氏の新作を含む12点を展示した。また開催にあたり、公式カタログとして『袴田京太郎作品集』を刊行した。

会期：7月12日(火)～10月23日(日)

会場：エントランスホール

作品リスト：

- 《内臓山脈》2004年、作家蔵
- 《山の煙 1》2007年、作家蔵
- 《奈落の水》2004年、作家蔵
- 《ビルの煙》2007年、作家蔵
- 《白い花》2000年、作家蔵
- 《Families》2007年、資生堂アートハウス、MA2ギャラリー、個人蔵、作家蔵
- 《Daughter and Father》2007年、佐久市立近代美術館
- 《Three Fathers》2007年、佐久市立近代美術館
- 《奈落の煙》2002年、作家蔵
- 《Rising Smoke 1》2011年、作家蔵
- 《Rising Smoke 2》2011年、作家蔵
- 《届かない呪文》2007年、作家蔵

主要広報記録：

#### 1) テレビ・ラジオ

- ・静岡第一テレビ『news every 静岡』、8月17日放送。

#### 2) 新聞

- ・「真っ白な空間 カラフル彫刻 静岡市美術館 浜松出身袴田さん個展」『静岡新聞』、7月13日。
- ・「人と煙と消えるかたち 袴田京太郎 -Shizubi Project 1-」『新美術新聞』、8月21日。
- ・「彫刻家キャリア網羅 浜松出身・袴田さん 自身初の作品集」『静岡新聞』、1月10日。

#### 3) 雑誌他

- ・「Shizubi Project 1 人と煙と消えるかたち 袴田京太郎」『美術の窓』、9月号。
- ・「Shizubi Project 1 人と煙と消えるかたち 袴田京太郎」『地域創造レター』、9月号。
- ・「21世紀のアーティスト 袴田京太郎」『ギャラリー』、316号。
- ・「さまざまな現代美術を開放的な空間で。第1回目は彫刻家の世界!」『Hot Pepper』、10月号。

#### 4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

- ・「ART iT」『インターネットミュージアム』
- ・「ミュージアムカフェ」



印刷物：

チラシ

〈仕様〉紙：ミラーコートゴールド 90kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折(仕上A4) 40,000部



チラシ表面

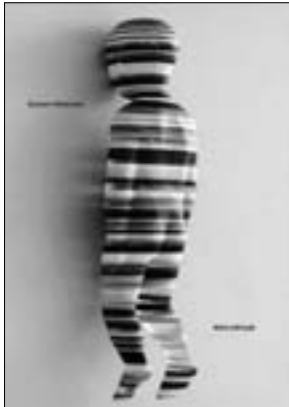


チラシ中面



#### カタログ：

〈仕様〉260×190mm、133頁



カタログ

カラー図版350点

参考図版(モノクロ5点)

沢山遼「袴田京太郎—形象の自壊」  
以倉新「何をつくるのか/何故つくるのか」  
作品レゾネ/略歴・展覧会歴/主要参考文献

著者：袴田京太郎  
監修：静岡市美術館  
編集：以倉新、伊藤鮎(静岡市美術館)  
撮影：加藤健(pp.9-20)  
翻訳：スタンレー・N・アンダソン  
発行者：嶋裕隆  
発行所：株式会社求龍堂  
印刷製本：光村印刷株式会社  
デザイン：加藤賢策、一ノ瀬雄太(東京ピストル)  
編集・制作：深谷路子(求龍堂)  
発行年：2011年

#### アーティストトーク：

概要：会期初日に併せ、袴田氏によるアーティストトークを実施した。作家本人による展示作品や制作方法の説明に、参加者も熱心に耳を傾けていた。

日時：7月12日(火)11:00-11:30

会場：エントランスホール 参加者数：53人



#### ワークショップ：

##### 「アクリル板でモビールをつくろう」

概要：袴田氏の作品で使用されているアクリル板を素材に動く彫刻モビールを作成した。ワークショップを通して素材の特性を知り、作家の作品を理解する手掛かりとなった。

日時：9月23日(金・祝)13:30-16:00

会場：ワークショップ室 参加者数：17人

対象：中学生以上

##### 主要広報記録：

##### 新聞

・「風にゆらり「動く彫刻」 静岡市美術館 中学生ら個性豊かな作品制作」『静岡新聞』、9月25日。



#### トークイベント：

##### 「人と煙と消えるかたち」を語る

概要：出品作家の袴田氏と公式カタログにテキストを執筆した気鋭の美術批評家・沢山遼氏と当館スタッフによる鼎談。作家の制作の本質に迫った。

日時：10月23日(日)15:00-17:00

会場：多目的室 参加者数：43人

対談者：袴田京太郎(彫刻家)、沢山遼(美術評論家)、以倉新(当館学芸課長)



## 2)Shizubi シネマアワー

### (1)Shizubi シネマアワー Vol.3

概要：80年代のアート界に新風を吹き込んだアーティスト、ジャン＝ミシェル・バスキアのドキュメンタリー映画を県内先行で上映した。

日時：4月29日(金・祝)18:30-20:00

上映内容：『バスキアのすべて』(2010年 アメリカ 93分)

会場：多目的室 参加料：500円 参加者数：68人

企画協力：(株)サールナートホール



### (2)Shizubi シネマアワー Vol.4

概要：連続シリーズの第4弾。「クリスマス特集」と題し、家族にちなんだ過去の名作を、日替わりで上映した。

日時：①12月16日(金)19:00-20:50 ②12月17日(土)19:00-21:10

③12月18日(日)19:00-21:20

上映内容：

①『めぐり逢えたら』(1993年 アメリカ 104分)

②『素晴らしき哉、人生！』(1946年 アメリカ 130分)

③『ラブ・アクチュアリー』(2003年 イギリス、アメリカ 135分)

会場：多目的室 参加料：500円

参加者数：計54人

企画協力：(株)サールナートホール

## 3)ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」

概要：テレビやラジオでブロードキャスターとして活躍中のピーター・バラカン氏を案内役に迎え、美術と音楽の基底にある、人が「アートする」という行為はどのようなものか、毎回様々なジャンルを通して考えるトークシリーズ。本年度は、計2回実施した。



ピーター・バラカン氏

## (1)ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」

### ④「五感で考え、頭で感じる—アフリカンアートの現在(いま)」

概要：ガーナ出身の彫刻家、エル・アナツイの作品とその独特な制作風景を収めたドキュメンタリー映画を上映し、またバラカン氏のセレクトしたアフリカ音楽を通して、近年急速に注目を集めるアフリカンアートの今を考えた。

日時：6月11日(土)18:30-20:30

会場：多目的室

案内人：ピーター・バラカン氏(ブロードキャスター)

参加料：500円 参加者数：82人



(2)ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」

⑤「現代音楽をあそぶ」

概要：キーボード奏者で作曲家のモーガン・フィッシャー氏をゲストに迎え、バラカン氏とともに現代音楽とその影響を受けた大衆音楽を聴き比べながら紹介。難解だと思われがちな現代音楽の魅力を、新たな視点から伝えた。またフィッシャー氏所有の貴重な電子楽器の紹介や、講師による曲作りの実演や生演奏もあり、作曲家の立場から現代音楽の魅力について語った。

日時：2月26日(日)15:00-17:00

会場：多目的室

案内人：ピーター・バラカン氏(ブロードキャスター)

ゲスト：モーガン・フィッシャー氏(キーボード奏者、作曲家、サウンドペインター/ライトペインター)

参加料：500円 参加者数：127人

主要広報記録：

新聞

・「世界の現代音楽 英作曲家ら解説 静岡市美術館」『静岡新聞』、2月27日。



4)プレゼントワークショップシリーズ

概要：子どもたちの創作意欲の原点である、家族や大切な人への想いをかたちにし、プレゼントを作る、という行為に焦点を当て、記念日に合わせて実施。プレゼントを「作って、贈る」ことから生まれるコミュニケーションに主眼を置く。

(1)プレゼントワークショップvol.1

「父の日だ！お父さんのお面を作ろう！」

概要：父の日に合わせて、お父さんのお面を制作。参加者は制作に入る前に「お父さんワークシート」に挑戦。お父さんについて考え、言葉や絵で表現した後、ひとつひとつのパーツにこだわりながら制作した。お面は完成後一列に並べ、参加者のお父さんに自分のお面を探してもらった。子ども達がお父さんについて改めて考えるきっかけとなり、家族のつながりを再確認することができた。

日時：6月19日(日)13:00-17:00

会場：ワークショップ室

参加料：500円(材料費含む)

対象・参加者数：小学生20人

持ち物：いちばん好きなお父さんの写真、手鏡

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・NHK静岡放送局『県内ニュース』、6月19日放送。
- ・静岡第一テレビ『バンキシャ!』ローカルニュース、6月19日放送。
- ・テレビ静岡『スーパーニュース』ローカルニュース、6月19日放送。

2)新聞

・「お父さん ありがとう お面と手紙プレゼント 静岡市美術館」『静岡新聞』、6月20日。



ワークシート

## (2)プレゼントワークショップvol.2

### 「敬老の日だ！家紋でつながるプレゼントづくり」

**概要：**敬老の日に合わせて、家族のつながりを示す家紋に注目し、家紋入りの手作りコースターを制作した。最初に家紋の歴史や、その多様な種類を学び、さらにワークシートを通して自分の家紋の由来を知った。コースターは2色のオープン陶土を用い、たたら作りで制作。細かい文様は針で掻き落とし表現した。完成した作品は似顔絵や手紙を添えて来館した祖父母にその場で手渡した。

**日時：**9月19日(月・祝)13:00-16:30

**会場：**ワークショップ室

**参加料：**500円(材料費含む)

**対象・参加者数：**小学生20人

**主要広報記録：**

#### 1)テレビ・ラジオ

・NHK静岡放送局『県内ニュース』、9月19日放送。

#### 2)新聞

・「孫から祖父母へ感謝の贈り物 市美術館 家紋入りコースター手作り」『静岡新聞』、9月20日。



## 5)しずびちびっこプログラム

**概要：**2歳以上の未就学児を対象としたアート体験プログラム。毎回、開催中の展覧会に関連した鑑賞と創作が一体となったプログラムを実施し、保護者は展覧会を見学。実施の際は、市内保育支援団体の協力を得た。

### (1)しずびちびっこプログラム①

#### 「ハンス・コパー展-20世紀陶芸の革新」

**概要：**『ニョロ』クッションでほぐし遊びを行った後、コパー展に関連して、軽量紙粘土に水彩絵の具を練りこみ、動物などを作った。その後、コパー作品を鑑賞し、また、オープン陶土を用いてポット型のプローチやボタン等を作り、保護者へのプレゼントとした。

**日時：**6月26日(日)①10:00-11:30 ②13:30-15:00

**会場：**ワークショップ室

**対象・参加者数：**2歳～未就学児 計22人

**参加料：**500円(保護者は要観覧券)

**主要広報記録：**

#### 新聞

・「子どもが陶芸や紙粘土に挑戦 静岡市美術館」『静岡新聞』、6月28日。



### (2)しずびちびっこプログラム②

#### 「没後150年 歌川国芳展」

**概要：**ほぐし遊びを行った後、国芳作品を鑑賞し、国芳が描いた影絵のシルエット当て、手影絵や身の回りの物を投影するなどの影絵遊びを行った。その後短冊状の紙に、国芳の猫シールや色紙を貼って飾りつけ、4色鉛筆で自由に描いてしおりを作った。

**日時：**7月17日(日)①10:00-11:30 ②13:30-15:00

**会場：**ワークショップ室

**対象・参加者数：**2歳～未就学児 計14人

**参加料：**500円(保護者は要観覧券)



### (3)しずびちびっこプログラム③

#### 「アルプスの画家 セガンティーニ ー光と山ー」

概要：ほぐし遊びを行った後、セガンティーニ作品を鑑賞し、マスキングテープを絵の具に見立て「パレット」を作った後、牛の形に切り抜いた厚紙に自由にテープを貼りこみ、思い思いにカラフルな牛を制作した。その後額縁を印刷した紙に貼りこみ、周りをテープで様々に飾りつけた。

日時：10月1日(土)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳～未就学児 計19人

参加料：500円(保護者は要観覧券)



### (4)しずびちびっこプログラム④

#### 「レオナルド・ダ・ヴィンチ美的理想」

概要：ほぐし遊びを行った後、クリスマス時期に合わせてオープン陶土によるオーナメント作りを実施した。人形型、星型などの型抜きのほか、形や模様をつけるための身の回りにある道具類を用意し、光る効果が期待できるガラス製のおはじきも飾りつけ用に用意した。

日時：12月3日(土)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳～未就学児 計16人

参加料：500円(保護者は要観覧券)

主要広報記録：

新聞

・「Xマスの装飾品 子どもら手作り 静岡市美術館で教室」『静岡新聞』、12月4日。



### (5)しずびちびっこプログラム⑤

#### 「竹久夢二と静岡ゆかりの美術」

概要：ほぐし遊びを行った後、夢二作品を鑑賞し、開催中の「しずびオープンアトリエ」でも使用した、夢二が描いた図柄ハンコと日本の文様のハンコを用い、ポストカード、らくがき帳、カレンダーに色の組み合わせや好きな形を考えながら、自由に押してパターンづくりを行った。

日時：2月11日(土・祝)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳～未就学児 計20人

参加料：500円(保護者は要観覧券)





## 6)夏休み！しずびキッズアトリエ

**概要：**夏休み等の長期休暇に合わせ、期間限定で開催するワークショップ。今回は開催中の「没後150年 歌川国芳展」に関連した創作プログラムを実施。短時間で制作可能な創作キット(全6種)を用意した。また開催にあたっては、ワークショップ指導員と学生ボランティアの協力も得た。

**日時：**7月26日(火)～8月14日(日)※休館日は除く  
①10:30-11:30 ②13:00-14:00 ③14:30-15:30  
(計18日間、54回実施)

**会場：**ワークショップ室

**対象：**小学生以上 **参加者数：**計562人(各回定員20人)

**参加料：**200円

### 実施プログラム：

#### ①飛び出す浮世絵カードをつくろう！

国芳の大判三枚続の作品をもとに、飛び出すカードを制作。

#### ②影絵のしかけカードをつくろう！

国芳の影絵作品をもとに、ふすまを開くと動物や人が、閉じるとその影が浮かびあがるしかけカードを制作。

#### ③猫語呂(ごろ)合わせカードをつくろう！

国芳作品「其ま、地口猫飼好五十三疋」に登場する猫たちを切り貼りして、しかけによって語呂合わせを理解できるカードを制作。

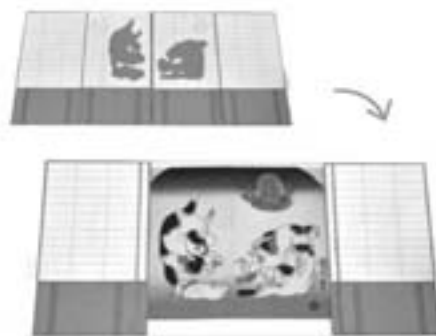
### 主要広報記録：

#### 新聞

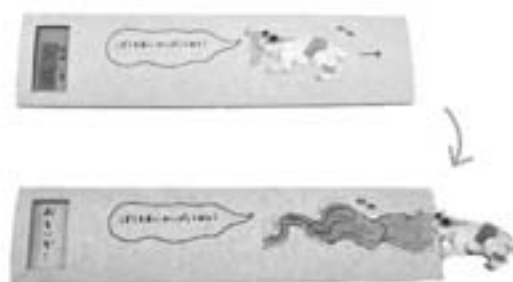
・「浮世絵でカード作り 静岡市美術館 小学生が国芳再現」『静岡新聞』、7月29日。



①飛び出す浮世絵カードをつくろう！ 作品例



②影絵のしかけカードをつくろう！ 作品例



③猫語呂(ごろ)合わせカードをつくろう！ 作品例

## 7)しずびオープンアトリエ

### 「はんこでつくる！夢ニデザイン」

**概要：**開催中の「竹久夢二と静岡ゆかりの美術」展に合わせ、夢二作品をもとにした手作りの消しゴムはんこを利用し、パターンをデザインする5種のプログラムを実施した。制作前には鑑賞と創作を結び付けるワークシートを実施し、夢二のグラフィックデザイナーとしての一面を伝えた。なお消しゴムはんこについては、ワークショップ指導員と学生ボランティアが制作にあたった。

**日時：**2月～3月の毎週土・日曜日

※ただし2月11日(土・祝)、3月31日(土)を除く

いずれも①13:30-14:30 ②15:00-16:00

(計15日間、30回実施)

**会場：**ワークショップ室

**対象：**小学生以上 **参加者数：**計258人(各回定員15人)

**参加料：**200円

### 実施プログラム：

- ①ぼち袋 ②カレンダー ③コースター ④レターセット
- ⑤しおり

### 主要広報記録：

#### ウェブサイト

・「コミュファタウン」ホームページ



## 8)夜店市

**概要：**静岡市中央商店街恒例のイベント「夜店市」に出店し、「歌川国芳」展、「アルプスの画家 セガンティーニ -光と山-」展のチケットを販売し、美術館の広報に努めた。

**日時：**8月12日(金)、13日(土)、14日(日)16:00-21:00

**場所：**葵区紺屋町名店街「札幌かに本家」前「小梳神社」側

**販売物：**「没後150年 歌川国芳」展 当日券、「アルプスの画家 セガンティーニ -光と山-」展 前売券

※チケット購入者には、スピードくじを実施した。

**印刷物等：**

うちわ

〈仕様〉サイズ：φ208mm (穴アキ部分φ33mm)

印刷：両面オフセット4色印刷 ニス引き

紙：サンカード 360kg 枚数：10,000枚



## 9)日独国際交流シンポジウム

「都市とアートと美術館 “ブレイメン的・シズオカ的”」

**概要：**静岡の地元アーティストとドイツ・ブレイメン州立大学有志による実行委員会と共催した国際シンポジウム。震災後の美術のあり方を含め美術を取り巻く現状を幅広く議論した。

**日時：**10月15日(土)13:30-16:00

**会場：**多目的室

**パネラー：**ペーター・ラウトマン氏(ブレイメン州立芸術大学インスティテュート'SYN' 所長)、竹岡雄二氏(彫刻家・ブレイメン州立芸術大学教授)、長橋秀樹氏(アーティスト・常葉学園短期大学准教授)、堀切正人氏(静岡県立美術館上席学芸員)、以倉新(当館学芸課長)

**コーディネーター：**蜂谷充志氏(アーティスト・常葉学園大学准教授)

**参加者数：**35人

**印刷物：**A4チラシ(実行委員会作成)

**主要広報記録：**

**新聞**

・「独のアート事情で討論 市美術館でシンポ 来月15日」『静岡新聞』、7月22日。



## 10)創立90周年記念 静岡信用金庫プレゼンツ

講演会「益子と濱田窯、震災と復興」

**概要：**震災復興記念とし、人間国宝・濱田庄司の孫で、益子参考館副館長である濱田友緒氏による講演会。益子参考館、濱田窯の被害の様子や復興にむけての活動をご報告いただいた。

**日時：**2月25日(土)14:00-15:30

**会場：**多目的室

**講師：**濱田友緒氏(陶芸家・益子参考館副館長)

**参加者数：**54人



## 11) 暦とあそぶワークショップvol.1

### 「春分の日だ！春もようのパンをつくろう」

**概要：**祭事や年中行事を通して季節を感じ、それをかたちにする「暦とあそぶワークショップ」シリーズ。第1回目として、春分の日に合わせて、春もようの“飾りパン”を制作。はじめに練習用として、伝統的なチューリップの飾りパンを制作した後、各々の家族の春のイメージを飾りパンで表現した。また、講師には日本における飾りパンの第一人者である江崎氏の他、ドミニック・ジュランの熟練したパン職人を招き、プロの職人から技術を学ぶ、大変貴重な機会となった。

**日時：**3月20日(火・祝)13:00-17:00

**会場：**ワークショップ室

**講師：**江崎幸一氏(ドミニック・ジュラン グランシェフ)

**参加費：**1,000円 **対象：**小学生以上 **参加者数：**29人

**協力：**ドミニック・ジュラン静岡駅前店

**主要広報記録：**

**新聞**

・「春分の日」を満喫 親子で飾りパン熱中 静岡市美術館 イメージを形に」『静岡新聞』、3月21日。



### 3-2 連携事業

#### 1)学校との連携

##### (1)ミュージアム教室・展示解説

**概要：**子どもたちと当館学芸員等が対話形式で行う展覧会鑑賞教室。子どもたち自身が作品の魅力を発見し、考えるよう即すことで、美術を身近で楽しいものと感じることを目指すとともに、美術館でのマナーも学習することを目的とする。

**対象：**幼・保育園児～高校生(※大学・専門学校については一般向け「展示解説」として実施。)

**実施内容・所要時間：**スタッフの解説30分+自由鑑賞30分  
計60分



#### 利用状況：

	幼稚園・保育園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校・特別支援学級		大学・専門学校等		児童クラブ		月合計		
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	
4月	0	0	0	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11
5月	0	0	1	59	4	151	1	12	0	0	0	0	0	0	0	6	222
6月	0	0	2	225	1	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	263
7月	0	0	3	322	11	194	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	516
8月	0	0	0	0	6	116	2	13	0	0	0	0	2	68	10	197	
9月	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	
10月	0	0	1	8	5	55	1	17	0	0	1	39	1	29	9	148	
11月	1	8	2	123	8	152	4	83	0	0	0	0	0	0	15	366	
12月	0	0	3	129	6	246	1	83	2	13	4	197	1	33	17	701	
1月	0	0	1	9	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	3	23	
2月	0	0	4	52	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	5	59	
3月	0	0	2	145	6	118	0	0	2	29	0	0	1	24	11	316	
計	1	8	19	1072	52	1111	9	208	4	42	5	236	5	154	95	2831	

計95件 2831人

#### (2)その他

##### (a)大学との連携

**概要：**静岡大学教育学部の鑑賞教育授業を受け入れた。開催中であった「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展を題材に、作品の鑑賞、多目的室でのフォーラム、担当学芸員による講義を行った。

**日時：**12月10日(土)9:00-12:00

**協力：**白井嘉尚氏(静岡大学教育学部教授)

**参加者：**静岡大学教育学部25名、大学院生1名



## 2)外部施設との連携

### (1)生涯学習事業等への協力

概要：静岡市内生涯学習センター・生涯学習交流館の実施事業の参加者等に対するの展示解説プログラム。実施内容・所要時間は

(1)ミュージアム教室と同一である。



利用状況：

	生涯学習センター 生涯学習交流館		その他		月合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	0	0	0	0	0	0
5月	1	17	1	23	2	40
6月	0	0	1	40	1	40
7月	3	80	1	20	4	100
8月	0	0	2	114	2	114
9月	2	29	4	120	6	149
10月	0	0	1	31	1	31
11月	1	24	5	241	6	265
12月	1	14	2	46	3	60
1月	1	123	1	67	2	190
2月	1	63	1	40	2	103
3月	0	0	1	80	1	80
計	10	350	20	822	30	1172

計30件 1172人

## (2)その他施設との連携

### (a)4世代によるダンス&アートセレブレイション

#### 「ぱっかぐらの森で踊る!!」

**概要:**「す・べ・てのヒトにダンスを!!」をテーマに、ダンス経験の有無、年齢、性別に関わらず、誰もがダンスを楽しみ、踊ることができる静岡市民文化会館の「静岡コミュニティダンスプロジェクト」の第1弾。当館では、このうち小学生を対象とした「森の子どもアート&ダンスチーム」のワークショップを担当、美術担当の井上氏を講師に、5日間にわたって実施した。制作物は当日の舞台美術や小道具として使用された。

#### 日時・会場等:

〈オリエンテーション〉

・ダンス 8月1日(月)

・「ぱっかぐらの森」美術隊(中学生以上・ボランティア)

8月14日(日)

会場: いずれも 静岡市民文化会館

〈クリエイション・ワークショップ〉

・森の子どもアート&ダンスチーム(小学生)

8月16日(火)、17日(水)、19日(金)、20日(土)、21日(日)

いずれも10:00-12:30 会場: 静岡市美術館

・がんがん踊る森の人ダンスチーム(高校生以上)

8月2日(火)、9日(火)、11日(水)、20日(土)19:00-21:00

14日(日)15:30-18:30 会場: 静岡市民文化会館

・森のおやじダンスチーム(成年男性)

8月2日(火)、10日(水)、12日(金)、17日(水)、19日(金)

19:00-21:00 会場: 静岡市民文化会館

・森の婦人ダンスチーム(成年女性)

8月2日(火)、3日(水)、11日(木)、12日(金)、18日(木)

13:30-16:00 会場: 健康文化交流館来・て・こ

・森の先輩ダンスチーム(概ね60歳以上)

8月9日(火)、10日(水)、16日(火)、17日(水)13:30-16:00

会場: 大里生涯学習センター

〈合同練習・リハーサル〉8月23日(火)-27日(土)

会場: 静岡市民文化会館

〈本公演〉8月28日(日)①14:00- ②17:30-

会場: 静岡市民文化会館

### (b)Kids Art Project Shizuoka

**概要:** 静岡県立美術館、駿府博物館、フェルケール博物館、静岡市芹沢銈介美術館、静岡市東海道広重美術館、静岡市美術館の6館と静岡市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送が実行委員会を組織し、市内全小学生向けに各館のオリジナルスタンプを集めるスタンプラリー付「パスポート」を発行した。参加館6館全ての制覇者には記念品を贈呈した。また、参加館の情報を載せた「ミュージアム通信」を月1回発行した。

**実施期間:** 1月4日(水)より(6月30日(土)まで継続予定)

**対象:** 静岡市内の全小学生(※入館料常時無料。ただしフェルケール博物館はスタンプラリー期間中のみパスポート提示で入館料無料)

#### 主要広報記録:

##### 新聞

・「児童にもっとアートを 静岡市内6美術館・博物館連携 「パスポート」で無料に」『静岡新聞』、11月18日。

・「美術館や博物館に行こう 市内小学校にパスポート配布 キッズアートプロジェクト」『静岡新聞』、12月17日。

講師: 〈ダンス〉山田珠実氏(振付家・ダンサー)

〈美術〉井上信太氏(平面作家)

参加料: 1,000円(別途衣装代2,000円)

参加者数: ダンス 50人(各チーム合計)、本公演 310人

ボランティア 15人

#### 主要広報記録:

##### 新聞

・「創作ダンス 練習大詰め 小学生から60代有志50人」『静岡新聞』、8月28日。

印刷物: 募集告知チラシ、本番チラシ(静岡市民文化会館作成)



舞台装置として使われた子どもたちの作品



パスポート画像  
(サイズ: 12.8×9.1cm)

### 3) 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館共同事業(三館共同事業)

**概要：**三館共同事業は、JR静岡駅前に位置する静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・る、静岡市美術館が、特徴を活かして、音楽、科学、美術の境界を超え、総合的な文化空間の創造を目指して連携実施するもので、さまざまな事業を開催した。

#### (1) 三館共同事業「ミュージアム・カフェ・トーク」

**概要：**三館共同事業の理念に基づき、駅前に政令指定都市の顔にふさわしい総合的な文化空間を創造すべく、さまざまな文化人を迎え、市民と交流し語る事業を実施。各館の専門スタッフがコーディネーターとして、ゲストスピーカーと市民をつないだ。気軽に参加できるよう、ミュージアムショップ&カフェで購入した飲み物を持ちこめる工夫も行った。

**主催：**静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・る、静岡市美術館  
**会場：**静岡市美術館 多目的室

#### (a) ミュージアム・カフェ・トーク

##### 第1回「メディアアート：技術を生かして芸術を作り出す」

**概要：**メディアアートが持つ不思議さや面白さを静岡科学館る・く・るの展示物やメディアアート作品とともに紹介し、メディアアート制作の現場や社会とのかかわりをテーマに対談した。

**日時：**7月3日(日)15:00-16:30

**ゲスト：**的場ひろし氏(静岡文化芸術大学教授)

**コーディネーター：**高橋みどり(静岡科学館る・く・るエデュケーター)

**参加者数：**17人



告知チラシ 表



告知チラシ 裏



#### (b) ミュージアム・カフェ・トーク

##### 第2回「国芳の魅力に迫る！」

**概要：**歌川国芳展の見どころ、展覧会構成の特徴をふまえ、国芳の魅力を代表作である武者絵を中心に解説。また美人画や戯画に込められた意味についても検討し、作品の魅力を読み解いた。

**日時：**7月31日(日)15:00-16:30

**ゲスト：**岩切友里子氏(浮世絵研究家、没後150年歌川国芳展監修者)

**コーディネーター：**吉田恵理(静岡市美術館学芸員)

**参加者数：**92人



#### (c) ミュージアム・カフェ・トーク

##### 第3回「新しい音楽の創造とエレクトロニクス」

**概要：**産業だけでなく、美術や音楽の創造にも大きな影響を与えるエレクトロニクスと芸術の関わりについて、特に現代音楽の視点から検討した。

**日時：**8月28日(日)15:00-16:30

**ゲスト：**野平一郎氏(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)

**コーディネーター：**小林匂(静岡音楽館AOI学芸員)

**参加者数：**33人





### (2)三館共同事業

#### ギャラリーコンサート/静岡室内楽フェスティバル協賛イベント 「レオナルド・ダ・ヴィンチと音楽」

概要：古楽グループ「アントネッロ」による、15世紀～16世紀の世俗曲を中心としたコンサート。レオナルドの生きた時代の楽器・楽曲紹介のほか、音楽家としてのレオナルドについてもスライドを使用して説明した。

協力：静岡音楽館AOI

日時：11月22日(火)19:00開演

会場：多目的室

入場者数：89人

料金：全席自由2,000円

出演：アントネッロ(彌勒忠史(カウンターテナー)、濱田芳通(リコーダー、コロネット)、なかやまはるみ(リラ・ダ・ブラッチョ)、西山まりえ(ルネサンス・ハープ)、石川かおり(ヴィオラ・ダ・ガンバ))

演目：ドメニコ・ダ・ピアチェンツァ：フランス風バッコ《恋人》、《嫉妬》

マルケット・カーラ：《待ってる場合じゃない!》

レオナルド・ダ・ヴィンチ：《愛は喜びを与えてくれるが、同時に痛みをももたらしてくれる》、《最後の晩餐》の音楽

ティールマン・スザート：《ロンド》

フランキーノ・ガッファリオ：《栄えある乙女マリア》

パオロ・スコット：《ラララ、ヤギの首がはねられた》

作者不詳：《君は眠る》、《美味しいパンだよ、焼きたてだよ》、《こおろぎ》

バルトロメオ・トロンボンチノ：《それゆえ、私は涙した》

ジョスカン・デ・プレ：《パッサメツァ》、《スカラメツラは戦争に行く》

クローダン・ド・セルミジ：《花咲く頃にある限り》

ピエール・アテナヤン：《トゥルディオン》

ロッシーノ・マントヴァーノ：《リルム・ピリリルム》

#### 主要広報記録：

##### 新聞

・「ダ・ヴィンチ 優美に 静岡市美術館 ゆかりの16曲演奏」『静岡新聞』、11月23日。

・小玉沙織「ダ・ヴィンチの楽曲 歌と古楽器で演奏 「美の理想」展イベント 静岡市美術館 120人聴き入る」『毎日新聞』静岡版、11月23日。



### (3)三館共同事業

#### 「科学者レオナルド・ダ・ヴィンチ」パネル展

概要：「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展の開催に合わせ、レオナルドの科学者としての側面を紹介するパネル展を開催。美術館、音楽館の学芸員もそれぞれの分野に関連する紹介文を執筆し、レオナルドの多角的な活動を紹介した。

会期：11月26日(土)～12月25日(日)

会場：静岡科学館る・く・る 10階ガレージ



#### (4)三館共同事業

音楽青葉会・静岡児童合唱団×静岡科学館る・く・るコラボコンサート／静岡室内楽フェスティバル協賛イベント

「ハーモニーの発見～レオナルドの求めた美と科学～」

概要：「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展の開催にあわせ、静岡科学館でコンサートを実施。チェンバロなどの古楽器を使った楽曲と、児童合唱団による合唱曲が披露された。

主催：静岡科学館る・く・る

日時：12月25日(日)14:00開演

会場：静岡科学館る・く・る 9階イベントホール

入場者数：120人

#### (5)三館共同事業

生誕100年・没後20年 ジョン・ケージ版画展－偶然の詩学－

概要：アメリカの現代音楽の作曲家ジョン・ケージの生誕100年・没後20年を記念して静岡音楽館AOIで開催されるコンサートにあわせ、版画作品および楽譜資料を展示。関連書籍閲覧コーナーも設け、多岐にわたるケージの活動を紹介した。

企画協力：静岡音楽館AOI

協力：ギャラリー白川、高橋アキ

会期：2月28日(火)－3月11日(日)

会場：多目的室

入場者数：1,063人

出品リスト：

〈作品〉

《GLOBAL VILLAGE 37-48》1989年、アクアチント、ギャラリー白川蔵

《HV #20》1983年、コラグラフ、個人蔵

《DRAMATIC FIRE》1989年、アクアチント、個人蔵

《THE MISSING STONE》1989年、スピットバイト、シュガーアクアチント、ギャラリー白川蔵

《9 STONES》1989年、スピットバイト、シュガーアクアチント、個人蔵

《9 STONES 2》1989年、スピットバイト、シュガーアクアチント、個人蔵

《10 STONES》1989年、スピットバイト、シュガーアクアチント、個人蔵

《10 STONES 2》1989年、スピットバイト、シュガーアクアチント、個人蔵

《11 STONES 2》1989年、スピットバイト、シュガーアクアチント、個人蔵

〈資料〉

《4' 33"》楽譜、1952年作曲、個人蔵

《ピアノと管弦楽のためのコンサート(ピアノ・パート譜)》楽譜、1958年作曲、個人蔵

《アリア》楽譜、1958年作曲、個人蔵

《自宅でのジョン・ケージ》秋山邦晴撮影、1958年、個人蔵

主要広報記録：

新聞

・「生誕100年 米音楽家ジョン・ケージ 来月から演奏会や版画展 静岡市内で企画相次ぐ」『静岡新聞』、1月18日。

・奥村圭吾「偶然性」斬新な版画 米作曲家 ジョン・ケージ展 市美術館 岩、煙テーマの9点」『中日新聞』静岡版、3月1日。

・「時の経過を映し込む 静岡「ジョン・ケージ版画展」」『静岡新聞』(夕刊)、3月9日。



ギャラリートーク：

概要：展覧会開催にあわせ、静岡音楽館AOI学芸員によるギャラリートークを実施。作曲だけでなく、版画作品にも偶然性の概念を用いたケージの制作方法を紹介した。

日時：3月4日(日)14:00－14:30

会場：多目的室 参加者数：32人



## 4. 調査研究等

### 4-1 調査研究

平成23年度中に当館職員が行った、館外での主な活動および執筆・寄稿等は下記のとおりである。

#### ●田中豊稲

〈発表等〉

・静岡ロータリークラブ(於：グランディエールプラザトウカイ)発表：「静岡市美術館 開館して1年」(4月11日)。

・「平成23年度 日本博物館協会研究協議会 リニューアルの動向」(於：当館多目的室ほか)発表：「美術館の開館について」(1月26日)。

〈雑誌・新聞等寄稿〉

・「静岡市美術館開館1周年記念展 レオナルド・ダ・ヴィンチ 美の理想 上 「岩窟の聖母」真の“第二版”？」『静岡新聞』(夕刊)、10月24日。

〈その他(インタビュー、取材記事等)〉

・「トップに聞く 静岡市美術館館長 田中豊稲さん 2年目 企画展さらに充実」『読売新聞』静岡版、5月27日。

・「キックオフ 入館者30万人めざす」『日本経済新聞』静岡版、8月13日。

・「見る・聴く・遊ぶ 魅力常に発信 駅前ビルに静岡市美術館1周年 昨年度無料ゾーン29万5000人入館 田中豊稲館長に聞く」『毎日新聞』静岡版、9月16日。

・「文化の拠点 都市の顔に 地域経済活性化へ 美術館開館1年 観光の拡大に期待 田辺・静岡市長と田中・美術館館長対談」『毎日新聞』静岡版別刷、11月3日。

#### ●以倉新

〈館外での活動〉

・静岡市立芹沢銈介美術館協議会委員(第1回：8月20日、第2回：2月14日)

・静岡県立美術館作品評価委員(12月20日)

・浜松市美術館美術資料審査員(2月27日)

〈発表等〉

・「平成23年度 静岡県博物館協会第3回講習会 新規開館の静岡市美術館～その設備について～」(於：当館)発表：「静岡市美術館の設備について」(1月26日)。

〈展覧会カタログ編集・執筆〉

・Shizubi Project1 人と煙と消えるかたち 袴田京太郎 公式カタログ

「なにを作るのか／何故つくるのか—袴田京太郎の作品について」『袴田京太郎作品集』求龍堂、2011年、111-119頁。

〈雑誌・新聞等寄稿〉

・「静岡市美術館開館1周年記念展 レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想 下 「紡錘の聖母」の習作 慎ましかで優美」『静岡新聞』(夕刊)、10月26日。

#### ●吉田恵理

〈講師等〉

・平成23年度静岡県東部高等学校図書館研究会 研修会講師(5月20日)

〈展覧会カタログ編集・執筆〉

・「歌川国芳」展カタログ編集、章解説、作品解説

・「竹久夢二と静岡ゆかりの美術」展

エッセイ「平野富山の彩色木彫」、「中川雄太郎の画業—静岡の創作

版画の中で」、章・節・作品解説執筆、関連資料集成・落款印章一覧・略年譜、参考文献編集

・小林忠監修、ニューオータニ美術館開館20周年記念展公式図録兼書籍『池大雅 中国へのあこがれ』求龍堂、2011年 第五章章解説(105-108頁)、「コラム3 臥遊の愉しみ—「瀟湘勝概図屏風」の八景に遊ぶ」(127-130頁)執筆、編集

#### ●森谷紗世

〈展覧会カタログ編集・執筆〉

・「竹久夢二と静岡ゆかりの美術」展

エッセイ「志田コレクション」竹久夢二—その成立過程を巡って」、章・節・作品解説執筆、関連資料集成・落款印章一覧・略年譜、参考文献編集

#### ●小川かい

〈展覧会カタログ編集・執筆〉

・「アルプスの画家 セガントーニ —光と山—」展カタログ エッセイ「日本からの眼差し—明治～昭和初期のセガントーニ 受容の諸相」、年譜、参考文献編集

・「竹久夢二と静岡ゆかりの美術」展

章・節・作品解説執筆、関連資料集成・落款印章一覧・略年譜、参考文献編集

#### ●伊藤結

〈展覧会カタログ編集・執筆〉

・「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展カタログ作品解説年表 翻訳

・Shizubi Project1 人と煙と消えるかたち 袴田京太郎 公式カタログ

作品レゾネ、略歴・展覧会歴、主要参考文献一覧編集

〈雑誌・新聞等寄稿〉

・「静岡市美術館開館1周年記念展 レオナルド・ダ・ヴィンチ 美の理想 中 「アイルワースのモナ・リザ」深まる謎と魅力」『静岡新聞』(夕刊)、10月25日。

・「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展から① 「岩窟の聖母」『毎日新聞』静岡版、10月25日。

・「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展から② 「紡錘の聖母」の習作『毎日新聞』静岡版、10月26日。

・「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展から③ 「裸のモナリザ」『毎日新聞』静岡版、10月27日。

・「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展から④ 「アイルワースのモナ・リザ」『毎日新聞』静岡版、10月28日。

・「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展から⑤ 「聖母子と聖アンナ」『毎日新聞』静岡版、10月29日。

・「アートレビュー アートトークン グレオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想展」『日本経済新聞』、12月8日。

〈発表等〉

・「第3回鑑賞教育指導者研修会」(於：静岡県立美術館)発表：「『鑑賞ガイド』をつかったミュージアム教室と創作と鑑賞が一体となったオープンアトリエ事業について」(12月4日、安岡真理と共同発表)

●安岡真理

〈発表等〉

・「第3回鑑賞教育指導者研修会」(於：静岡県立美術館)発表：  
 「『鑑賞ガイド』をつかったミュージアム教室と創作と鑑賞が一体  
 となったオープンアトリエ事業について」(12月4日、伊藤鮎と共  
 同発表)

◆教育プログラム企画・制作(担当：森谷・安岡)

- ・「しずびちびこプログラム」未就学児向けアート体験オリジナ  
 ルプログラム(各展覧会・計5種)
- ・「しずびオープンアトリエ」オリジナルプログラム(計2種)  
 夏：「国芳とあそぼう！」  
 春：「はんこでつくろ！夢二デザイン」
- ・「プレゼントワークショップ」オリジナルプログラム(計2種)  
 vol.1「父の日だ！お父さんのお面をつくろう」、  
 vol.2「敬老の日だ！家紋でつながるプレゼントづくり」
- ・「暦とあそぶワークショップ」オリジナルプログラム  
 vol.1「春分の日だ！春もようのパンをつくろう」
- ・展覧会関連ワークショップオリジナルプログラム  
 「没後150年 歌川国芳」(計4種)  
 「アルプスの画家 セガンティーニ -光と山-」展(計1種)

4-2 研修受入等

平成23年度に受け入れた他施設等の職員の研修は下記のとおりで  
 ある。

1)他美術館職員の研修受入

受入期間：2月12日(日)～15日(水)(4日間)

研修者：川瀬千尋(金沢湯涌夢二館)

研修内容：夢二作品の取り扱い、展示方法、ワークショップ等関  
 連事業の立案 など

4-3 視察受入等

1)視察

平成23年度受入分は下記のとおりである。

	日付	視察団体名	人数
1	7月14日(木)	静岡市文化財課	13人
2	7月15日(金)	大都市総務局長会議	45人
3	7月21日(木)	北上市議会・静岡市議会 議会事務局調査法制課	8人
4	7月26日(火)	板橋区議会	12人
5	8月4日(木)	福井県	2人
6	9月14日(水)	吹田市議会	16人
7	10月5日(水)	三島市運営協議会	16人
8	11月4日(金)	県内4市水道事業管理者協議会	21人
9	同	大都市契約事務担当者協議会	64人
10	11月11日(金)	静岡市廃棄物対策部収集業務課	19人
11	2月3日(金)	静岡市広報課	8人
12	2月17日(金)	静岡市広報課	17人

計12件 241人

## 2)その他

### (1)各種研修会の受入

#### (a)日本博物館協会 平成23年度研究協議会

##### 「リニューアルの動向」

概要：博物館・美術館のリニューアル、新規開館の最近動向についての研修会を受け入れた。東日本大震災もあり関心も高く、全国から参加があった。

日時：1月26日(木)13:00-15:00、1月27日(金)10:00-12:00

参加者数：98名

##### 内容：

〈26日〉 会場：多目的室

講演「美術館の開館について」(当館館長 田中豊稲)

事例発表「大和文華館のリニューアル」(大和文華館事務局長 下村宏道)

事例発表「東海大学海洋科学博物館のリニューアル」(東海大学海洋科学博物館学芸業務課長 佐藤猛)

事例発表「静岡市登呂博物館リニューアルオープン」(静岡市登呂博物館館長 山本多美子)

情報提供「最近の博物館リニューアルの動向」(株丹青社、(株)文化環境研究所、(株)トータルメディア開発研究所)

〈27日〉

静岡市登呂博物館見学



#### (b)静岡県博物館協会 平成23年度第3回講習会

##### 「新規開館の静岡市美術館～その設備について～」

概要：日本博物館協会の研修会と共同で開催。記念講演の後、当館のバックヤードや設備、展示備品等の見学を中心に行った。

日時：1月26日(木)12:50-16:30

参加者数：34名

会場：多目的室

##### 内容：

記念講演「美術館の開館について」(当館館長 田中豊稲)

※日本博物館協会研究協議会と共通

「静岡市美術館の設備について」(当館学芸課長 以倉新)

バックヤード見学 他



## 5. 委託事業

### 5-1 「竹久夢二展」

会期：11月19日(土)～20日(日)  
会場：旧五十嵐邸(清水区蒲原)  
貸出内容：志田コレクションより  
軸物《時雨の炬燵・小春》  
版画《長崎六景》(全6点)  
書籍『夢二画手本』一～四  
『どんたく絵本』  
『童話 風』  
『童話 春』  
色紙《寒燈》  
《うしろ姿》

以上15点



主要広報記録：

新聞

・「竹久夢二の肉筆画など展示 きょう蒲原宿場まつり」『静岡新聞』、11月20日。

## 6. 作品等貸出・図書等受入

### 6-1 画像貸出記録

1)書籍 ちいさな美術館『新版 竹久夢二』  
貸出画像：竹久夢二《草に憩う女》  
発行者：青幻舎  
発行部数：5,000部  
発行：2012(平成24)年2月  
体裁：B6版・ポストカードブック仕様(全32葉)

### 6-2 図書等受入

平成23年度図書等受入数

	購入	寄贈	合計
カタログ	44冊	697冊	741冊
雑誌	88冊	51冊	139冊
一般図書・その他	300冊	504冊	804冊
合計	432冊	1252冊	1684冊

## 7. 広報活動

### 7-1 広報印刷物

#### 1)施設概要パンフレット

当館の施設概要パンフレットを日英バイリンガル表記で、下記のとおり制作した。

〈仕様〉紙：マットコート 110kg  
サイズ・数量：210×396mm（仕上 210×99mm）  
60,000部  
加工：観音折り（四つ折り）加工



施設概要パンフレット表面

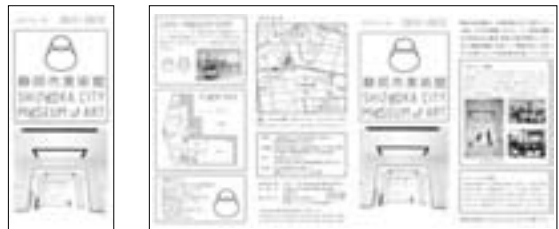


施設概要パンフレット中面

#### 2)年間スケジュール

平成23(2011)年度展覧会スケジュールを下記のとおり制作した。

〈仕様〉紙：マットコート 110kg  
サイズ・数量：210×396mm（仕上 210×99mm）  
60,000部  
加工：観音折り（四つ折り）加工



年間スケジュール表面



年間スケジュール中面

### 7-2 ウェブサイト

展覧会情報を中心に、関連イベントの情報や施設概要、ショップ情報についても掲載。ブログ、ツイッターも開設し、常にタイムリーな情報発信を行っている。

ウェブサイト構成：<http://www.shizubi.jp>

- 展覧会 ・ これからの展覧会 ・ 開催中の展覧会  
・ 年間スケジュール ・ 過去の展覧会
- イベント ・ これからのイベント ・ 今までのイベント
- ショップ&カフェ ・ ショップ&カフェ ・ アーカイブ
- 学校・団体観賞
- プレス
- アクセス・利用案内 ・ アクセス/利用案内 ・ 駐車場
- 美術館の概要 ・ 館長挨拶 ・ コンセプト  
・ 施設概要 ・ ログについて  
・ 沿革
- その他(リンク)
  - ・ ブログ (<http://www.shizubi.jp/blog/index.php>)
  - ・ ツイッター ([http://twitter.com/#!/shizubi\\_jp](http://twitter.com/#!/shizubi_jp))

アクセス数：206,563件(1日平均 約566件)



### 7-3 施設広報記録

展覧会事業・交流事業以外の美術館施設に関する主な取材記録は下記のとおりである。

#### 1)単行書(美術館紹介記事)

- ・『ぴあMook おとなのカルチャーな旅シリーズ 一度は行きたいアートな旅』ぴあ、2011年。
- ・『しずおか生活ガイドブック』静岡リビング新聞社、2011年。

#### 2)新聞

- ・「戸田書店が大賞 静岡新聞広告賞 入賞15点を選出」『静岡新聞』、9月9日。
- ・「本年度グッドデザイン賞 県内22件を選出 静岡市美術館設計丹青研究所も受賞」『静岡新聞』、10月4日。
- ・「静岡新聞広告賞 入賞15点を表彰 コピーライター倉さん講演も」『静岡新聞』、12月22日。

#### 3)雑誌(コミュニティ誌、フリーペーパー含む)

- ・『日経おとなのOFF』、5月号。(日経ホームマガジン『おとなの美術館』、2011年8月にも転載。)
- ・『ON BOARD』、5-6月号。
- ・「平成22年度開館博物館施設一覧」『博物館研究』、5月号。
- ・「06柿木原政広 インタビュー 文字の人格化 静岡市美術館」『デザインノート』、8月号。
- ・「わたしを変える、ひとり時間 入門編」『womo』、2月号。
- ・「新加盟館紹介 “ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館 静岡市美術館」『美連協ニュース』、113号。

#### 4)ウェブサイト等

- ・「ミュージアムショップ&カフェ紹介」『女子的shupo 富士山』。
- ・「美術館紹介」『しずおか おでかけサポート』。

#### 5)販促物等(事例掲載)

- ・『JR東海エージェンシー』、広告案内。
- ・『静岡鉄道株式会社』、広告案内。



## 8. 管理運営

### 8-1 利用者数

#### 1)利用者数(月別) (単位:人)

	展覧会 観覧者	展覧会関連事業 参加者(※1)	交流事業参加者(※2)	事業参加者 計	総入館者
4月	3,752	142	68	3,962	15,856
5月	6,393	307	0	6,700	19,336
6月	6,250	472	124	6,846	18,896
7月	13,298	1,001	343	14,642	32,952
8月	17,106	396	803	18,305	38,746
9月	8,288	332	37	8,657	22,366
10月	9,518	331	97	9,946	24,090
11月	24,200	1,195	0	25,395	44,878
12月	28,936	927	190	30,053	48,318
1月	4,127	547	0	4,674	15,392
2月	4,576	289	459	5,324	15,824
3月	5,460	2,183	1,124	8,767	19,520
計	131,904	8,122	3,245	143,271	316,174
月平均	10,992	677	270	11,939	26,348

※1…視察による参加者は含まない。

※2…共同事業参加者も含む。

#### 2)利用者数 事業別

展覧会名	実施期間	観覧者等
ハンス・コパー展-20世紀陶芸の革新	4月9日～6月26日 (開館69日間)	16,395人 (238人/日)
没後150年 歌川国芳展	7月9日～8月21日 (開館38日間)	30,404人 (801人/日)
開館1周年記念展<Ⅰ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガンティーニ - 光と山-	9月3日～10月23日 (開館44日間)	17,806人 (405人/日)
開館1周年記念展<Ⅱ> レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想	11月3日～12月25日 (開館46日間)	53,136人 (1,156人/日)
竹久夢二と静岡ゆかりの美術	1月7日～3月25日 (開館64日間)	14,163人 (222人/日)
展覧会 観覧者 計		131,904人
普及事業参加者 (展覧会関連事業参加者+交流事業参加者)		11,367人
事業参加者 総計 (展覧会観覧者+普及事業参加者)		143,271人
総入館者数(エントランス入口自動カウンター集計数)	4月1日～3月31日	316,174人

3)利用者数(事業別詳細)

事業区分	事業名	実施期間	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展覧会	<b>展覧会</b>		計5本 131,904人		
	ハンス・コパー展 -20世紀陶芸の革新	4/9-6/26	13,000	16,395	126.1%
	没後150年 歌川国芳展	7/9-8/21	30,000	30,404	101.3%
	開館1周年記念展(Ⅰ)・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガンティーニ -光と山-	9/3-10/23	30,000	17,806	59.4%
	開館1周年記念展(Ⅱ)レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想	11/3-12/25	63,000	53,136	84.3%
	竹久夢二と静岡ゆかりの美術	1/7-3/25	20,000	14,163	70.8%
展覧会関連事業	<b>ミュージアム教室</b> (※大学・専門学校・各種学校への解説を含む)		計95件 108回 2,831人		
	ハンス・コパー展 -20世紀陶芸の革新	随時	496(10団体/10回)		
	没後150年 歌川国芳展		713(24団体/28回)		
	開館1周年記念展(Ⅰ)・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガンティーニ -光と山-		157(10団体/9回)		
	開館1周年記念展(Ⅱ)レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想		1,067(32団体/40回)		
	竹久夢二と静岡ゆかりの美術		398(19団体/21回)		
	<b>その他展示解説</b> (※大学・専門学校・各種学校・視察等は含まない)		計30件 35回 1,172人		
	ハンス・コパー展 -20世紀陶芸の革新	随時	80(3団体/3回)		
	没後150年 歌川国芳展		214(6団体/8回)		
	開館1周年記念展(Ⅰ)・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガンティーニ -光と山-		180(7団体/7回)		
	開館1周年記念展(Ⅱ)レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想		325(9団体/9回)		
	竹久夢二と静岡ゆかりの美術		373(5団体/8回)		
	<b>ギャラリートーク</b>		計24回 833人		
	ハンス・コパー展 -20世紀陶芸の革新	5/14,5/28,6/11,6/25	-	103	-
	没後150年 歌川国芳展	7/9,7/23,8/6 (1日2回実施)	-	218	-
	開館1周年記念展(Ⅰ)・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガンティーニ -光と山-	9/11,9/25,10/2, 10/16	-	125	-
	開館1周年記念展(Ⅱ)レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想 (※スライドトークとして実施)	11/23,12/17	-	272	-
	竹久夢二と静岡ゆかりの美術	1/15,1/21,2/19,3/17 (1日2回実施)	-	115	-
	<b>ハンス・コパー展 -20世紀陶芸の革新 関連事業</b>		計6本 7回 242人		
	スライドトーク「イギリスのスタジオ・セラミックス」	4/23	80	63	78.8%
	スライドトーク「ハンス・コパー展ができるまで」	4/29	100	45	45.0%
	こどもの日ワークショップ 「親子で、陶芸!~土を焼くと、ちがうものになる~」	5/5	14	15	107.1%
	親子で楽しむギャラリートーク	5/21,6/18	-	13	-
	ワークショップ「あたらしい形との出会い」	5/22	15	14	93.3%
	講演会「形のいろいろ -ハンス・コパーの陶芸」	6/18	100	92	92.0%
	<b>没後150年 歌川国芳展 関連事業</b>		計6本 6回 252人		
	「みんなで巨大鯨を描こう!」	6/16-8/21	-	-	-
	「武者絵トレカをつくろう!」	7/9-8/21	-	-	-
	セキスイハイム東海プレゼンツ 「浮世絵摺りの実演と子ども摺り体験!」	7/10	-	88	-
	ワークショップ 国芳とあそぼう! ①「浮世絵で飛び出すカードを作ろう」	7/16	40	41	102.5%
ワークショップ 国芳とあそぼう! ②「江戸の影絵あそびと団扇づくり」	7/18	40	31	77.5%	
講演会「後姿の感情-歌川国芳の自画像とその系譜」	7/24	100	92	92.0%	
<b>アルプスの画家 セガンティーニ -光と山- 関連事業</b>		計4本 5回 201人			
ワークショップ「ちぎって、はって、セガンティーニ!」①子ども編	9/10	20	19	95.0%	
ワークショップ「ちぎって、はって、セガンティーニ!」②大人編	10/9,10/16	20	17	85.0%	
講演会「アルプスの画家 セガンティーニ -光と山-」	9/17	100	93	93.0%	
講演会「セガンティーニの『良き母』と『悪しき母』」	10/10	100	72	72.0%	
<b>レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想 関連事業</b>		計3本 4回 369人			
講演会「レオナルドと美の世界」	11/3	100	135	135.0%	
講演会「レオナルド・ダ・ヴィンチの〈謎〉について」	11/12	100	142	142.0%	
親子で楽しむギャラリートーク	11/20,12/11	80	92	115.0%	

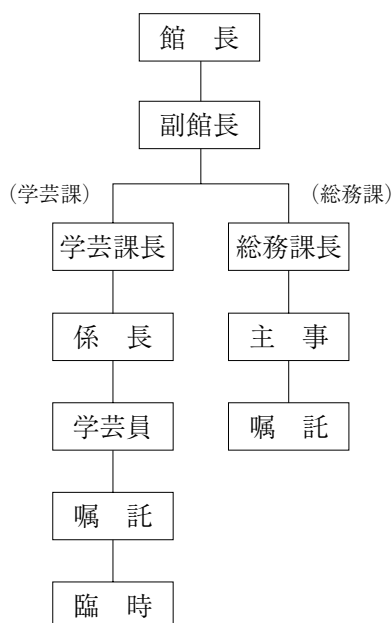
事業区分	事業名	実施期間	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展覧会関連事業	竹久夢二と静岡ゆかりの美術 関連事業		計8本	9回	2,133人
	東海道五十三次ひとめ図完成記念「静岡の匠」展	1/4-1/22	-	-	-
	「静岡の匠」展 関連イベント-匠の技【実演】I 漆	1/8、1/9	-	140	-
	「静岡の匠」展 関連イベント-匠の技【実演】II 蒔絵	1/14	-	43	-
	「静岡の匠」展 関連イベント-匠の技【実演】III 彫金	1/21	-	50	-
	「静岡の匠」展 関連イベント-匠の技【ワークショップ】I 漆体験ワークショップ「卵殻ばりで描こう！」	1/9	20	21	105.0%
	「静岡の匠」展 関連イベント-匠の技【ワークショップ】II 蒔絵体験ワークショップ「蒔絵で富士山を描こう！」	1/14	20	19	95.0%
	創立90周年記念静岡信用金庫プレゼンツ 講演会「志田コレクションの魅力とその特徴」	2/4	100	68	68.0%
「静岡の作家たち」-静岡信用金庫のカレンダーを彩る- 26年間の軌跡と作家の世界展	3/13-3/31 ※4/5まで継続予定	-	1,792	-	
交流事業	Shizubi Project		113人		
	Shizubi Project 1 人と煙と消えるかたち 袴田京太郎	7/12-10/23	-	-	-
	アーティストトーク	7/12	-	53	-
	ワークショップ「アクリル板でモビールをつくろう」	9/23	15	17	113.3%
	トークイベント「人と煙と消えるかたち」を語る	10/23	70	43	61.4%
	Shizubiシネマアワー		計2本	4回	122人
	Shizubi シネマアワー Vol.3 『バスキアのすべて』	4/29	80	68	85.0%
	Shizubi シネマアワー Vol.4 クリスマス特集 『めぐり逢えたら』『素晴らしき哉、人生』『ラブ・アクチュアリー』	12/16、12/17、12/18	210	54	25.7%
	ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」		計2本	2回	209人
	ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」④ 「五感で考え、頭で感じる-アフリカンアートの現在(いま)」	6/11	100	82	82.0%
	ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」⑤ 「現代音楽をあそぶ」	2/26	100	127	127.0%
	プレゼントワークショップ		計2本	2回	40人
	プレゼントワークショップvol.1 「父の日だ！お父さんのお面を作ろう！」	6/19	20	20	100.0%
	プレゼントワークショップvol.2 「敬老の日だ！家紋でつながるプレゼントづくり」	9/19	20	20	100.0%
	しずびチビッコプログラム		計5本	10回	91人
	しずびチビッコプログラム①[ハンス・コパー展 -20世紀陶芸の革新]	6/26	20	22	110.0%
	しずびチビッコプログラム②[没後150年 歌川国芳展]	7/17	20	14	70.0%
	しずびチビッコプログラム③[アルプスの画家 セガンティーニ -光と山-]	10/1	20	19	95.0%
	しずびチビッコプログラム④[レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想]	12/3	20	16	80.0%
	しずびチビッコプログラム⑤[竹久夢二と静岡ゆかりの美術]	2/11	20	20	100.0%
	しずびキッズアトリエ/しずびオープンアトリエ		計2本	84回	820人
	夏休み！しずびキッズアトリエ	7/26-8/14 (計18日 54回)	1,080	562	52.0%
	しずびオープンアトリエ「はんこでつくろ！夢デザイン」	2/4-3/25 (計15日 30回)	450	258	57.3%
	暦とあそぶワークショップ		計1本	1回	29人
	暦とあそぶワークショップvol.1 「春分の日だ！春もよのパンをつくろう」	3/20	20	29	145.0%
	その他		計5本		89人
	糸崎公朗「フォトモでつくろ、静岡の街」展示	4/1-4/22	-	-	-
	夜店市	8/12、8/13、8/14	-	-	-
	日独国際交流シンポジウム 「都市とアートと美術館 “プレーメン的・シズオカ的”」	10/15	70	35	50.0%
	Kids Art Project Shizuoka	1/4-3/31 ※6/30まで継続予定	-	-	-
創立90周年記念 静岡信用金庫プレゼンツ 講演会「益子と濱田窯、震災と復興」	2/25	70	54	77.1%	

事業区分	事業名	実施期間	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
共同事業	共同事業		計11本 1,821人		
	三館共同事業 ミュージアム カフェ トーク第1回 「メディアアート：技術を生かして芸術を作り出す」	7/3	30	17	56.7%
	三館共同事業 ミュージアム・カフェ・トーク第2回「国芳の魅力に迫る!」	7/31	70	92	131.4%
	三館共同事業 ミュージアム カフェ トーク第3回 「新しい音楽の創造とエレクトロニクス」	8/28	30	33	110.0%
	4世代によるダンス&アートセレブレーション ばっかぐらの森で踊る!! (美術ボランティア)	8/1-8/28	5	15	300.0%
	4世代によるダンス&アートセレブレーション ばっかぐらの森で踊る!! (クリエイション・ワークショップ)	8/14-8/28	50	50	100.0%
	4世代によるダンス&アートセレブレーション ばっかぐらの森で踊る!! (本公演(野外ダンス鑑賞者含む))	8/28	300	310	103.3%
	三館共同事業 ギャラリーコンサート/静岡室内楽フェスティバル協賛イベント 「レオナルド・ダ・ヴィンチと音楽」	11/22	120	89	74.2%
	三館共同事業 「科学者レオナルド・ダ・ヴィンチ」パネル展	11/26-12/25	-	-	-
	三館共同事業 音楽青葉会・静岡児童合唱団×静岡科学館る・く・るコラボコンサート/静岡室内楽フェスティバル協賛イベント 「ハーモニーの発見～レオナルドの求めた美と科学～」	12/25	160	120	75.0%
	三館共同事業 生誕100年・没後20年 ジョン・ケージ版画展－偶然の詩学－	2/28-3/11	-	1,063	-
三館共同事業 生誕100年・没後20年 ジョン・ケージ版画展－偶然の詩学－ ギャラリートーク	3/4	-	32	-	
計		160,319	143,271*	88.2%	

※視察による入場者は含まない。

## 8-2 組織図・職員名簿

〈組織図〉



〈職員名簿〉(平成23年度)

館長	田中 豊稲
副館長 兼 総務課長	森下 高光
(総務課)	
主事	竹田 公彦
嘱託	良井 雅也
嘱託	内山 奈穂
(学芸課)	
学芸課長	以倉 新(近・現代美術)
学芸課係長	吉田 恵理(日本美術)
学芸員	小川 かい(西洋美術)
学芸員	森谷 紗世(教育普及)
学芸員	青木 良平(西洋美術)
学芸員	伊藤 鮎(西洋美術)
嘱託(学芸員)	安岡 真理(教育普及)
嘱託	大庭 千恵子(広報)
嘱託	鈴木 香代(広報)
臨時	澤野 加奈

## 8-3 条例・施行規則

### ○静岡市美術館条例

平成21年7月16日  
条例第50号

(設置)

第1条 静岡市は、多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、及び美術文化の交流を促進することにより、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民の美術文化を振興することを目的として、次の施設を設置する。

名称	位置
静岡市美術館	静岡市葵区紺屋町17番地の1

(事業)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術文化に係る展示会の開催に関すること。
- (2) 美術文化の教育及び普及に関すること。
- (3) 美術文化に係る講演会、講習会等の開催に関すること。
- (4) 美術文化に係る調査及び研究に関すること。
- (5) 美術文化に係る情報の収集及び提供並びに広報活動に関すること。
- (6) 美術作品及び美術に係る資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業(開館時間)

第3条 美術館の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。ただし、第7条の規定による指定を受けて美術館の管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更することができる。

(休館日)

第4条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(当日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、その翌日以降の最初の休日以外の日)
- (2) 12月28日から翌年の1月4日までの日

(入館の制限)

第5条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 美術館の管理上支障があると認めるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、必要があると認めるとき。

(損害賠償の義務)

第6条 美術館の施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(指定管理者による管理)

第7条 美術館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するものに行わせるものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第8条 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を添付して市長に申請しなければならない。

(指定管理者の指定の基準)

第9条 市長は、前条の規定による申請を審査し、次に掲げる基準に適合するものの中から、最も効率的かつ適切な管理を行うことができると認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画が美術館の設置の目的を達成するためにふさわしいものであること。
- (2) 事業計画が美術館の効果的な管理を実現するものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を行うために必要な物的・人的能力を有していると認められること。
- (4) 管理の業務を適切かつ円滑に行うための経理的基礎を有していること。

(指定管理者の指定等の公告)

第10条 市長は、指定管理者を指定したとき、又はその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告するものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第11条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 第2条に掲げる事業の実施に関すること。
- (2) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める業務(指定管理者の原状回復の義務)

第12条 指定管理者は、その指定に係る管理の業務の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設又は設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して12月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第1条、第8条から第11条まで及び第13条の規定は、公布の日から施行する。

(平成22年規則第9号で、規則で定める日を平成22年5月1日とした。)

○静岡市美術館条例施行規則

平成21年11月12日  
規則第103号

(趣旨)

第1条 この規則は、静岡市美術館条例(平成21年静岡市条例第50号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入館者の遵守事項)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 火災、爆発その他の危険を生ずるおそれのある行為をしないこと。
- (2) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 動物(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。)又は他人に迷惑を及ぼすおそれのある物品を持ち込まないこと。
- (4) 美術館資料、器物又は施設を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
- (5) 許可を受けないで広告類を掲出し、又はまき散らす行為をしないこと。
- (6) 所定の場所以外の場所へ立ち入らないこと。
- (7) 所定の場所以外の場所で飲食をしないこと。
- (8) 喫煙をしないこと。
- (9) 許可を受けないで寄附金品の募集、物品の販売若しくは陳列又は飲食物の販売若しくは提供をしないこと。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認める行為をしないこと。

(指定管理者の指定の申請書類)

第3条 条例第8条の規定による申請は、静岡市美術館指定管理者指定申請書(様式第1号)に、次に掲げる書類を添えて行うものとする。

- (1) 静岡市美術館事業計画書(様式第2号)
- (2) 静岡市美術館事業計画に関する収支予算書(様式第3号)
- (3) 定款、寄附行為又はこれに準ずるものの謄本
- (4) 役員名簿
- (5) 経営(事業)状況に関する書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類(協定の締結)

第4条 市長は、指定管理者を指定したときは、当該指定管理者と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定には、次に掲げる事項を掲載するものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 市が支払うべき管理費用に関する事項
- (3) 管理業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事項(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、静岡市美術館条例附則本文に規定する規則で定める日から施行する。

様式第1号(第3条関係)

静岡市美術館指定管理者指定申請書

年 月 日

(あて先)静岡市長

所在地(法人以外の団体にあつては、その代表者の住所)

申請者 名称

代表者氏名

印

電話

静岡市美術館の指定管理者の指定を受けたいので、静岡市美術館条例第8条及び静岡市美術館条例施行規則第3条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第2号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画書

事業計画の理念・方針

実施事業の概要(事業の構成及び年間計画表)

実施体制図

特記事項(効果的に事業を行うための方策、市民サービスの向上のための施策等)

様式第3号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画に関する収支予算書

収入			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
支出			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円

## 8-4 施設・建築概要

所在地：静岡市葵区紺屋町17番地の1号 葵タワー3階

設置者：静岡市

構造：S造(一部RC・SRC造)

内装設計：株式会社丹青研究所

内装建築工事：株式会社木内建設

延床面積：3,393.22㎡

館内施設：

(展示関係)展示室1：209.76㎡ 展示室2：713.03㎡

展示室3：204.17㎡

天井高：4.1m-4.5m

総壁面長(可動壁含む)：290m

床荷重：500kg/㎡

ウォールケース：総長60m (エアータイト型壁面ガラスケース)

(収蔵関係)収蔵庫：141㎡ 収蔵庫前室：46㎡

(管理関係)事務室・学芸員室：179㎡ 会議室31㎡

館長室兼応接室：19㎡

(交流ゾーン)エントランスホール：612㎡ (天井高6m) 多目的室：180㎡ (天井高5m) ワークショップ室：92㎡ (天井高3m)

設備：

(電気)[本体ビル]3相3線6.6KV (地中引込方式)、非常用発電設備

(給排水)[本体ビル]給水：上水、雑用水2系統 排水：汚水、雑排水分流方式

(消火)N2ガス消火設備(展示収蔵エリア)、スプリンクラー(その他エリア)、消火用散水栓、消火器、自動火災報知設備(空調)[本体ビル]ガス焼き吸収冷温水機及び排熱冷温水機(熱源)、4管方式により冷温水供給

[美術館]展示室：エアハンドリングユニット(床置きコンパクト型)

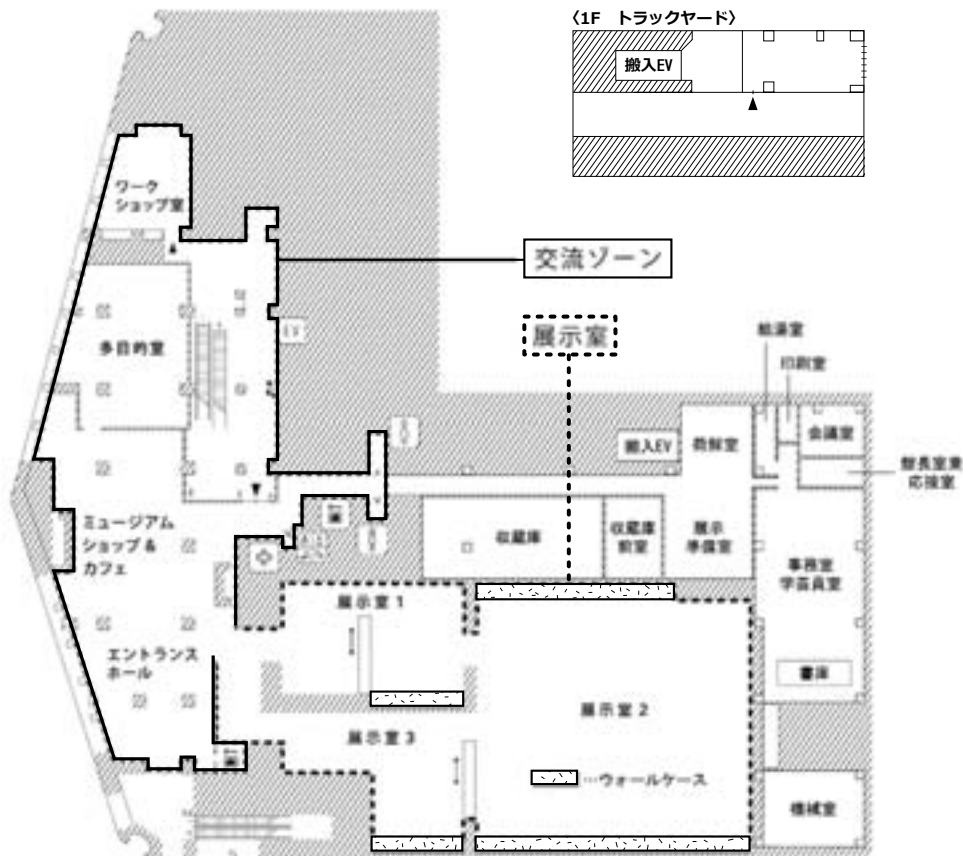
収蔵庫：空冷パッケージ(インバータ・セパレート型)エアコン

その他エリア：ファンコイルユニット

### 〈静岡市美術館整備費内訳(単位：円)〉

保留床購入費 (葵タワー再開発組合からの占有床購入経費)	¥2,461,200,000
内装・展示工事費	¥859,533,150
(内訳)建築工事費	¥712,007,100
電気工事費	¥132,826,050
衛生工事費	¥14,700,000
整備費合計	¥3,378,123,924
(内訳)まちづくり交付金(国庫補助金)	¥1,180,000,000
市債(合併特例債)	¥1,571,200,000
一般財源	¥626,923,924

### 施設見取り図







平成23(2011)年度  
静岡市美術館 年報 No.2  
2013年3月 発行

編集・発行 静岡市美術館  
〒420-0852  
静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階  
TEL 054-273-1515(代)  
FAX 054-273-1518

印刷 株式会社アプライズ

©Shizuoka City Museum of Art 2013

